

但伊豫國泉川郵便局へ下付ノ分

右印鑑紛失セシ旨届出候條自今該印鑑ハ無効トス

遞信大臣伯爵後藤象二郎

明治二十四年四月十四日

○遞信省告示第百一號

遞信大臣伯爵後藤象二郎

千島國色丹郡斜古丹郵便局本年ニ限り五月十六日ヨリ開局事務取扱ハシム

明治二十四年四月十五日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第百二號

遞信大臣伯爵後藤象二郎

明治二十三年三月告示第五十八號東京郵便電信學校規則第二章第七條甲、乙兩科ニ左ノ一科ヲ增加ス

遞信大臣伯爵後藤象二郎

本年三月中西洋形船へ左ノ信號符字ヲ點附ス

遞信大臣伯爵後藤象二郎

明治二十四年四月十六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

| 信號符字 | 免狀番號       | 船名                  | 種類 | 定乘場       | 船主氏名    |
|------|------------|---------------------|----|-----------|---------|
| HJFP | 11311 1282 | 高知丸 Kochi Maru.     | 汽  | 土佐國潮江村西平海 | 西山志登    |
| HJFQ | 11313 1283 | 富士川丸 Fujikawa Maru. | 汽  | 大         | 大阪商船會社  |
| HJFR | 11314 1284 | 松浦丸 Matsura Maru.   | 汽  | 肥前國伊萬里    | 伊萬里運輸會社 |

HJFB

11315

1285 正重丸

Maasshige Maru. 汽大

阪館 彦左衛門

○內務省告示第十一號

一道戯百人一首 一册 大阪市南區玉屋町十三番邸名倉總發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

內務大臣伯爵西鄉從道

明治二十四年四月十七日

○陸軍省告示第三號

陸軍大臣伯爵大山 巖

明治二十三年七月勅令第百二十號陸軍砲兵工科學會條例第二條但書ニ依リ今般東京府下ニ於テ銃工生徒凡四十五名召募候條志願ノ者ハ左ノ召募規則ニ依リ五月二十五日迄ニ出願スヘシ

明治二十四年四月十七日

第一條 検査ヲ分テ三則トス

第一 年齢 滿十八年ヨリ二十五年ニ至ル 但算シ方ハ本年六月ヲ以テ期トス

第二 體格 其一 身長五尺以上 其二 體質強壯就中膂力最モ強キ者

第三 學科 其一 讀書 日本外史及日本政記ノ類(通讀) 其二 作文 記事(眞片假名)及往復文 但作文ニテ作字ノ巧拙ヲモ検査ス

其二 算術 四則雜問分數雜問比例開平開立

第二條 前條ノ外鍛冶鑄削術等ニ關スル工業ニ經歷アリテ其検査ヲ望ム者ハ之ヲ試験シ相當ノ點數ヲ與フヘシ

第三條 検査ノ順序ハ第一、第二合格ノ上第三ニ及フ第三検査ハ一科目毎ニ若干ノ點數ヲ與ヘ其總點數ヲ比較シテ優劣ヲ定ム一科ニ落第スル者ハ假令總點數ニ於テ優等ナリト雖モ採用セサルモノトス又第三検査ニ不合格ノ者ハ第二條ノ検査ヲ企望スル者ト雖モ之ヲ爲ササルモノトス 志願者心得

第四條 志願者ハ第一號第二號第三號書式ニ準シ願書ニ履歷書並戸籍寫(各二)ヲ添ヘ郡區長及府知事ノ與書證印ヲ經テ砲兵工科學舎ヘ差出スヘシ

但身元保證人ハ父兄親族其他一家ノ戶主ニシテ身元確カナル者二名トス内一名ハ東京市内ニ於テ一家ヲ成ス者タルヘシ且生徒中保證人事故アリテ其保證ヲ辭シ或ハ辭セサルモ保證人タルノ資格ヲ失フカ又ハ死歿スルトキハ更ニ代人ヲ撰ミ府廳ノ與書證印ヲ受ケ届出ツヘシ

第五條 左ニ掲グル者ハ志願者タルヲ得ス  
一 妻アル者  
二 復權ヲ得サル家資分散者及身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ラサル者  
三 禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケシ者

第六條 志願者ノ検査ハ砲兵工科學舎ニ於テ之ヲ施行ス其検査時日ハ該學舎ヨリ直チニ本人ニ通報スヘシ

第七條 検査時日ニ際シ志願者中疾病又ハ事故等ニ依リ當日出場ヲ缺ク者アルモ之レカ爲メ時日ヲ遷延シ或ハ更ニ検査ヲ施行スルコトナシ

第八條 受験者検査場ニ臨ムトキハ硯竝筆墨小刀ノ外ハ總テ書籍草案等ヲ携帶スルヲ許サス

第九條 志願者検査合格ノ上ハ砲兵工科學舎ニ於テ其優劣ヲ比較シ採用列序ヲ定メ優等ノ者ヨリ順次所要ノ人員ヲ採用ス故ニ合格者ト雖トモ所要人員ニ剩過スルトキハ採用セサルコトアルヘシ

第十條 志願者検査合格ノ上採用スルトキハ東京府廳ヲ經テ之ヲ本人ニ達シ入學セシムヘシ但入學期日ニ際シ疾病事故等ニ依リ入學シ難ク且其疾病事故延テ多數時日ヲ經過スル者アルトキハ詮議ノ上除名スルコトアルヘシ

第十一條 入學ヲ命シタル者ハ入舎ノ日ヨリ陸軍一般ノ規則ヲ遵奉シ決シテ他志ナク陸軍ニ從事スルモノトス故ニ入舎ノ際左ノ誓約ヲ爲サシム

誓文  
陸軍出身志願ニ付今般砲兵工科學舎ヘ入學奉願候處御許容相成候ニ付テハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕且御定規ノ修學及服役年間ハ自己ノ故障ハ勿論假令病氣ト雖トモ慢リニ免除ヲ請願致候等ノ儀ハ決シテ仕間敷候依テ誓文如件

年 月 日  
第一號書式用紙裏面白紙  
砲兵工科學舎入學願  
姓 名 印

陸軍出身志願ニテ此度砲兵工科學舎生徒出願仕候間御試験ノ上御採用被下底入舎ノ上ハ固ヨリ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕萬一行狀不正又ハ卒業ノ目的無之ヨリ退舎ヲ命セラレ候共決シテ違背不仕卒業ノ上ハ御定期ノ服役年限ヲ相終リ可申且又本人身上一切ハ何事ニ依ラズ身元保證人ニ於テ引受可仕依テ履歷書及戸籍寫相添保證人連署此段奉願候也

何國何郡(市)町(村)産  
何國何郡(市)町(村)何番地住(寄附)

府(縣)何族(平民)職業  
戸主ニ非サルハ親子弟等  
姓 名 印

年 號 月 日 生  
明治二十四年六月何年何箇月

身元保證人

府(縣)何族(平民) 姓 名 印

何國(何郡)市(何町)何留地(寄留) 姓 名 印

同上 姓 名 印

陸軍砲兵工科學舎長官姓名殿

右ノ通願出候ニ付取願候處相違無之候也

前書ノ通相違無之候也

東京府何郡(東京市何區)長 姓 名 印

東京府知事 姓 名 印

第二號書式用紙美濃白紙

履歷書書式ニ示ス外履歷ニ係ルモノ

府(縣)何族(平民)職業

戸主ニ非サレハ隨子弟等

姓 名

一 何年何月種痘(天然痘)

一 妻ナシ

一 家資分散ノ宣告又ハ身代限ノ處分ヲ受ケシコトナシ(家資分散ノ宣告ヲ受ケシモ既ニ復權ヲ得ヨリ又ハ身代限ノ處分ヲ受ケシモ預備ノ辨償ハ既ニ完了ス)

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ及賭博犯ノ處分ヲ受ケシコトナシ

一 何年何月何官(補何官)出仕(免官)出仕被免(何省(府)(縣)等)

一 何年何月何職被申付(何省(府)(縣)等)

一 何年何月ヨリ何年何月迄何學校(塾)入學何科卒業(何學修業)

一 何年何月ヨリ何年何月迄何學研究(商業)ノ爲メ何國外國ニ在留

一 何年何月日徴兵(士官候補生 士官學校 幼年學校 教導團生徒 海軍兵學校等)ノ検査ヲ受ケ體格(身障胸腫體重不足等)學科ニ合セス

一 何年何月何々ノ科ニ依テ何罰申付ラル

右ノ通相違無之候也

年號月日

本人 姓 名 印

身元保證人

姓 名 印

姓 名 印

第二號書式用紙美濃白紙

戸籍寫

一 祖父 某

一 祖母 某

一 父 某

一 母 某

一 兄 某 何年何月日生

一 弟 某 同右

一 姉 某 同右

一 妹 某 同右

(備考) 茲ニ掲ケルハ同戸籍中現在スル者ノミヲ載スヘシ



一 二十二年發行整理公債證書額面拾萬貳千五百拾圓  
 一 二十三年發行整理公債證書額面六拾八萬七千五百拾圓  
 右ハ明治十九年十月勅令第六十六號整理公債條例第三十條並二十年三月大藏省告示第二十九號及二十二年三月同省告示第二十八號第二項ニ依リ二十三年十二月ヨリ二十四年三月迄ニ引換タル六分以上利付公債證書ニ對シ發行シタリ

大藏大臣伯爵松方正義

〔參照〕

勅令第六十六號整理公債條例(明治十九年十月十六日抄録)

第三十條 從前發行ノ六分以上利付ノ公債證書ヲ所有スルモノハ元金償還ノ時本人ノ請求ニ由リ大藏省ノ都合ヲ以テ整理公債證書ヲ交付スルコトアルヘシ

大藏省告示第二十九號(明治二十年三月十五日)

一 七分利付公債ニ限リ整理公債ニ交換スルヲ得ヘキ旨客年十一月大藏省告示第百一十一號ヲ以テ告示ニ及候處自今六分以上利付各種公債共所有者ノ望ニ由リ其交換ヲ請フコトヲ得

一 前項ノ交換ヲ望ムモノハ其請求書ニ本證書ヲ添ヘ日本銀行本支店又ハ代理店ヘ申込ムヘシ

但舊證書ハ當省ヨリ新證書發行ノ月マテ新證書ハ其翌月ヨリ利子ヲ付スルモノトス

大藏省告示第二十八號(明治二十二年三月十五日)抄録

第二項

一 償還ヲ受リヘキ證書ノ額面五拾圓未満ニシテ整理公債證書ノ額面ニ滿タサルモノアルトキハ之ニ他ノ六分以上利付公債證書ヲ加ヘテ前項ノ請求ヲナスコトヲ得

○陸軍省告示第四號

本省告示第三號明治二十四年砲兵工科學會銃工生徒召集規則第十一條ノ次ニ左ノ數條ヲ追加ス

明治二十四年四月二十日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第十二條 生徒修業中ハ自己ノ情願ヲ以テ退舍スルハ勿論歸省休暇ヲモ一切許ササルモノトス然レトモ行狀不正屢、法則ヲ犯シ又傷痍疾病ニテ生徒タルニ堪ヘ難ク若クハ卒業ノ目途ナキ者ハ退舍セシム但傷痍疾病ニ係ル者ハ軍醫ノ診斷ニ依テ處分ス

第十三條 生徒ハ銃工科下士ニ要用ナル學術ヲ教授ス其修業期限ハ概ネ二箇年半トス但修業期限中疾病其他ノ事故ニ依リ豫定ノ學術ヲ修得シ能ハサル者ハ尙若干月延期スルコトアルヘシ

第十四條 生徒修業ノ費用其他被服食料諸器械等ハ一切支給又ハ貸與シ且若干ノ手當金ヲ給ス第十五條 生徒卒業ノ上ハ銃工下長ニ任ス其兵役期限ハ任官ノ日ヨリ十二年(現役七年、後備役五年)トス此服役滿期ノ後尙ホ服役ヲ希望スル者ハ詮議ノ上之ヲ許スコトアルヘシ

○大藏省告示第十一號  
 姫路第三十八國立銀行大阪支店ノ儀明治二十四年四月二十日ヲ以テ閉鎖ス  
 明治二十四年四月二十一日  
 大藏大臣伯爵松方正義

○遞信省告示第七號  
 一 貨幣封入郵便物受授見合印鑑 第二五二號  
 德島縣三好郡晝間元郵便貯金預所ヘ下渡ノ分  
 右印鑑客年三月該預所廢停返納ニ際シ紛失ノ旨這般届出候條該印鑑ハ無効トス  
 明治二十四年四月二十二日  
 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第八號  
 一 許入電信器械室證 第二九八號  
 右ハ余市電信局ヘ交付致置候處本年四月九日紛失ノ旨届出候條該證ハ自今無効トス  
 明治二十四年四月 告示 大藏省第十一號 遞信省第七號 第百八號

○逓信省告示第九號

逓信大臣伯爵後藤象二郎

函館司檢所本日左ノ所ニ移轉ス

逓信大臣伯爵後藤象二郎

函館區鍛冶町三十三番地

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○內務省告示第十二號

一 森 芥んかをし 一册 東京府日本橋區通四町目四番地内藤加我發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

內務大臣伯爵西鄉從道

明治二十四年四月二十二日

○司法省告示第五十三號

司法大臣伯爵山田顯義

松山地方裁判所管内松山區裁判所北條出張所明治二十四年五月四日ヨリ高松地方裁判所管内觀音寺區裁判所託問財田大野兩出張所明治二十四年五月一日ヨリ何レモ開廳ス

明治二十四年四月二十三日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第一百十號

逓信大臣伯爵後藤象二郎

下野國那須鐵道停車場電信取扱所ヲ來ル五月一日ヨリ西那須野鐵道停車場電信取扱所ト改稱ス

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第一百十一號

逓信大臣伯爵後藤象二郎

陸奥國上北郡野邊地及常陸國新治郡石岡兩郵便電信局ヘ電信爲替ヲ開設シ來ル五月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十四年四月二十三日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○司法省告示第五十四號

司法大臣伯爵山田顯義

名古屋地方裁判所管内新城區裁判所ニ於テ左ノ期日ノ通民事裁判事務ヲ取扱フ

三月 九月

各十五日間

○逓信省告示第一百十二號

逓信大臣伯爵後藤象二郎

左ノ郵便電信局ニ於テ來五月十六日ヨリ歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ノ取扱ヲ開始ス

明治二十四年四月二十五日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

岩代國 喜多方郵便電信局

遠江國 二俣郵便電信局

播磨國 明石郵便電信局

但馬國 生野郵便電信局

○陸軍省告示第五號

陸軍大臣伯爵大山 巖

自今第十旅管軍法會議第十二旅管軍法會議ヲ廢止ス

陸軍大臣伯爵大山 巖

明治二十四年四月二十七日

○司法省告示第五十五號

司法大臣伯爵山田顯義

高知地方裁判所管内中村區裁判所宿毛出張所裁判ノ儀明治二十四年五月ノ一期ニ限リ開廷セス

司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第五十六號

司法大臣伯爵山田顯義

橫濱地方裁判所管内橫濱區裁判所溝口出張所岐阜地方裁判所管内御嵩區裁判所付知出張所明治二十四年五月十日ヨリ開廳ス

司法大臣伯爵山田顯義

明治二十四年四月二十八日

明治二十四年四月 告示 司法省第五十四號 第五十五號 第五十六號 逓信省第一百十二號 陸軍省第五號 一一二

○遞信省告示第百十三號

羽前國西田川郡田川湯郵便局ヲ湯田川郵便局ト改稱ス

明治二十四年四月二十八日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○司法省告示第五十七號

名古屋地方裁判所管内區裁判所川張所裁判ノ儀明治二十四年五月六月中ノ一期ニ限リ開廷セス

明治二十四年四月二十九日

司法大臣伯耆山田顯義

○遞信省告示第百十四號

南亞米利加智利國內亂ノ爲メ同國アントフアガスタ以南地方ヘノ電氣通信停止ノ旨本年一月遞信省告示第十六號ヲ以テ公示致置候處左記地方ハ開通セシ旨萬國電信總務局ヨリ通報シ來レリ

明治二十四年四月二十九日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

チャナラル タルタル  
ピサグーア ラセレナ  
ヒーニロス トコピラ

○遞信省告示第百十五號

武藏國東京市麴町區飯田町一丁目ニ郵便電信支局ヲ置キ東京郵便電信局飯田町支局ト稱シ來五月一日ヨリ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十四年四月二十九日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○內務省告示第十三號

明治二十四年第二回醫術開業並藥劑師試驗舉行ノ地及ヒ期日左ノ通相定ム

明治二十四年四月三十日

內務大臣伯耆西鄉從道

東京府下東京

十月一日

京都府下京都  
長崎縣下長崎

十一月五日  
十月十五日

長崎ニ於テハ齒科試驗ヲ舉行セス

藥劑師試驗

東京府下東京  
大阪府下大阪

十一月二十八日  
十一月二十五日

○遞信省告示第百十六號

明治二十三年<sup>三</sup>告示第五十八號東京郵便電信學校規則中左ノ通改正ス

明治二十四年四月三十日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

東京郵便電信學校規則

第一章第一條第二條第三條第五條第六條元第十九條元第二十二條及甲號書式「東京郵便電信學」ノ

七字ヲ本ノ一字ニ同書式殿ヲ宛ニ改ム

同章第二條「二年」ノ二字ヲ「四年」ノ二字ニ改ム

同章第三條「甲乙ノ二科ヲ置ク」ノ九字ヲ「ノ學科ヲ甲乙ノ二科トシ」ノ十一字ニ同條中「通信」ノ二

字ヲ「ニ關スル」ノ四字ニ改ム

第二章「教」ノ字ヲ「學」ノ字ニ改ム

同章第七條甲科「十一」交通ノ下ニ「行政」ノ二字十三「實務」ノ上ニ「郵便電信」ノ四字ヲ加ヘ乙科九電

信ノ二字ヲ削除シ十郵便要項ノ四字ヲ「交通政務要領」ノ六字ニ改ム

第四章ノ下「募集云々」ノ七字ヲ「入學在學及退學」ノ七字ニ改ム

同章第十一條「其都度」ノ下「官報及新聞紙」ヲ以テ「九字ヲ加フ

同章第十二條「ニ於テ」ノ三字ヲ各「ハ」ノ字ニ改メ「十五年以上」ノ下「ニシテ各二十年以下」ノ九字

明治二十四年四月 告示 遞信省第百十六號

ヲ加ヘニ「身體」云々ノ七字ヲ「體格試験ニ合格ノ者」ノ九字ニ改メ三項ノ次ヘ左ノ一項ヲ加フ

「四 第十三條第十四條ノ資格ヲ有シ若クハ第十六條第十七條ノ試験ニ合格シタル者」

同章第十四條三級ノ下八字ヲ「ヲ終リ該ノ四字ニ改ム」

第十五條試験ヲ要セスノ六字ヲ「校長ノ見込ニヨリ」ノ八字ニ「ルヲ許ス」ノ四字ヲ「學セシムルコトアルヘシ」ノ十一字ニ改ム

第十六條ニ左ノ但書ヲ加フ

「但本條及第十三條第十四條第十七條トモ合格者募集定員ニ超ユルトキハ合格者ノ内ニ就キ選抜スヘシ」

第十七條ノ次ヘ左ノ一條ヲ加ヘ元第十八條以下順次繰下ク

「第十八條 體格試験ハ醫師ニ托シ應募者ノ身體ヲ檢定セシムルモノトス」

同章元第十八條元第十九條元第二十條「校」ノ字ヲ「學」ノ字ニ改ム

同章元第十九條ノ次ヘ左ノ一條ヲ加ヘ以下順次繰下ク

「第二十一條 入學試験ノ評點ハ第五章第三十四條乃至第三十八條ノ例ニ準ス」

同章元第二十條者ハ「ノ下ニ身元」ノ二字ヲ加ヘ「立テ」ノ二字ヲ「定メ」ノ二字ニ「在校證」ノ三字ヲ「誓約」ノ二字ニ改ム

同章元第二十一條ノ公民ノ三字ヲ「内ニ於テ一家計ヲ立ツルモノ」ノ十三字ニ改ム

同章元第二十三條「轉住」ノ下ニ「六字ヲ「タルトキハ代人ヲ定メ更ニ誓約書ヲ改ムヘシ」ノ二十字ニ改ム

同章元第二十四條「授業料」ノ下「免ス」ノ二字ヲ「課セス」課業ニ要スル筆墨紙等ハ現品ヲ給與シ書籍器具ハ之ヲ貸與スヘシ」ノ三十二字ニ改メ但書ヲ削除シ本條ノ次ヘ左ノ三條ヲ加フ

「第二十七條 二學期間引續キ落第シタル者ハ退學ヲ命ス」

「第二十八條 疾病ニ罹リ一學期間引續キ出校セサルモノハ退學ヲ命ス」

「第二十九條 疾病又ハ已ヲ得サル事故ニ依リ退學セント欲シ保證人連署願出ルトキハ詮議ノ上之ヲ許スヘシ」

但疾病ニ罹ルモノハ受療醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ」

第五章元第二十五條「驗」字ノ下ニ「評」ノ字ヲ加フ

同章元第三十條元第三十八條元第四十三條「凡ソ」ノ二字ヲ削除ス

同章元第三十條「驗點」ヲ「評點」ト改ム

同章元第三十一條元第三十二條元第三十三條元第三十五條「點數」ノ上ニ「各評」ノ一字ヲ加フ

同章元第三十四條「學期」ノ下「平均」ノ二字「學年」ノ下「評」ノ一字ヲ加フ

同章元第三十六條「學年」ノ下「評」ノ一字ヲ加ヘ「三及六」ノ下「校」ノ一字ヲ「學」ノ一字ニ改ム

同章元第三十七條削除

同章元第三十九條ノ次ヘ左ノ一章ヲ加フ

「第六章 特待褒賞及懲罰」

元第五章第四十條ヲ左ニ改ム

「第四十四條 卒業生中俊秀ナル者ハ本校長ノ見込ヲ以テ之ヲ選拔シ在校生トナシ更ニ必要ノ學科ヲ教授シ兼テ行政事務ヲ習修セシメ學費トシテ一箇月金八圓ヲ給與ス」

同章元第四十二條「特待」ノ上ニ「各」在校生又ハ「ノ五字ヲ加フ」

同章元第四十三條「金圓」ノ一項ヲ削除シ「二」ノ字ヲ「一」ノ字ニ「三」ノ字ヲ各「二」ノ字ニ改ム

同章元第四十五條元第四十六條削除

乙號書式中誓約文ヲ左ニ改メ奥書末尾東京府トアルヲ「東京市(區)トアルヲ區」ニ改ム

(印紙貼用)

誓約書



私儀令般御校へ入學許可相成候ニ付テハ、校則相守修業勉勵可致ハ勿論卒業ノ上ハ、逓信省へ奉職ノ日ヨリ四箇年間事務ニ恪勤シ何レノ地方へ在勤被命候トモ決シテ異議ヲ申出ス又ハ、誤リニ職罷任致ス間敷候仍テ誓約書如斯候也

肩書同前

氏名印

本校長宛

年月日

○内務省告示第十四號

一婦人乃おとづま

愛知縣瀧美郡豐橋町大字團屋五十六番月常盤棟吉發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十四年五月一日

内務大臣伯爵西郷從道

○司法省告示第五十八號

德島地方裁判所管内富岡區裁判所奥河内出張所裁判開廷日數ノ儀明治二十四年五月ノ一期ニ限リ十五日間トス

明治二十四年五月一日

司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第五十九號

水戸地方裁判所管内太田區裁判所ニ於テ明治二十四年五月十一日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十四年五月一日

司法大臣伯爵山田顯義

○逓信省告示第百十七號

明治二十四年五月一日以後香港線ヲ經テ濠太利亞洲へ發著スル電報料左ノ通低減ス

明治二十四年五月一日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

南西アジア、ニカラッサス、ウエリス

長崎以外ノ電報一語料

金貳圓五拾貳錢

○逓信省告示第百十八號

一小形船機關手技術免狀 第四百七十一號 明治十四年十二月十七日登簿

右鹿兒島縣平民中村吉治郎所有ノ處明治二十三年八月申兵庫縣神戸市東川崎町二百十八番地高原

儀助方ハ所有品預ケ置候處其際盜難ニ罹リ候旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ可届出

明治二十四年五月 告示 内務省第十四號 司法省第五十八號 第五十九號 逓信省第百十七號 第百十八號 一二七

但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十四年五月二日

○逓信省告示第十九號

左ノ郵便局ヲ置キ本月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十四年五月四日

逓信大臣伯耆後藤象二郎  
逓信大臣伯耆後藤象二郎

位 置

等級

局名

甲斐國中巨摩郡百田村

三等

百田郵便局

甲斐國南都留郡船津村

三等

船津郵便局

甲斐國北都留郡巖村字四方津

三等

四方津郵便局

○逓信省告示第二十號

一小形船機關手技術免狀第百九十五號

右長崎縣平民吉川藤七所有ノ處汽船千鳥號ハ乘組執職中本年三月十七日肥前國高島沖合ニ於テ流

失セシ旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ可届出但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十四年五月五日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○宮内省告示第九號

御料地ノ内社寺ノ上地ニ係ルモノハ該社寺ノ出願ニ依リ本年四月農商務省令第五號社寺上地官林委託規則ヲ適用シ之ヲ委託スルコトアルヘキニ付委託ヲ請ケントスル社寺ハ左ノ區別ニ從ヒ出願スヘシ

- 一 御料地支應又ハ事務所ノ所管ニ屬スル御料地ニ對シテハ該支應長又ハ事務所長
- 一 地方廳ニ委託シタル御料地ニ對シテハ該地方長官
- 一 以上列記外ノ御料地ニ對シテハ總テ御料局長

明治二十四年五月七日

宮内大臣子爵土方久元

○司法省告示第六十號

宮崎地方裁判所管內延岡區裁判所田代出張所高千穂區裁判所鞍岡出張所明治二十四年五月二十日ヨリ開廳ス

明治二十四年五月七日

司法大臣伯爵山田顯義

○逓信省告示第百二十一號

本月十六日ヨリ左ノ郵便局電信局ヲ合併シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十四年五月八日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

國郡名

合併局名

合併局等級

近江國犬上郡

郵便局名

彦根郵便電信局

三等

近江國蒲生郡

郵便局名

八幡郵便電信局

三等

○逓信省告示第百二十二號

本月十六日ヨリ左ノ郵便局電信局ヲ合併シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十四年五月八日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

國郡名

合併局名

合併局等級

下野國足利郡

郵便局名

足利郵便電信局

三等

陸前國宮城郡

郵便局名

鹽竈郵便電信局

三等

越中國上新川郡

郵便局名

東岩瀨郵便電信局

三等

越前國坂井郡

郵便局名

三國郵便電信局

三等

豐前國下毛郡

郵便局名

中津郵便電信局

三等

明治二十四年五月 官報 逓信省告示第十九號 第五百二十一號 第五百二十二號

○內務省告示第十五號

一男女心得鏡 茨城縣信太郡江戶崎町七十八番地東郷市郎右衛門發行  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス  
明治二十四年五月九日 內務大臣伯爵西鄉從道

○宮内省告示第十號

明十二日午前六時十分 御出門同時三十分新橋發別仕立汽車乘御露國皇太子殿下御訪問トシテ京  
都へ 行幸可被爲在旨 仰出サル  
明治二十四年五月十一日 宮内大臣子爵土方久元

○遞信省告示第二百二十三號

遠江國森町郵便電信局ニ於テ本月十六日ヨリ歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報  
ノ取扱ヲ開始ス  
明治二十四年五月十三日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○司法省告示第六十一號

水戸地方裁判所管内麻生區裁判所玉造出張所明治二十四年五月二十日ヨリ開廳ス  
明治二十四年五月十四日 司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第六十二號

橫濱地方裁判所管内橫須賀區裁判所ニ於テ明治二十四年六月一日ヨリ刑事裁判事務ヲモ取扱フ  
明治二十四年五月十四日 司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第六十三號

浦和地方裁判所管内越ヶ谷區裁判所ニ於テ明治二十四年六月十五日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

但明治二十四年五月中ニ係ル同廳定期裁判ハ開廷セス  
明治二十四年五月十四日 司法大臣伯爵山田顯義

○遞信省告示第二百二十四號

來六月一日ヨリ大阪市大阪郵便電信局湊町電信支局ヲ同市南堀江通四町目ニ移シ大阪郵便電信局  
堀江電信支局ト改稱ス  
明治二十四年五月十四日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二百二十五號

一帆船相陽丸検査證書<sup>第二百三十一號</sup>明治二十三年十二月二十六日登簿  
右者東京府管下小笠原島父島大村七番地寄留服部新助所有帆船相陽丸へ下付ノ處本月一日八丈島  
ト三宅島ノ間ニ於テ暴風激浪ノタメ流失候旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ申出ヘシ  
但該證書ハ無効ニ屬ス  
明治二十四年五月十四日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○司法省告示第六十四號

富山地方裁判所管内富山區裁判所松本開出張所本年三月三十一日火災ニ罹リ保管ノ明治十二年一  
月ヨリ同十七年七月ニ至ル上野村元中上野村元福田村元上中村元上長屋村元上宮村元上小林  
村元新瀬戸村元上末村元上瀬戸村元下瀬戸村元新村元中林新村元蘆見村元下澤村元石坂村元  
高原上白岩村舊公證建物賣買割印簿遺失セシヲ以テ右年度中該村々ノ建物ニ付賣買ノ公證ヲ受ケ  
タルモノハ明治二十四年五月三十一日限り更ニ同出張所ニ登記ヲ願出ツ可シ  
但右期限内ハ燒失ニ依リ更ニ登記ス可キモノ、外他ノ登記ヲ停止ス  
明治二十四年五月十六日 司法大臣伯爵山田顯義

○遞信省告示第二百二十六號

富山地方裁判所管内富山區裁判所松本開出張所本年三月三十一日火災ニ罹リ保管ノ明治十二年一  
月ヨリ同十七年七月ニ至ル上野村元中上野村元福田村元上中村元上長屋村元上宮村元上小林  
村元新瀬戸村元上末村元上瀬戸村元下瀬戸村元新村元中林新村元蘆見村元下澤村元石坂村元  
高原上白岩村舊公證建物賣買割印簿遺失セシヲ以テ右年度中該村々ノ建物ニ付賣買ノ公證ヲ受ケ  
タルモノハ明治二十四年五月三十一日限り更ニ同出張所ニ登記ヲ願出ツ可シ  
但右期限内ハ燒失ニ依リ更ニ登記ス可キモノ、外他ノ登記ヲ停止ス  
明治二十四年五月十六日 司法大臣伯爵山田顯義

來六月十六日ヨリ美濃國郡上郡下田郵便局ヲ同郡白山村字福野ニ移シ白山郵便局ト改稱ス  
明治二十四年五月十六日 逓信大臣伯耆後藤象二郎

○大藏省告示第十二號

一 整理公債證書額面貳百萬圓  
但發行價格證書額面百圓ニ付金九拾九圓三拾九錢トス  
右整理公債條例第六條第二項ニ據リ本月十六日發行セリ

明治二十四年五月十八日

大藏大臣伯耆松方正義

〔參照〕

勅令第六十六號整理公債條例(明治十九年十月十六日)抄錄  
第六條第二項

大藏大臣ハ前項ノ手續ニ據ラス市場ノ時價ニ準シ整理公債證書ノ價格ヲ定メ臨時之ヲ發行シテ日本銀行ニ交付スルコトヲ得但發行シタル證書ノ金額及價格ハ大藏大臣其發行ノ翌日之ヲ告示スヘシ

○大藏省告示第十三號

一 銀行紙幣百貳拾萬九千七百八拾七圓

合同治却銀店銀行引上  
ヶ號ニ流通札合高

右ハ明治二十二年十月以降同二十三年十二月末日迄當省ニ於テ廢棄ノ手續ヲ了シタルモノニシテ  
本月十三十四ノ兩日間印刷局構内ニ於テ各國立銀行代理東京銀行集會所委員立會ノ上燒棄セリ

明治二十四年五月十八日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第十四號

東京第三十三國立銀行字都宮支店ノ儀明治二十四年五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス  
明治二十四年五月十八日 大藏大臣伯耆松方正義

○逓信省告示第百二十七號

左ノ郵便局ヲ置キ來六月一日ヨリ其事務ヲ取扱ヘシム  
明治二十四年五月十八日 逓信大臣伯耆後藤象二郎

明治二十四年五月十八日

| 位 置           | 等級 | 局 名   |
|---------------|----|-------|
| 阿波國板野郡瀬戸村大字堂浦 | 三等 | 堂浦郵便局 |
| 阿波國三好郡三繩村大字川崎 | 三等 | 川崎郵便局 |
| 阿波國勝浦郡福原村大字福原 | 三等 | 福原郵便局 |

○逓信省告示第百二十八號

巴里締結里斯本改正萬國郵便聯合條約實施細目規則第三十二條第一項中「ラムー」ハ東部亞弗利加ザ  
ンデパール帝國ニ設置ノ日耳曼郵便局ハ本年三月三十一日限り廢止ス  
明治二十四年五月十八日 逓信大臣伯耆後藤象二郎

〔參照〕

逓信省告示第百二十四號萬國郵便聯合條約實施細目規則第三十二條第一項(明治二十三年十一月二十七日)  
第一「(リヨランド)島ハ郵便事務上ニ付テハ日耳曼ノ一部ト看做シ「アピア」(サモア島)上海(支那)並ニ「ラムー」及「ザンヤ  
パール」(東部亞弗利加)ザンザパール帝國ニ設置ノ日耳曼郵便局ハ同國郵政廳ニ認スルモノトス

○宮内省告示第十一號

來ル二十一日京都 御發聲靜岡御一泊東京 還幸 仰出サル  
明治二十四年五月十九日 宮内大臣子爵土方久元

○司法省告示第六十五號

津田三藏被告事件ノ審問裁判ヲ爲ス爲メ大審院ハ裁判所構成法第五十一條ニ依リ大津地方裁判所  
ニ於テ法廷ヲ開ク

明治二十四年五月十九日

司法大臣伯爵山田顯義

〔參照〕

法律第六號裁判所構成法(明治二十三年二月十日官報)抄録

第五十條 大審院ハ左ノ事項ニ付裁判權ヲ有ス

第一 終審トシテ

(イ) 第三十七條第二ニ依リ爲シタル判決及第三十八條ノ第一審ノ判決ニ非サル控訴院ノ判決ニ對スル上告

(ロ) 控訴院ノ決定及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告

第二 第一審ニシテ終審トシテ

刑法第二編第一章及第二章ニ掲ケタル重罪竝ニ皇族ノ犯シタル罪ニテ禁錮又ハ更ニ重キ刑ニ處スヘキモノ、豫審及

裁判

第五十一條 前條第二ニ掲ケタル事件ニ付大審院ハ必要ナリト認ムルトキハ事件ノ審問裁判ヲ爲ス爲メ控訴院若ハ地方裁判

所ニ於テ法廷ヲ開クコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ控訴院判事ヲ以テ部員ニ加フルコトヲ得但シ其ノ半数ニ滿ルコトヲ得ス

○遞信省告示第百二十九號

羽後國雄勝郡湯澤及同國仙北郡大曲兩郵便電信局へ電信爲替ヲ開設シ來ル六月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十四年五月二十日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第百三十號

日耳曼ノ保護ニ屬スル東亞弗利加地方ハ本年四月一日ヨリ萬國郵便聯合ニ加入ス

但巴里締結里斯本改正萬國郵便聯合條約實施細目規則第四條貨幣比例表中日耳曼保護ノ部へ東亞弗利加ヲ追加シ又同規則第二十八條第五項(第六等)ニ日耳曼諸保護領地(カメルン)地方ニ

ユーギニ「會社領地」西南亞弗利加地方「マルシャル」群島地方「トゴ」地方東亞弗利加地方ヲ追加ス

明治二十四年五月二十日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○司法省告示第百六十六號

大阪地方裁判所管内池田區裁判所ニ於テ明治二十四年六月一日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十四年五月二十二日

司法大臣伯爵山田顯義

○遞信省告示第百三十一號

一第一則一等機關手本免狀<sup>第三號</sup>

明治十年十二月二十七日登簿

右ハ東京府士族成田友久所有ノ處東京市麻布區鳥居阪町四番地私宅ニ於テ紛失候旨届出ニ依リ其在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ可届出但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十四年五月二十二日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第百三十二號

本年四月中西洋形船へ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治二十四年五月二十二日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

西洋形船

| 信號符字 | 免狀番號      | 船名                  | 種類 | 定場      | 船主氏名     |
|------|-----------|---------------------|----|---------|----------|
| HJFT | 一一三六 1236 | 能登丸 Noto Maru No. 1 | 汽  | 越中國 伏木  | 樋爪 伊太郎   |
| HJFV | 一一三七 1237 | 日吉丸 Hi-yoshi Maru.  | 帆  | 攝津國 兵庫  | 木下 武兵衛   |
| HJFW | 一一三八 1238 | 多聞丸 Tanon Maru.     | 汽  | 同 神戶    | 神戶共同運輸會社 |
| HJGB | 一一三九 1239 | 駿豆丸 Sunzu Maru.     | 汽  | 伊豆國 月田村 | 松城 總代 長  |

○司法省告示第六十七號

福島地方裁判所管内白河區裁判所須賀川出張所本月十六日火災ニ罹リ左記村々ノ舊公證地所建物賣買實入書入割印簿燒失セシヲ以テ右年度中該村々ノ地所建物ニ付賣買實入書入ノ公證ヲ受ケタ  
ルモノハ明治二十四年六月十五日限り更ニ同出張所ニ登記ヲ願出ツ可シ  
但右期限内ハ燒失ニ依リ更ニ登記スヘキモノ、外他ノ登記ヲ停止ス  
一磐城國岩瀨郡榑村大字矢田野 明治十二年分  
一 大屋村大字大里 明治十四年ヨリ  
一 同 收本村大字牧ノ内 明治十年マテ  
明治十年分  
司法大臣伯爵山田顯義

○逓信省告示第五百三十三號

來六月一日ヨリ左ノ郵便局電信局ヲ合併シ其事務ヲ取扱ハシム  
明治二十四年五月二十三日 逓信大臣伯爵藤象二郎

| 國郡名    | 郵便局名   | 合併局名     | 合併局等級 |
|--------|--------|----------|-------|
| 藤原國勇拂郡 | 苦小牧郵便局 | 苦小牧郵便電信局 | 三等    |
| 日高國浦河郡 | 浦河郵便局  | 浦河郵便電信局  | 三等    |
| 岩代國安積郡 | 郡山郵便局  | 郡山郵便電信局  | 三等    |
| 遠江國佐野郡 | 掛川郵便局  | 掛川郵便電信局  | 三等    |
| 伊豆國賀茂郡 | 熱海郵便局  | 熱海郵便電信局  | 三等    |
| 三河國額田郡 | 岡崎郵便局  | 岡崎郵便電信局  | 三等    |

筑後國山門郡

柳川郵便局

柳川郵便電信局

三等

○司法省告示第六十八號

横濱地方裁判所管内八王子區裁判所小野路出張所宮崎地方裁判所管内都城區裁判所大牟田出張所  
明治二十四年六月十日ヨリ開廳ス  
明治二十四年五月二十八日 司法大臣伯爵山田顯義

○逓信省告示第五百三十四號

肥後國熊本市坪井町ニ郵便爲替取扱所ヲ設ケ熊本坪井町郵便爲替取扱所ト稱シ來ル六月一日ヨリ  
其事務ヲ取扱ハシム  
明治二十四年五月二十九日 逓信大臣伯爵藤象二郎

○大藏省告示第十五號

兵庫縣下神戸本金庫所屬柏原支金庫ヲ本年六月一日ヨリ氷上郡柏原町大字石田町へ移ス  
明治二十四年五月三十日 大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十六號  
 明治二十四年七月一日ヨリ九月三十日マテ輸入從價稅品元價ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣日本銀貨比較表左ノ通之ヲ定ム  
 但外國銀貨ト日本銀貨トノ比較ハ從前ノ通  
 明治二十四年六月一日  
 外國貨幣日本銀貨比較表  
 大藏大臣 伯爵松方正義

| 金貨         | 日本銀貨  |
|------------|-------|
| 英 金 一ポンド   | 六二八四  |
| 獨 逸 一マルク   | 三〇八   |
| 北米合衆國 一ドル  | 一・二九四 |
| 佛 國 一フラン   | 二四九   |
| 瑞 士 一フラン   | 二四九   |
| 白 耳 蘭 一フラン | 二四九   |
| 伊 太 利 一リラ  | 二四九   |
| 丁 株 一クローン  | 三四六   |
| 瑞 典 一クローン  | 三四六   |
| 瑞 國 一クローン  | 三四六   |
| 關 東 一ギルドル  | 五一九   |

明治二十四年六月 告示 大藏省第十六號  
 一三九





〔參照〕

明治二十三年四月大藏省告示第一號ハ金庫位置及出納區域ナリ

○司法省告示第六十九號

本年本省告示第六十七號中舊公證地所建物ノ下及該村々ノ地所建物ニ付ノ下各「賣買」ノ二字ヲ削除シ「磐城國岩瀨郡榊衝村大字矢野明治十二年分」トアルヲ「岩代國岩瀨郡榊衝村大字矢野明治十二年地所書入賣入公證簿」ト改メ同大屋村大字大里ノ下「明治十年ヨリ」トアルヲ「明治十年ヨリ地所建物書入賣入公證簿」ト改メ同牧本村大字牧ノ内ノ下「明治十年分」トアルヲ「明治十年地所書入賣入公證簿」ト改メ

明治二十四年六月三日

司法大臣子爵田中不二磨

〔參照〕

司法省告示第六十七號(明治二十四年五月二十三日)

福島地方裁判所管内白河區裁判所須賀川出張所本月十六日火災ニ罹リ左記村々ノ舊公證地所建物賣買入書入對印簿燒失セシヲ以テ右年度中該村々ノ地所建物ニ付賣買入書入ノ公證ヲ受ケタルモノハ明治二十四年六月十五日限リ更ニ同出張所ニ登記ヲ願出ツ可シ

但右期限内ハ燒失ニ依リ更ニ登記スヘキモノ、外他ノ登記ヲ停止ス

一 磐城國岩瀨郡榊衝村大字矢野野

一 同 大屋村大字大里

一 同 牧本村大字牧ノ内

明治十二年分

明治十年分

○內務省告示第十六號

一 改頁便利切手 一枚 秋田縣秋田市城町三十五番地佐々木民吉發行  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十四年六月四日

內務大臣子爵品川彌二郎

○司法省告示第七十號

松山地方裁判所管内松山區裁判所東中島出張所今治區裁判所東伯出張所明治二十四年六月八日ヨリ開廳ス

明治二十四年六月四日

司法大臣子爵田中不二磨

○農商務省告示第五號

北亞米利加合衆國イリノイ州シカゴ府ニ於テ明治二十六年五月一日ヨリ同年十月最後ノ木曜日マテ開設スルコロンブス世界博覽會ニ參同ノコトヲ合衆國政府ヨリ照會アリ帝國政府ハ兩國ノ交誼ニ對シ又本邦物産ノ興隆ヲ圖リ且ツ本年三月帝國議會ノ建議ヲ納レ之ニ參同スルコトヲ諾セリ依テ同國政府ヨリ送付シタル各國出品人ニ關スル規程輸入稅免除規程及出品部類目錄ヲ公示ス其本邦出品ニ關シ特ニ規程ヲ要スルモノハ別ニ之ヲ定ムヘシ

明治二十四年六月五日

農商務大臣陸奧宗光

一千八百九十三年「コロンブス」世界博覽會各國出品人ニ關スル規程

第一條 當博覽會ハ千八百九十三年五月一日ヨリ同年十月三十日マテシカゴ府内ミンガン湖畔ニ於テ之ヲ開ク

第二條 各國出品ノ陳列場ヲ整理センカ爲ニ豫メ事務官任命ノ事ヲ請求シタルヲ以テ各國政府ハ事務官任命次第其旨ヲ本會事務官長ニ通知スヘシ

第三條 各國ノ列品場ヲ示スヘキ各館及敷地ノ圖ヲ製シ千八百九十二年一月一日マテ外國事務官ニ之ヲ交付スヘシ但シ之ヲ改正變更スルコトアルヘシ

第四條 出品陳列場ノ請求及之ニ關スル協議ハ出品物製産國ノ事務官之ヲ處理スヘシ

第五條 各國事務官若シ其配付セラレタル陳列場ノ廣狹増減ヲ要スルトキハ其旨及其面積ヲ千八百九十二年六月一日マテ本會事務官長ニ照會スヘシ

第六條 各國事務官ハ千八百九十二年十一月一日マテニ其配付セラレタル陳列場出品排列ノ設計

及出品人名其他博覽會出品目錄ノ編成ニ必要ナル事項ヲ事務官長ニ報告スヘシ  
 博覽會へ出品センカ爲メボトランド(メエシ)、ボストン、ニューヨーク、ヒラデルヒヤ、バルチモ  
 ル、タマパ、ニユーレヤンス、サンフランシスコ、ワイルミントン、ボルトランド(オレゴン)、ボ  
 トランド、セントルイス、シエラ、タコマ及ミカゴ諸港ヲ經テ合衆國へ輸入スル諸物品ハ通常輸入品ノ  
 如ク検査ヲ要セス税關吏ノ相當ナル監督ヲ受ケテ會場ニ輸送シ閉會後ハ又之ヲ其輸出港ニ搬出  
 スルヲ許可ス此等ノ物品ハ合衆國內ニ於テ消費スルニ非サレハ課税セサルモノトス  
 第六條 博覽會へ出陳ノ爲メ物品ノ輸送受取解荷及陳列ニ係ル諸費ハ出品者ノ自辨タルヘシ  
 第七條 特別ノ土臺若クハ据付ヲ要スヘキ重量物品ハ特別ノ規約ニヨリ本館建築工事ノ撻取次第  
 成ルベク速ニ其排列ヲ始ムヘシ  
 會場内出品排列ノ期限ハ千八百九十二年十二月一日起リ千八百九十三年四月十日ニ終ルモ  
 トス此期限經過後ハ一切之ヲ許可セス  
 第八條 各國事務官へ配付シタル陳列場ニシテ千八百九十三年四月十日マテニ使用セサル部分ハ  
 事務官長ニ於テ之ヲ引上ケ更ニ配付ノ處分ヲナスヘシ  
 第九條 優劣競争ノ爲メニ陳列スル物品ハ出品者ニテ其趣キヲ記スヘシ否サレハ之ヲ萬國審査  
 官ノ審査ニ附セス  
 第十條 博覽會出品目錄ハ英、佛、獨、西ノ四國語ヲ以テ刊行シ其版權ハ「コロンブス」世界博覽會ノ  
 所有タルヘシ  
 博覽會場内各出品物ヲ左ノ十二區ニ別チテ排置ス但特種ノ蒐集品ハ之ヲ除ク

- Aノ區 農業、森林產物、林業、其器械及使用品
- Bノ區 葡萄栽培、園藝、育花
- Cノ區 動物、家畜及野生動物
- Dノ區 魚類、漁業、製造品及漁具類
- Eノ區 鐵山、採鑛術、冶金術

Fノ區 機械  
 Gノ區 運搬法、鐵道、船舶、車輛  
 Hノ區 諸製造品  
 Jノ區 電氣  
 Kノ區 美術、繪畫、造像及裝飾  
 Lノ區 心算、教育、土木、工業、建築、音樂、文藝  
 Mノ區 人種學、古物學、工作及發明ノ進歩

第十一條 各國事務官ハ各自ノ出品目錄ヲ出版スルコトヲ得  
 第十二條 出品人ハ陳列場借料ヲ納ルヲ要セス  
 定置ノ蒸汽及水力ハ無代價ニテ給與スヘシ其分量ハ陳列場配付ノ時ニ定ムルモノトス若シ給與  
 ヲ受ケタルヨリ多量ノ蒸汽及水力ヲ要スル者ニハ定價ヲ以テ本會ヨリ給與スヘシ其請求モ亦陳  
 列場配付ノ時ニ於テ之ヲ爲スヘシ  
 第十三條 各出品人カ出品陳列ノ爲メニ要スル飾箱、飾架、飾棚其他ノ裝置及各自ノ列品場ニ於テ蒸  
 汽、水力等ヲ其本軸ヨリ分用スル支軸、滑車、帶皮等ノ諸費ハ總テ自辨タルヘシ但シ物品ノ排列及  
 ヒ裝飾ハ事務官長ニ於テ制定シタル規模ニ適合スルヲ要ス  
 「コロンブス」世界博覽會ハ出品ノ安全ニ注意ヲ加フヘシト雖トモ各種ノ損害及火災其他ノ偶發  
 事件ニ付テハ其原因ノ如何ニ關セス一切其責ヲ有セサルモノトス  
 第十四條 本會ハ出品人若クハ各國事務官ヲシテ其出品ノ安全ヲ保タシメンカ爲便益ヲ與フヘシ  
 各國事務官ハ開場中出品管守ノ爲メ本會ノ規則ニ從ヒ看護人ヲ使用スルコトヲ得  
 第十五條 各國事務官若クハ其指定シタル代理人ハ出品ノ受取解荷、陳列及閉會ノ時之カ搬出ノ  
 責任ヲ有ス但代理人ハ相當ノ委任狀ヲ事務官長ニ示スニアラスシハ其事務ヲ執行スルヲ得ス  
 第十六條 各出品荷物送先宛名ハ亞米利加合衆國シカゴ府「コロンブス」世界博覽會ニ於テ某國事  
 務官行  
 "To the Commission" (Name of Country)

"at the World's Columbian Exposition, Chicago, United States of America"

ト書スヘシ尙正反對ノ面ヲ避ケ少ナクモ荷箱ノ二方面ニ左記各項ノ條件ヲ記スヘシ  
 第十七條 (一)荷物ヲ送り出セシ國(二)出品者氏名若クハ商會(三)出品者ノ住所(四)出品ノ類別  
 (五)同一出品人ヨリ發送セシ荷物ノ總數(六)各荷物ノ番號  
 第十八條 各荷物ノ内ニ品名目錄ヲ封入スヘシ  
 第十九條 出品荷物博覽會場ニ到達スルモ正當ナル受取人ナキ時ハ直チニ會場外ニ搬出シ其關係  
 者ノ負擔及責任ヲ以テ倉庫ニ入レ置クヘシ  
 第二十條 危險有害ノ恐レアルカ若クハ特許ノ秘藥又ハ性質不明ノ藥劑等ハ其出陳ヲ許可セズ  
 第二十一條 出品物ノ搬出ハ閉會後ニアラサレハ之ヲ許可セズ  
 第二十二條 出品物ノ寫眞模寫寫眞模造等ハ出品人及事務官長ノ同意ヲ以テ許可スヘシ但列品  
 場各部ノ攝影ハ事務官長之ヲ許サスヘシ  
 第二十三條 出品人ハ閉會後直チニ物品ヲ搬出シ一千八百九十四年一月一日前ニ悉皆之ヲ終ルヘ  
 シ同日以後ニ至リ尙ホ會場ニ存在スル時ハ「コロロンプス」世界博覽會ノ指揮ニ依リ之ヲ搬出シ其  
 費用ヲ補フ爲メ之ヲ賣却スルカ若クハ之ヲ隨意處分スヘシ  
 第二十四條 各出品者タルモノハ本會ニ關スル諸制規ヲ遵奉スルノ義務ヲ自認スルモノト見做ス  
 ヘシ  
 美術品ノ出品褒賞萬國審査官ノ組織列品場内ニ於テ特種物品ノ販賣其他前條規定外ノ事項ニ  
 關スル規程ハ追テ之ヲ制定スヘシ  
 第二十五條 博覽會ニ關スル諸般ノ通信ハ合衆國イリノイ州シカゴ府「コロロンプス」世界博覽會事  
 務官長ニ宛テ發スヘシ  
 事務局ハ博覽會ノ利害ノ爲メ必要ト認ムル時ハ何時タリトモ以上ノ規程ヲ説明シ若クハ改正ス  
 ルノ權ヲ有ス

千八百九十三年シカゴ府ニ於テ開設スル「コロロンプス」世界博覽會出品物輸入税免除規程

事務官長 ショウルジ、アール、ダヴス 各 税 關

コロロンプスカ亞米利加ヲ發見セシ四百年紀ヲ祝スル爲メイリノイ州シカゴ府ニ於テ技術、工藝、製  
 造、農産、礦産及水産世界博覽會ヲ開設スルニ付國會ニ於テ千八百九十年四月二十五日議決シタル  
 條例第十一條左ノ如シ  
 單ニ博覽會ヘ陳列スルノ目的ノミヲ以テ外國ヨリ輸入スル物品ニ對シテハ縱令課税品ト雖トモ  
 大藏卿ノ定ムル規程ニ從ヒ關稅、稅關手續料及雜費ヲ免除ス而シテ陳列用ノ爲メ輸入シ現ニ會  
 場ニ陳列スル物品ハ内地稅及輸入稅徵收ニ關シ大藏卿ノ定ムル所ニ從ヒ閉會後ニ引渡ヲ爲スノ  
 約束ヲ以テ開會中何時ニテモ賣却スルコトヲ得ヘシ斯クノ如ク販賣シ若クハ合衆國內ニ於テ消  
 費スル爲メ物品ヲ搬出シタルトキハ其物品ヲ輸入セシ當時現行ノ稅法ニ從ヒ課稅スヘシ  
 但シ不法ノ賣却又ハ搬出ヲナシタル人及物品ニ對シテハ凡テ法律ニ於テ定メタル罰則ヲ適用ス  
 ヘシ  
 此條例ニ遵テ規程ヲ定ムルコト左ノ如シ  
 第一條 前條文ニ示ス所ノ輸入物品ハ合衆國內ニ於テ消費スル爲メニ販賣スルモノヲ除キ總テ關  
 稅、稅關手續料及雜費ヲ免除ス  
 博覽會ニ出品スル諸物品ハ何レノ港ヨリモ輸入スルヲ得  
 第二條 博覽會ヘ陳列スル物品ハ記號、番號、性質、數量及外國ノ市價ヲ表示スル入記目錄ニ通リ要  
 ス而テ一通ハ合衆國ニ輸入スル物品ノ輸入港稅關長ヘ一通ハシカゴ港稅關長ヘ一通ハ物品引受  
 人又ハ荷主ノ代理者ニ送付スヘシ荷主ハ其入記目錄ニ出品人ノ代理者タルコトヲ證明シ而シテ  
 此入記目錄ハ當博覽會ニ參同スル外國政府ノ事務官若クハ合衆國領事ノ證明ヲ要ス又政府ノ出  
 品ニシテ單ニ政府ノ所用ニ供シ當國ニテ販賣セサルモノハ其政府事務官ノ證明書ニ據テ輸入ス  
 ルヲ得

第三條 前條出品荷物ニハ亞米利加合衆國シカゴ府税關長ノ宛名ヲ記シ且ツ("Exhibits for the World's Columbian Exhibition") (ロンドンズ世界博覽會出品物)ト明記スヘシ又荷主及引受人ノ氏名住所入記目録ノ記號番號ヲ記スヘシ

第四條 博覽會ニ出品スル荷物ノ輸入港ニ到着スルトキハ其引受人又ハ代理者ハ制規ノ書式ニヨリテ手續ヲ行ハシ鑑定ヲ要セス直ニシカゴ府ヘ輸送ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 シカゴ府ニ出品荷物ノ鐵道列車ニテ到着スルトキハ鐵道會社ノ支配人或ハ代理人ハ其積荷目録ヲ差出シ税關吏ニ其到着ヲ報告スヘシ税關吏ハ豫テ郵便ニテ領收セル積荷目録ニ之ヲ對照シ列車ノ荷卸ヲ監督シ積荷目録ニ記載セル記號番號ニ依リ荷物ノ調査ヲ爲スヘシ

積荷目録ナキ場合ニ於テモ鐵道列車ノ荷卸ハ猶豫スヘカラス但シ此場合ニ於テハ入記目録ニ依リテ其荷物ヲ調査スヘシ

出品物ノ外國ヨリ直航便船ニテシカゴ府ニ到着セシ時ハ前條ニ於テ定メタル方法ニ據リ特別ノ倉入手數ヲ行ハシ其輸入船ヨリ直ニ博覽會場ニ輸送シ得ヘキ特別免狀ヲ發スヘシ

荷主引受人若クハ代理者ニ於テ制規ノ書式ニヨリ特別倉入手數ヲ爲サル間ハ税關吏ニ於テ荷造ノ儘之ヲ留置クヘシ然レトモ別ニ倉入保證ノ手續ヲ要セス

第六條 特別倉入手數ノ濟タル上ハ博覽會場派出ノ鑑定吏ニ於テ其荷物ヲ開キ物品ノ検査評價ヲ爲スヘシ但シ博覽會場ヲ以テ検査場ト認ムヘシ

鑑定吏ヘキ物品ノ入記目録ハ鑑定吏ニ渡スヘシ而シテ鑑定吏ハ正當ニ商品ノ輸入或ハ倉入手數ヲナレタル如クニ検査シ其入記目録ニ鑑定報告ヲ裏書スヘシ右ニテ其手續ヲ結了シ税金ノ金額ヲ決定シ特別倉庫帳簿ノ書式ニ從ヒ一切ノ手續ヲ明細ニ記録スヘシ

第七條 前條ノ手續ヲ了ヘタル物品ハ其陳列スヘキ場所ニ排置スルコトヲ得ヘシ但シ税關吏ノ指揮監督ニ屬シ税關長又ハ其代理官ノ免許ヲクンテ之ヲ他ニ移スコトヲ得ス

前項ノ物品ハ何等ノ場合ヲ問ハス消費、倉入、或ハ輸出ノ爲メ搬出スルニ必要ナル手續ヲナスニアラサレハ之ヲ博覽會場ヨリ搬出スルコトヲ許サス且税關吏ノ監督ヲ免ルハコトヲ得サルモノトス

第八條 博覽會出品物ヲ輸出スル場合ニハ當初輸入セシ荷造ノ儘輸出スヘキ現行規程ヲ適用セス

第九條 此規程ニ由テ要スヘキ税關手續免狀積荷目録、帳簿ノ特種用紙ハ大藏省ニ於テ之ヲ調製下付ス

第十條 税關長ハ博覽會出品輸入ニ關シ此規程中歲入ノ利益ヲ保證スルニ不充分ト認メタル箇條アラハ其旨大藏卿ニ報告スヘシ此ノ場合ニ於テハ特別ノ訓令ヲ與フルコトアルヘシ

第十一條 陳列ノ爲ニ輸入セシ物品ヲ盜難又ハ其他ノ事故ニヨリ紛失セシ時ト雖トモ出品主ハ輸入税ニ對シテ責任ヲ有ス但シ紛失ノ理由ヲ大藏省ニ申報シ其實質酌量スヘキモノト認ムル時ハ免税スルコトアルヘシ

第十二條 消耗スヘキ物品ノ毀損シタルトキ及開會中見本トシテ物品ヲ消費シタルトキハシカゴ府税關長ヨリ其實質ヲ確定スル所ノ報告書ヲ差出スニ於テハ大藏省ハ免税ノ證據ヲ爲スコトアルヘシ

第十三條 博覽會ニ附屬スル飾箱ハ無税トス然レトモ之ヲ賣却スル時ハ有税品タルヘシ

第十四條 税關手續ノ際ニ於ケル物品ノ數量ト閉會後輸出又ハ搬出ノ際ニ於ケル數量ト差違アルヲ發見セシ時ハ第十二條ヲ適用シテ之ヲ處分スヘシ

海關稅ハ當國內ニ於テ現ニ消費スルダメ輸入セシ物品ノ外之ヲ徵收スヘキモノニアラサレハ宜ク茲ニ注意スヘキナリ

一千八百九十一年一月七日

華盛頓府ニ於テ

大藏卿 ウヰリヤム、ウイソドム



|       |  |       |   |       |  |      |  |
|-------|--|-------|---|-------|--|------|--|
| 第八十七類 | 收穫器具 大鐵把鐵爪大鐵附屬木、小鐵(以上用手用刈收器、包束器、草刈器、馬把、揚草器、乾草攪揚器、爪哇攪揚器、五穀收穫器(以上動物用) 取貯品準備品、脫粒器、首帶種子脫粒器、五穀篩、磨粉機、乾草攪揚器等包裝器具 農務特用器具鐵機、運搬用若クハ常設用機關風車、乾草及飼料攪切器、柔根攪切器、飼料粉料器、穀磨、大鐵、蒸汽鐵磨、卵器等 | 第九十五類 | 動物性脂肪、豚脂、羊脂、鹿山羊脂、鹿脂、魚肝油、魚油、魚肝油(Dノ區産品) 植物性油、純油、阿利機油、菜種油、亞麻仁油、椰子油、桐油、椰子油(油滓添付) 石鹼、其他類、香料、入及化粧料、石鹼ニ就テハ第八十六部參看) | 第九十九類 | 森林產物及林業 角物、骨、普通建築用及工業用ニ供スル各種ノ粗材、挽材、(荒木、制材並ニ角材、椽、貫、小割、大小各種ノ板類、其他造船用木材、帆船、帆桁、桁柱、欄用木材、柱及杆用木材、鐵坑用材、各種ノ木材標本、加工建築用材、及器具材、桶、葺、屋椽、板、模形用材、樓、樹、家具材等  | 第一百類 | 裝飾用材、家具用材、堅硬美麗ノ鐵木、(「マホガニー」、「ロー」スワード、「サチンウッド」、「烏木」、「マドロナ」、「黒胡椒」等ノ樹木、其他裝飾ニ適スル其 |
| 第九十二類 | 泥土及家具匠用ノ毛類、粗毛、羽毛、柔毛類   | 第九十六類 | 植物性油、純油、阿利機油、菜種油、亞麻仁油、椰子油、桐油、椰子油(油滓添付) 石鹼、其他類、香料、入及化粧料、石鹼ニ就テハ第八十六部參看)                                       | 第一百一類 | 裝飾用材、家具用材、堅硬美麗ノ鐵木、(「マホガニー」、「ロー」スワード、「サチンウッド」、「烏木」、「マドロナ」、「黒胡椒」等ノ樹木、其他裝飾ニ適スル其   |      |  |
| 第九十三類 | 動物性肥料、海鳥糞、混合鳥糞、腐母尼亞質、石灰質、例、多斯其他鹽類  | 第九十七類 | 石鹼、其他類、香料、入及化粧料、石鹼ニ就テハ第八十六部參看)  | 第一百二類 | 腐朽ヲ豫防スルカ爲ニ種々ノ方法ヲ施シタル用材 染色用ニ供スヘキ植物性原料「アラビヤウッド」、「蘇木」、「ヒノキ」等ノ樹皮、(「ラブリヤン」カシヤ、「サトウ」、「ゴロウ」、「アヒ」、「五倍子」ノ類、著色用、蘇苔ノ類) 木質纖維素「コルク」及「コルク」用木質、特別使用ニ供スル多孔質ノ樹木、樹心、纖維類、蘇苔「ブレイ」、炭類、其他、炭床及家具用填充物、或ハ機械工用ニ供スル植物質、例、(「オニナベナ」) 和蘭蔴、燈心草、水賊、其他各品、(「カウチヤ」、「セネガル」) 護膜、「トウカ」、「メスクリット」、「アロバヤ」、「アロバヤ」、「アロバヤ」ノ類、(「ガニトルス」、「ビード」、「苜蓿」ノ類) 裝飾用ノ種子、莢、木、象牙、椰子、椰子ノ殼、「ガニトルス」、「ビード」、「苜蓿」ノ類、雜產物、抄紙其他ノ用途ニ供スル木質、木製器具、盆、桶、大鐵、掃除器ノ類 |      |  |

|        |  |        |  |        |  |        |  |         |  |
|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|---------|--|
| 第九十四類  | 動物性肥料、海鳥糞、混合鳥糞、腐母尼亞質、石灰質、例、多斯其他鹽類  | 第一百十三類 | 森林產物學、森林ノ配置及其植物種別、園藝學上ニ必要ナル木材ノ標本、樹木生長ノ特殊異ノ樹木植物學的特性、木材ノ解剖及組織、木切片、顯微鏡試驗用切片、樹木生長ノ特殊、屈曲木、歪木、森林樹木ノ病蟲害 | 第一百十四類 | 樹木栽培、針葉樹小苗木、床換、清苗木、闊葉樹小苗木、床換、清苗木、大小各種、挿苗、種子見本及其貯藏法、種子ノ採集方、及仕上ク方、此種子貯藏法、樹木栽培、育及森林保護、土工用器具、特用器具、播種用器具、栽、植用器具、手入用器具、有蓋、鳥籠、防雨、手段、立、氣候ニ對スル防雨法、苗圃、及養樹術ニ關スル圖解 | 第一百十五類 | 森林產物學、森林ノ配置及其植物種別、園藝學上ニ必要ナル木材ノ標本、樹木生長ノ特殊異ノ樹木植物學的特性、木材ノ解剖及組織、木切片、顯微鏡試驗用切片、樹木生長ノ特殊、屈曲木、歪木、森林樹木ノ病蟲害 | 第一百十六類  | 森林產物學、森林ノ配置及其植物種別、園藝學上ニ必要ナル木材ノ標本、樹木生長ノ特殊異ノ樹木植物學的特性、木材ノ解剖及組織、木切片、顯微鏡試驗用切片、樹木生長ノ特殊、屈曲木、歪木、森林樹木ノ病蟲害 |
| 第一百十七類 | 森林產物學、森林ノ配置及其植物種別、園藝學上ニ必要ナル木材ノ標本、樹木生長ノ特殊異ノ樹木植物學的特性、木材ノ解剖及組織、木切片、顯微鏡試驗用切片、樹木生長ノ特殊、屈曲木、歪木、森林樹木ノ病蟲害 | 第一百十八類 | 森林產物學、森林ノ配置及其植物種別、園藝學上ニ必要ナル木材ノ標本、樹木生長ノ特殊異ノ樹木植物學的特性、木材ノ解剖及組織、木切片、顯微鏡試驗用切片、樹木生長ノ特殊、屈曲木、歪木、森林樹木ノ病蟲害 | 第一百十九類 | 森林產物學、森林ノ配置及其植物種別、園藝學上ニ必要ナル木材ノ標本、樹木生長ノ特殊異ノ樹木植物學的特性、木材ノ解剖及組織、木切片、顯微鏡試驗用切片、樹木生長ノ特殊、屈曲木、歪木、森林樹木ノ病蟲害   | 第一百二十類 | 森林產物學、森林ノ配置及其植物種別、園藝學上ニ必要ナル木材ノ標本、樹木生長ノ特殊異ノ樹木植物學的特性、木材ノ解剖及組織、木切片、顯微鏡試驗用切片、樹木生長ノ特殊、屈曲木、歪木、森林樹木ノ病蟲害 | 第一百二十一類 | 森林產物學、森林ノ配置及其植物種別、園藝學上ニ必要ナル木材ノ標本、樹木生長ノ特殊異ノ樹木植物學的特性、木材ノ解剖及組織、木切片、顯微鏡試驗用切片、樹木生長ノ特殊、屈曲木、歪木、森林樹木ノ病蟲害 |

|        |  |        |                      |
|--------|--|--------|----------------------|
| 第百四十四類 | 水生植物及其栽培法、睡蓮類  | 第百五十六類 | 果實ノ模型                |
| 第百四十五類 | 等  | 第百五十七類 | 貯藏果實及野菜              |
| 第百四十六類 | 乾花及花飾ノ類  | 第百五十八類 | 乾燥セル林檎、梨子、桃、其他小果實    |
| 第百四十七類 | 造花ノ意匠等東花貯藏花葉、海藻、植物及花ノ圖解、造花葉、匠ノ材料、束花ノ材料、束花匠、束花用紙、食卓上ノ裝飾                 | 第百五十九類 | 干葡萄及其工業並ニ製法及器具       |
| 第百四十八類 | 植木鉢、植木箱、盤、羊齒蓋等、意匠用ノ植物栽培方花葉、飾、製木製及鐵製ノ裝飾意匠                               | 第百六十類  | 李、梅、無花果、波斯菓等、塔者、クノ箱詰 |
| 第百四十九類 | 裝飾用ノ樹木及灌木並其生育移植等ノ方法  | 第百六十一類 | 糖蜜或ハ酒精浸果實ノ罐詰若クハ罐詰    |
| 第百五十類  | 果樹及其生育、接木移植、刈枝等ノ方法並ニ害蟲其他ノ除害除去法   | 第百六十二類 | 果膏液、果膏、果糖            |
| 第百五十一類 | 養樹園及苗木賣買   | 第百六十三類 | 野菜ノ乾物、罐詰若クハ罐詰        |
| 第百五十二類 | 溫帶及半熱帶地方ノ果實、林檎、梨子、櫻桃、桃、油、桃杏、梅、葡萄、櫻桃、甜瓜類等及其栽培其他貯藏法、荷造及船積法、葡萄ニ付テハ第二十二部參看 | 第百六十四類 | 酸果、菌、シロ、此、シ、シ、シ      |
| 第百五十三類 | 酸味果物、櫻桃、檸檬、等   | 第百六十五類 | 水、果、及其罐製模造品          |
| 第百五十四類 | 酸味果實ヲ除ク  | 第百六十六類 | 器具機噐                 |
| 第百五十五類 | 小果實、櫻桃、梅等ノ子實   | 第百六十七類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百六十八類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百六十九類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十類  | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十一類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十二類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十三類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十四類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十五類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十六類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十七類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十八類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百七十九類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百八十類  | 器具機噐                 |
|        |  | 第百八十一類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百八十二類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百八十三類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百八十四類 | 器具機噐                 |
|        |  | 第百八十五類 | 器具機噐                 |

|        |  |        |   |
|--------|--|--------|---|
| 第百八十六類 | 牧牛ニ用ユル烙印標品、烙印、鑄造及鑄造器具等                         | 第百九十二類 | 豚ノ飼育法、養種法、肥法、屠殺法、荷造法及屠殺事業ニ關スル統計、歴史及其他書類 |
| 第百八十七類 | 細毛羊  | 第百九十三類 | 大                                       |
| 第百八十八類 | 粗毛羊  | 第百九十四類 | 獵犬、守犬、車用犬及其他ノ諸犬                         |
| 第百八十九類 | 中毛羊  | 第百九十五類 | 愛玩犬ノ諸種類                                 |
| 第百九十類  | 肉羊   | 第百九十六類 | 犬ノ頭輪鎖、口籠等                               |
| 第百九十一類 | 山羊、象、駱駝及其他ノ家畜、駱駝、象、ラマ、ビブナ、ノア、ルバカ、ク、ナ、コ、ナ、ツ、ク、等 | 第百九十七類 | 犬ノ產室、犬籠及犬ノ掛類                            |
| 第百九十二類 | 豚ノ飼育法、養種法、肥法、屠殺法、荷造法及屠殺事業ニ關スル統計、歴史及其他書類        | 第百九十八類 | 貓ノ種類、功用、說明及價格                           |
| 第百九十三類 | 大  | 第百九十九類 | 現及其飼育法、狩獵法、病疫預防                         |
| 第百九十四類 | 獵犬、守犬、車用犬及其他ノ諸犬                                | 第百二十類  | 家畜及野禽                                   |
| 第百九十五類 | 愛玩犬ノ諸種類  | 第百二十一類 | 家畜及其他ノ家鳥諸種類、家畜、家禽及制禽                    |
| 第百九十六類 | 犬ノ頭輪鎖、口籠等                                      | 第百二十二類 | 養種、飼養                                   |
| 第百九十七類 | 犬ノ產室、犬籠及犬ノ掛類                                   | 第百二十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十八類 | 貓ノ種類、功用、說明及價格                                  | 第百二十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十九類 | 現及其飼育法、狩獵法、病疫預防                                | 第百二十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十類  | 家畜及野禽  | 第百二十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十一類 | 家畜及其他ノ家鳥諸種類、家畜、家禽及制禽                           | 第百二十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十二類 | 養種、飼養  | 第百二十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百二十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百二十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十類  | 屠殺、屠殺  | 第百三十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百三十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百三十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十類  | 屠殺、屠殺  | 第百四十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百四十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百四十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十類  | 屠殺、屠殺  | 第百五十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十類  | 屠殺、屠殺  | 第百六十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十類  | 屠殺、屠殺  | 第百七十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十類  | 屠殺、屠殺  | 第百八十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十類  | 屠殺、屠殺  | 第百九十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十類  | 屠殺、屠殺  | 第百五十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十類  | 屠殺、屠殺  | 第百六十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十類  | 屠殺、屠殺  | 第百七十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十類  | 屠殺、屠殺  | 第百八十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十類  | 屠殺、屠殺  | 第百九十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十類  | 屠殺、屠殺  | 第百五十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十類  | 屠殺、屠殺  | 第百六十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十類  | 屠殺、屠殺  | 第百七十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百七十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百七十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十類  | 屠殺、屠殺  | 第百八十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百八十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百八十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十類  | 屠殺、屠殺  | 第百九十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百九十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百九十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十類  | 屠殺、屠殺  | 第百五十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百五十九類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十四類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十類  | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十五類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十一類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十六類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十二類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十七類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十三類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十八類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十四類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百五十九類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十五類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十類  | 屠殺、屠殺  | 第百六十六類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十一類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十七類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十二類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十八類 | 屠殺、屠殺                                   |
| 第百六十三類 | 屠殺、屠殺  | 第百六十九類 |   |









|         |   |         |   |         |                         |
|---------|---|---------|---|---------|-------------------------|
| 第四百六十九類 | 火藥、乾燥、光澤、山シ及洗滌用諸機械                                      | 第四百七十七類 | 鐵道工作                                      | 第四百九十一類 | 遊樂用諸車等                  |
| 第四百七十類  | 別ニ記載セザル諸種ノ製造用機械   | 第四百七十八類 | 鐵道保存法                                     | 第四百九十二類 | 輕便遊樂車、單馬二輪車、無蓋二輪車等      |
| 第四百七十一類 | 材料強弱試驗機、回轉力試驗器  | 第四百七十九類 | 鐵道管理法                                     | 第四百九十三類 | 急行車及二輪馬車                |
| 第四百七十二類 | 石粘土、其他諸礦物工業用機械(但ノ區參看)                                   | 第四百八十類  | 鐵道運送及統計                                   | 第四百九十四類 | 特殊ノ用ニ供スル兵營車、患者及負傷者用     |
| 第四百七十三類 | 煉瓦、陶器及瓦製造機械、人造石製造機械                                     | 第八十部    | 綸索軌及綸索運搬法                                 | 第四百九十五類 | 二輪及三輪自轉車並ニ附屬品           |
| 第四百七十四類 | 煉糖及製糖機、併列製糖機、煉乳機、其他ノ傳動器、爐(石炭瓦斯)金屬成形機械、則チ大釘、釘、蹄鐵機械類及給鐵機等 | 第四百八十一類 | 市街鐵道組織                                    | 第四百九十六類 | 患者用及其他ノ週轉椅子並ニ小兒用小車等     |
| 第四百七十五類 | 鐵道藥造  | 第四百八十二類 | 高架構式用發電機、汽缸及機軸等                           | 第四百九十七類 | 車用鐵器及附屬品                |
| 第四百七十六類 | 鐵道用具  | 第四百八十三類 | 蓄電槽式電氣鐵道                                  | 第四百九十八類 | 馬具、馬鞍、鞍及服用附屬品           |
| 第七十八部   | 電氣ヲ用テ鍛合、鍛鐵、鍛釘、成形、洋、鋼及鐵針シタル金屬(ノ區參看)                      | 第四百八十四類 | 車輛及通常道路ニ於ケル運搬法                            | 第四百九十九類 | 空中、箱氣及其他ノ運搬法            |
| 第七十九部   | 鐵道、鐵道布設用具及鐵道用具  | 第四百八十五類 | 手車、土車、草履及桶ノ運搬用                            | 第五百類    | 小包及貨物ノ運搬ニ要スル店用器具        |
| 第四百七十五類 | 鐵道藥造  | 第四百八十六類 | 荷車、田圃用及庭園用小車等                             | 第五百一類   | 輕氣球運搬法並ニ觀象用及試驗用ノ繫留セル輕氣球 |
| 第四百七十六類 | 鐵道用具  | 第四百八十七類 | 特殊ノ用ニ供スル堅牢ナル車類、麥酒車及木材石材鐵材ノ如キ重物ヲ運搬スルニ用フル車類 | 第五百二類   | 傳書用ニ使用スル法(第二部五類參看)      |
|         |   | 第四百八十八類 | 消防脚筒、脚子車等ニ就テ(第六十九部參看)                     | 第八十四部   | 船舶類                     |
|         |   | 第四百八十九類 | 湯遊樂等ニ用フル大車類(「グレート」「パーシ」等)                 | 第五百三類   | 汽船類                     |
|         |   | 第四百九十類  | 乘合馬車、「ハーテイック」等                            |         |                         |
|         |   |         | 頭馬車及「ハンサム」等                               |         |                         |
|         |   |         | 乘車、單馬車、四輪車、郵便遞送及旅客用車                      |         |                         |

|        |  |         |  |         |  |
|--------|--|---------|--|---------|--|
| 第五百五類  | 電氣力ニ依テ進行スル諸船舶                                  | 第五百二十一類 | 金屬化合物、金屬鹽類及其他ノ商業用化學製品  | 第五百三十四類 | 包紙、マニラ紙、紙袋、綴交セ                             |
| 第五百六類  | 海底電線及汽船ヲ運搬スルニ用フル船舶、汽船、給水船及浚渫機等、螺絲、仕掛修船渠及修船渠    | 第五百二十二類 | 化學家用純淨藥品   | 第五百三十五類 | 書籍及新聞用印刷紙                                  |
| 第五百七類  | 蒸氣力揚揚ケ機械、起重器「テラウイック」及排取用諸裝置                    | 第五百二十三類 | 藥材及合成藥   | 第五百三十六類 | 書狀用紙、證券用紙、製圖紙、寫紙及「リネール」紙、吸墨紙               |
| 第五百八類  | 鑄造、鑄造及鋼具                                       | 第五百二十四類 | 化學家及藥師ノ用具及其販賣品   | 第五百三十七類 | 白紙木、計算帳簿類、算引キ及製本ノ標本(白紙、諸書等ヲモ含ム)製本法         |
| 第五百九類  | 鐵線及鐵   | 第五百二十五類 | 香料、基斯、芳香油、香油、化粧石鹼、香水、髮油、粧粉等  | 第五百三十八類 | 裝飾紙、擬大理石紙等                                 |
| 第五百十類  | 鐵線及鐵   | 第五百二十六類 | 炸藥物類、火藥、「シヤイアン」ト、「バウダー」等、但本品ハ商業上ノ形狀ヲ示シ、ニ止マルモノナラハ空盛ナル箱包スベシ、或ハ銹包ニテ出品ス(シ) | 第五百三十九類 | 寫字器、文房具、文房具製造入諸道具、「インキ」並ニ文房定規、「ペン」小道具箱、印書機 |
| 第五百十一類 | 船用雜具   | 第五百二十七類 | 煙火(發セザル無害ノ狀ニテ)   | 第五百四十類  | 室內器具及粧飾品                                   |
| 第五百十二類 | 船用雜具   | 第八十七部   | 「ペンキ」、色料及假漆類(第四十八部參看)  | 第五百四十一類 | 椅子、腰掛等                                     |
| 第五百十三類 | 砲船   | 第五百二十八類 | 色料及顏料、天然物及人造物  | 第五百四十二類 | 卓類、玉髓盤、毛梳、茶食卓等                             |
| 第五百十四類 | 巡洋艦  | 第五百二十九類 | 乾燥及蒸下法、印刷用「インキ」、畫用「インキ」及蠟燭等  | 第五百四十三類 | 書院、客間、應接間、圖書室、食室及寢室用具類                     |
| 第五百十五類 | 戰艦   | 第五百三十類  | 塗工及油漆工用品   | 第五百四十四類 | 鏡及其蓋                                       |
| 第五百十六類 | 甲鐵艦  | 第五百三十一類 | 技術家用色料及其材料   | 第五百四十五類 | 廊下、入口、書院及階子、火爐蓋等ノ裝置                        |
| 第五百十七類 | 水雷船及水雷火  | 第八十八部   | 寫字器、紙類、白紙本類、文房具  | 第五百四十六類 | 板敷、天井、壁戶及窓                                 |
| 第五百十八類 | 海軍兵器ノ附屬品及使用品                                   | 第五百三十二類 | 紙類及其原料等  | 第五百四十七類 | 完全ナル裝飾室ニ由テ說明スル盤上ノ裝置但シ他類中ノ房具及粧飾用ノ物品ノ選擇ヲ以テス  |
| 第八十六部  | 化學製品及藥劑、藥師販賣品                                  | 第五百三十三類 | 紙類、名刺、合セ紙、製本用板紙、建築用板紙、壁紙、家根用「フエルト」板敷、天井及裝飾用凸紋板紙等、模造用原紙、紙製要用品           | 第五百四十八類 | 裁縫及刺繡(第七十一部參看)                             |
| 第五百十九類 | 有機酸及無機酸  | 第五百三十四類 | 紙類、名刺、合セ紙、製本用板紙、建築用板紙、壁紙、家根用「フエルト」板敷、天井及裝飾用凸紋板紙等、模造用原紙、紙製要用品           |         |  |
| 第五百二十類 | 亞斯、曹達、安眠尼亞、苛性曹達、炭酸曹達、石灰、麻屈涅夫亞、重土類並ニ其類及化合物、漂白粉等 |         |  |         |  |



|         |   |
|---------|---|
| 第六百十二類  | 毛織物、諸毛織物細織、藍色「フランネル」及雜紗外穿地上衣及「ケルセー」、「フランネル」等  |
| 第六百十三類  | 「フランケット」、「袍布」旅馬靴、肩懸、旗布等   |
| 第六百十四類  | 毛絲織物、被覆地、「セルゲ」、「キナスマイル」、「シユヒチン」等  |
| 第六百十五類  | 木綿及毛織布、「ユニオン」、「ウイード」、「チエワイオット」、「フランネル」、「リンセイ」、「ブランケット」等   |
| 第六百十六類  | 木綿織物  |
| 第六百十七類  | 室內用織物   |
| 第六百十八類  | 雜類、麻布及「ゴリソング」、表紙地、調草地、區條線及絹衣邊、紐縫用其他ノ彈力質織物、衣服飾及刺繡物等  |
| 第六百十九類  | 「フェルト」、「品」、「フェルト」布飾及裏用、「フェルト」、「毛織類」卓及「ビヤノー」覆、婦人帽用「フェルト」、「鞍用」、「フェルト」、「フランク」ト、印刷器械用環條調革、「ゴム」靴裏及他ノ踏物用「フェルト」、毛織布、氈類、「タベストリー」及氈類、「タベストリー」天鵝絨、「ワイ |
| 第六百二十類  | 「ルトン」、「ワイルトン」天鵝絨「アックスミンステル」、「タベストリー」、「ワイルトン」、「モイカント」、「インダレン」染及「スミルナ」粗氈、襪類   |
| 第六百二十一類 | 各種ノ雜紗帽子   |
| 第六百二十二類 | 毛織、アルパカ、山羊毛、駱駝毛ノ織物及其他各項ニ示サ、(ルモ)   |
| 第六百二十三類 | 衣服地及其裝束   |
| 第六百二十四類 | 出來合衣裝男用(大人及小兒)衣服、袍衣、婦人上衣及衣服樣式   |
| 第六百二十五類 | 婦人帽子類   |
| 第六百二十六類 | 婦人帽子類   |
| 第六百二十七類 | 編物及袋大小、織物手袋、革及毛皮手袋  |
| 第六百二十八類 | 「シャーツ」、「襟」、「カフ」、「巾」、「ズボン」約、結紐其他ノ用具  |
| 第六百二十九類 | 毛皮及毛皮製衣服  |
| 第六百三十類  | 仕上ケタル及柔シタル毛皮及皮、貓鼠、狼、鼯鼠、熊、海豹、海狗毛皮、アラスカ、カレン、南ゼオラツヤ、セトランド、サイベリヤ産ノ仕上ケタル毛ノ織物及染メタル皮   |
| 第六百三十一類 | 長毛海狗、グリーンランド、ラブラドル海狗、斑點アル海狗、銀毛海狗、「ハート」海狗、「サツフルバック」海狗  |
| 第六百三十二類 | 反嚙獸ノ毛皮、栗鼠、チンチラ、海狸、兔類  |
| 第六百三十三類 | 動物用毛皮、車用毛皮及植用毛皮製衣服  |
| 第六百三十四類 | 毛皮製裝飾品  |
| 第六百三十五類 | 「レース」、「刺繡品」裝飾品、花扇子等   |
| 第六百三十六類 | 亞麻絲、「レース」、「綿絲」、「レース」、「絹絲」、「レース」、「毛絲」、「レース」、「モイール」、「レース」、「針若クハ織機ニヨリテ製シタルモノ」(金銀絲、「レース」)   |
| 第六百三十七類 | 刺繡品、編物細工等及針細工裝飾用及室內裝飾用造花  |
| 第六百三十八類 | 他各項ニ記載セサル裝飾品、縫針、針、刺繡針、縫針、美術刺繡及針細工   |
| 第六百三十九類 | 手製掛氈  |
| 第六百四十類  | 機械製掛氈   |
| 第六百四十一類 | 毛細工、頭飾及化粧用品   |
| 第六百四十二類 | 毛細工(記念物及裝飾品ノ如キ)   |
| 第六百四十三類 | 頭飾、假髮等  |

|         |   |
|---------|---|
| 第六百四十四類 | 理髮用具  |
| 第六百四十五類 | 櫛、刷毛(第五百二十五類參看)                                     |
| 第六百四十六類 | 櫛付細工、梳、草鞆、化粧箱、櫛天簾、口蓋、露容用具及籃類                        |
| 第六百四十七類 | 肩掛粗布製紐及袋、鏡箱   |
| 第六百四十八類 | 諸種ノ衣蓋、「ドレスナット」箱、書袋、提袋、化粧用品等                         |
| 第六百四十九類 | 革、紙帆布、木、金屬製物  |
| 第六百五十類  | 模樣付紙、袋類、金銀、名刺箱、紙入箱、手帳、卷煙草箱等                         |
| 第六百五十一類 | 杖類  |
| 第六百五十二類 | 傘及涼傘  |
| 第六百五十三類 | 衣服、雨衣、肩帶上衣、長靴、靴、帽子等                                 |
| 第六百五十四類 | 洋琴、被卓被、馬被、車被  |
| 第六百五十五類 | 文具商用品   |
| 第六百五十六類 | 藥種商用品、化粧用品  |
| 第六百五十七類 | 醫藥用及外科用器械(第四百四十四部參看)                                |
| 第六百五十八類 | 家具用品、敷物、枕   |
| 第六百五十九類 | 管類、帶類、細ケ紐   |
| 第六百六十類  | 絕緣和劑  |
| 第六百六十一類 | 磁器製玩具   |
| 第六百六十二類 | 磁器製玩具   |
| 第六百六十三類 | 第九部 玩具及意像品、自動及他ノ玩具、兒童ノ快樂及教育用遊戲                      |
| 第六百六十四類 | 砂、磁、菓子、菓子箱及菓子包                                      |
| 第六百六十五類 | 特ニ類別セサル種々ノ意像品                                       |
| 第六百六十六類 | 第九部 革及皮製用品  |
| 第六百六十七類 | 柔シ皮革帶、「ケレンス」及馬具用皮、鞋底革、帽皮、幼牛皮、山羊皮、羊皮                 |
| 第六百六十八類 | 仕上ケタル   |
| 第六百六十九類 | 專賣及光澤ヲ附セル皮革、「モロウ」                                   |
| 第六百七十類  | 鱒皮、海豚皮、海馬皮、袋鼠皮、魯西亞皮                                 |
| 第六百七十一類 | 油皮、洗皮及上ニ記セサル諸種ノ                                     |
| 第六百七十二類 | 委任狀、專賣特許狀、證書、免許狀等ニ用ユル羊皮紙、同上ノ目的及書寫用紙、本紙用、手紙用及金箔製造者用皮 |
| 第六百七十三類 | 第九部 鋼製用品  |
| 第六百七十四類 | 鋼製用品  |
| 第六百七十五類 | 鋼製用品  |
| 第六百七十六類 | 鋼製用品  |
| 第六百七十七類 | 鋼製用品  |
| 第六百七十八類 | 鋼製用品  |
| 第六百七十九類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十類  | 鋼製用品  |
| 第六百八十一類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十二類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十三類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十四類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十五類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十六類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十七類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十八類 | 鋼製用品  |
| 第六百八十九類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十類  | 鋼製用品  |
| 第六百九十一類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十二類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十三類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十四類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十五類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十六類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十七類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十八類 | 鋼製用品  |
| 第六百九十九類 | 鋼製用品  |
| 第七百類    | 鋼製用品  |

|         |                      |         |                              |         |  |
|---------|----------------------|---------|------------------------------|---------|--|
| 第六百九十九類 | 提燈、車用ランプ、街燈及特種ノ燈具及提燈 | 第七百五十五類 | アルミニウム青銅等ノ如キ特殊合金線ノ織物         | 第七百十八類  | 靜電氣  |
| 第六百九十八類 | 點火用瓦斯附屬品、口金燭臺        | 第七百五十四類 | 各種ノ飾                         | 第七百十九類  | 流電氣  |
| 第六百九十七類 | 「エレクトロリアル」及電燈        | 第七百五十三類 | 特種ノ飾                         | 第七百二十類  | 熱電氣  |
| 第六百九十六類 | 「リユニオン」及同種點火器        | 第七百五十二類 | 普通金屬板                        | 第七百二十一類 | 磁電氣  |
| 第六百九十五類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百五十一類 | 四ノ目格子細工                      | 第七百二十二類 | 磁石(一時永久共)                                      |
| 第六百九十四類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百五十類  | 金線織物(庭園及花壇用ノモノハ第二十六部参照)      | 第七百二十三類 | 線輪及誘導線輪  |
| 第六百九十三類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十九類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百二十四類 | 電流計  |
| 第六百九十二類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十八類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百二十五類 | 電池蓄電池  |
| 第六百九十一類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十七類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百二十六類 | 發電機  |
| 第六百九十類  | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十六類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百二十七類 | 交番電流發電機  |
| 第六百八十九類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十五類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百二十八類 | 高壓及低壓發電機                                       |
| 第六百八十八類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十四類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百二十九類 | 電流ノ傳達及調度                                       |
| 第六百八十七類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十三類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十類  | 水底線、線條、舟子、抵抗器、閉器「アンペリ」計表示器、電量計「ホルト」計、流體比重計、變成器 |
| 第六百八十六類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十二類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十一類 | 安全器、避雷器等                                       |
| 第六百八十五類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十一類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十二類 | 避雷針及其裝飾物、真棒導線、地線                               |
| 第六百八十四類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四十類  | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十三類 | 發動機及其應用  |
| 第六百八十三類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十九類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十四類 | 鐵工場機械運轉  |
| 第六百八十二類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十八類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十五類 | 鐵道車、市内鐵道車、鐵山荷車、其他諸車運轉                          |
| 第六百八十一類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十七類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十六類 | 電燈   |
| 第六百八十類  | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十六類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十七類 | 電燈   |
| 第六百七十九類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十五類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十八類 | 電燈   |
| 第六百七十八類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十四類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百三十九類 | 電燈   |
| 第六百七十七類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十三類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十類  | 電燈   |
| 第六百七十六類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十二類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十一類 | 電燈   |
| 第六百七十五類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十一類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十二類 | 電燈   |
| 第六百七十四類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三十類  | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十三類 | 電燈   |
| 第六百七十三類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十九類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十四類 | 電燈   |
| 第六百七十二類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十八類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十五類 | 電燈   |
| 第六百七十一類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十七類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十六類 | 電燈   |
| 第六百七十類  | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十六類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十七類 | 電燈   |
| 第六百六十九類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十五類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十八類 | 電燈   |
| 第六百六十八類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十四類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百四十九類 | 電燈   |
| 第六百六十七類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十三類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十類  | 電燈   |
| 第六百六十六類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十二類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十一類 | 電燈   |
| 第六百六十五類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十一類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十二類 | 電燈   |
| 第六百六十四類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二十類  | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十三類 | 電燈   |
| 第六百六十三類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十九類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十四類 | 電燈   |
| 第六百六十二類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十八類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十五類 | 電燈   |
| 第六百六十一類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十七類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十六類 | 電燈   |
| 第六百六十類  | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十六類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十七類 | 電燈   |
| 第六百五十九類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十五類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十八類 | 電燈   |
| 第六百五十八類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十四類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百五十九類 | 電燈   |
| 第六百五十七類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十三類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十類  | 電燈   |
| 第六百五十六類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十二類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十一類 | 電燈   |
| 第六百五十五類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十一類 | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十二類 | 電燈   |
| 第六百五十四類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一十類  | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十三類 | 電燈   |
| 第六百五十三類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百九類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十四類 | 電燈   |
| 第六百五十二類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百八類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十五類 | 電燈   |
| 第六百五十一類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百七類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十六類 | 電燈   |
| 第六百五十類  | 熱氣暖房用火爐              | 第七百六類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十七類 | 電燈   |
| 第六百四十九類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百五類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十八類 | 電燈   |
| 第六百四十八類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百四類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百六十九類 | 電燈   |
| 第六百四十七類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百三類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十類  | 電燈   |
| 第六百四十六類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百二類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十一類 | 電燈   |
| 第六百四十五類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百一類   | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十二類 | 電燈   |
| 第六百四十四類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十三類 | 電燈   |
| 第六百四十三類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十四類 | 電燈   |
| 第六百四十二類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十五類 | 電燈   |
| 第六百四十一類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十六類 | 電燈   |
| 第六百四十類  | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十七類 | 電燈   |
| 第六百三十九類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十八類 | 電燈   |
| 第六百三十八類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百七十九類 | 電燈   |
| 第六百三十七類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十類  | 電燈   |
| 第六百三十六類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十一類 | 電燈   |
| 第六百三十五類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十二類 | 電燈   |
| 第六百三十四類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十三類 | 電燈   |
| 第六百三十三類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十四類 | 電燈   |
| 第六百三十二類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十五類 | 電燈   |
| 第六百三十一類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十六類 | 電燈   |
| 第六百三十類  | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十七類 | 電燈   |
| 第六百二十九類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十八類 | 電燈   |
| 第六百二十八類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百八十九類 | 電燈   |
| 第六百二十七類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十類  | 電燈   |
| 第六百二十六類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十一類 | 電燈   |
| 第六百二十五類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十二類 | 電燈   |
| 第六百二十四類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十三類 | 電燈   |
| 第六百二十三類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十四類 | 電燈   |
| 第六百二十二類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十五類 | 電燈   |
| 第六百二十一類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十六類 | 電燈   |
| 第六百二十類  | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十七類 | 電燈   |
| 第六百一十九類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十八類 | 電燈   |
| 第六百一十八類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百九十九類 | 電燈   |
| 第六百一十七類 | 熱氣暖房用火爐              | 第七百類    | 鋼製門、鐵欄、兜飾及他ニ特別ナル美術工製品(五ノ區参照) | 第七百類    | 電燈   |

|         |                  |         |       |         |   |
|---------|------------------|---------|-------|---------|---|
| 第七百三十六類 | 自然電燈、同器具、ランプ及附屬品 | 第七百五十三類 | 電氣保險器 | 第七百七十二類 | 青銅ノ彫像及集合彫像  |
| 第七百三十七類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百五十二類 | 交換器   | 第七百七十三類 | 鐵形ノ青銅像  |
| 第七百三十八類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百五十一類 | 受話器   | 第七百七十四類 | 水彩畫   |
| 第七百三十九類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百五十類  | 受話器   | 第七百七十五類 | 象牙、磁器、七寶金屬ノ繪畫及鑲嵌類   |
| 第七百四十類  | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十九類 | 受話器   | 第七百七十六類 | 洗刻及磨蝕彫刻   |
| 第七百四十一類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十八類 | 受話器   | 第七百七十七類 | 沈刻及磨蝕彫刻   |
| 第七百四十二類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十七類 | 受話器   | 第七百七十八類 | 古代ノ彫刻物及美術的ノ彫刻   |
| 第七百四十三類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十六類 | 受話器   | 第七百七十九類 | 一己ノ蒐集列品   |
| 第七百四十四類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十五類 | 受話器   | 第七百八十類  | 心算、教育、土木工業、建築、音樂、文藝   |
| 第七百四十五類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十四類 | 受話器   | 第七百八十一類 | 體格ノ發育、教育、健康   |
| 第七百四十六類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十三類 | 受話器   | 第七百八十二類 | 官兒院、其附屬品  |
| 第七百四十七類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十二類 | 受話器   | 第七百八十三類 | 強壯ノ教育、溫習體操所關格發育用ノ器具、及裝置、體操溫習及博識用ノ器具、及裝置、水滑、道遠、攀上、球遊、競力、網球等ノ習練、滑車、球遊、網球、及體操所教育用特種ノ器具、及裝置、溫習及博識用ノ器具、及裝置 |
| 第七百四十八類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十一類 | 受話器   | 第七百八十四類 | 食物ノ充備及其配分、食物配分、市場、食物準備料理及其盛立、學校ノ廚房、及學校附屬屋ノ設備  |
| 第七百四十九類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四十類  | 受話器   | 第七百八十五類 | 小兒ノ食物ヲ煖ムル方法、諸   |
| 第七百五十類  | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十九類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十一類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十八類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十二類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十七類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十三類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十六類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十四類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十五類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十五類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十四類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十六類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十三類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十七類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十二類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十八類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十一類 | 受話器   |         |   |
| 第七百五十九類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三十類  | 受話器   |         |   |
| 第七百六十類  | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十九類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十一類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十八類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十二類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十七類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十三類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十六類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十四類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十五類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十五類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十四類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十六類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十三類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十七類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十二類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十八類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十一類 | 受話器   |         |   |
| 第七百六十九類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二十類  | 受話器   |         |   |
| 第七百七十類  | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十九類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十一類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十八類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十二類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十七類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十三類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十六類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十四類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十五類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十五類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十四類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十六類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十三類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十七類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十二類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十八類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十一類 | 受話器   |         |   |
| 第七百七十九類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一十類  | 受話器   |         |   |
| 第七百八十類  | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百九類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十一類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百八類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十二類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百七類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十三類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百六類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十四類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百五類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十五類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百四類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十六類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百三類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十七類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百二類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十八類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百一類   | 受話器   |         |   |
| 第七百八十九類 | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百類    | 受話器   |         |   |
| 第七百九十類  | 鑄造中空氣器、鐵瓶等       | 第七百類    | 受話器   |         |   |

|         |   |
|---------|---|
| 第七百七十七類 | 學校ノ小兒及労働者其他ノ者ニ對シ食物運搬用ノ午餐人提桶又ハ其受器料理店ノ午餐室食堂等<br>労働者及工人ノ住居ヲ合セ健康爽快ニ最モ好ク適シタル狀況ヲ特有スル住居及家庭ノ大製造所ニ從屬スル工人ノ住居スル家及村落、借家、各室ノ平面及其一具部等ノ住家、集會所、學館、小學校、児童學校及幼稚委託所(職工女等ノ幼児ヲ勞動時間若クハ期限ヲ定メテ托スル所)用ノ家庭改良ノ計畫及方法、裁判所ノ各室、演劇場、寺院等  |
| 第七百七十八類 | 公共浴場、洗濯所、公衆及一家ノ健康衛生住家、家庭及市府ニ對シ衛生施行方法、衛生ニ關シ空氣ヲ更新スルコト(溫熱ニシ風ヲ引入レ及輕燥ニスルコト等)水管及瓦斯管、溝渠、貯水ノ汚物、洗濯ノ水、下水管、廁所、公衆小便所、下水下流用具、衛生ノ下水、臭氣止器、壁障、床板、被褥等<br>健康ヲ保シタル家庭ノ裝飾(無香ノ彩色及壁紙、狀物、洗  |
| 第七百七十九類 | 蘇シ得ヘキ品物(裝飾具等)牌渠ノ汚物ヲ運搬、授受及取扱用ノ器具、居牛ノ厩内及市府ノ廢肉、濾水及水路ヲ清潔ニスル用具及方法<br>傳染病防碍ノ爲メニ企圖スル用具<br>清潔、病芽消滅及傳染物排除用ノ方法、物品、器具<br>校内ヲ熱シ風ヲ引入レ及輕燥スルニ要スル装置及用具、學校ノ小便所、廁所等、學校ニ於テ衣服ノ貯藏又ハ乾燥用ノ特別用具<br>傳染病防碍防碍ノ爲メ校内ノ預防學校ノ衛生、病院等<br>工作所及製造所ノ衛生(龍致衛生博覽會規則ヲ採用變更セシ種類)工作所及特別危險不健康ノ作爲ヲ爲ス工作所ノ組織順序ヲ改良スル計畫及方法<br>或ル職業ニ因リ健康、生命ヲ害スヘキ危險ヲ防碍若クハ減殺スル装置及用具<br>身體用ノ物、不健康及有害ナル職業ニ用井ル吹管、眼鏡、衣服、被衣等、不健康ナル職業及業務ニ起因スル疾病、不具ノ脱脱、其疾病ニ抵抗スル方 |
| 第七百八十類  | 法、豫防法、工作所製造所及礦山ノ衛生上ノ組織、監督、不健康ナル職業ニ從事スルモノノ生計ノ地位改正ニ要スル新發明若クハ進歩、各工業上ニ人間ノ努力ヲ節儉スル方略<br>養育所及家庭、赤子及小兒養育院、養育院、養育院、小兒補助會社、若者弱者ノ住家、若者及廢弱者住家、水夫ノ住家、貧民待遇、救貧院、土人待遇、印土人ノ倉庫及住家<br>病院、施療院等、雛形、統計表(傳染病及流行病用臨時病院)天幕病院、舟病院、病室用ノ装置及用具<br>保護上ノ監察(衛生上ノ監察)種痘術及其強誘、傳染病交通遮斷檢疫時間、動物傳染病預防及滅殺法、食物檢査、汚穢食物ノ管理、檢査及詳解<br>廢敗食物ノ管理、屠場規則、屠等馬匹販賣規則(保護ノ計畫)家庭檢査等(家庭規則及檢査)家庭排水及放水器、火災規則、避火等<br>身體檢査(舟子運搬手等ニ要スル色別ノ試驗)本局狀ニ對  |
| 第七百八十一類 | 用物教科書類、方形及三角形ノ附圖、算術本類、初期學校生徒成績簿見本<br>少女ニ對シ家事及職業ノ教育、料理、縫製、針仕事及刺繡衣服、織造花箱若クハ陶磁器等ノ形、學校成績簿ノ見本<br>少年ニ對シ學校ニ於テ教授スル手藝、學校ニ於テ教授スル初步職業ノ裝置及用具、學校成績簿ノ見本<br>文學ノ教授、學校ニテ初步文學教授用ノ裝置及雛形、化學、醫學、機械學等用ノ器具、方形及三角形ノ附圖、作文、教科書等以上學校用ノ見本<br>技術教授、學校ニテ初步技術教授用ノ裝置、雛形、用具等、方形及三角形ノ附圖、作文、教科書等、學校ニ於テ技術製品及雛形ノ見本等<br>藝術學及徒弟學校、工匠ヲ教授スル初期及二期學校ニ於テ使用スル器具及諸手本、工作場及工廠學校準備用ノ計畫、圖面及雛形、以上學校ノ成績簿                                |
| 第七百八十二類 | 印土人初期教育ニ對スル特別學校<br>各種ノ教育、雙盲、啞學校等、文盲大人學校<br>公立學校、記事、說明、統計教育ノ方法等<br>高等教育、中學校、高等小學校及其解說、統計<br>分科大學及大學校、校舍、圖書室、博物館、英學科、科目目錄、統計等ノ記事及解說<br>專門學校、神學校、法學校、醫學校、外科學校、齒科學校、藥學校、探礦學校、工業學校、農業學校、探礦學校、技術及意匠學校、陸軍學校、海軍學校、師範學校、商業學校、音樂學校<br>教育上政府ノ補助、學務局報告及統計<br>書籍、圖書、讀本、文學雜誌、書籍及文學並ニ活版用紙、製本ノ標本、但シ左ノ種類ニ限リテ列ス可シ<br>百科字彙、雜誌、新聞紙、製本活版標本、哲學、宗教、社會學、原語學、萬有學、有用技術、藝術、文學、歷史、地理學、教科書<br>工業雜誌               |

|         |   |
|---------|---|
| 第四百四十四部 | 移住(移住人請取、監督、保護)ノ機械及裝置<br>藥劑學藥料、製藥術等<br>藥種(信認アル藥方錄中ニ記載スルモノ)、内藥劑上藥種ニ於テ必ス所持セザルヲ得サル藥品、法律上藥種ニ於テ必ス持テ要セザル品種(第八十六部參看)   |
| 第七百八十五類 | 病者ノ爲メ特ニ設ケタル食物(牛肉「エキス」ハ第三十八類參看)  |
| 第七百八十六類 | 外部診察用機械、病者驗溫器、聽筒器、試驗器等  |
| 第七百八十七類 | 外科機械及裝置、衣服、藥劑、防痲藥、產科用機械等  |
| 第七百八十八類 | 接骨術、不具者ニ要スル裝置、人造ノ四肢   |
| 第七百八十九類 | 齒科術及接齒用機械及裝置  |
| 第七百九十類  | 平時戰時ノ間水陸及海上ノ病者又ハ負傷者ヲ運搬及救助スル車駕用具(「區差若」)  |
| 第七百九十一類 | 初期二期及高等教育<br>初歩教育、幼兒學校及幼稚園、教育方法ノ說明、統計   |
| 第七百九十二類 | 都府ノ初期學校、校舍及什物、裝置及用具、教授ノ雛形及使   |
| 第七百九十三類 | 用物教科書類、方形及三角形ノ附圖、算術本類、初期學校生徒成績簿見本<br>少女ニ對シ家事及職業ノ教育、料理、縫製、針仕事及刺繡衣服、織造花箱若クハ陶磁器等ノ形、學校成績簿ノ見本<br>少年ニ對シ學校ニ於テ教授スル手藝、學校ニ於テ教授スル初步職業ノ裝置及用具、學校成績簿ノ見本<br>文學ノ教授、學校ニテ初步文學教授用ノ裝置及雛形、化學、醫學、機械學等用ノ器具、方形及三角形ノ附圖、作文、教科書等以上學校用ノ見本<br>技術教授、學校ニテ初步技術教授用ノ裝置、雛形、用具等、方形及三角形ノ附圖、作文、教科書等、學校ニ於テ技術製品及雛形ノ見本等<br>藝術學及徒弟學校、工匠ヲ教授スル初期及二期學校ニ於テ使用スル器具及諸手本、工作場及工廠學校準備用ノ計畫、圖面及雛形、以上學校ノ成績簿                  |
| 第七百九十四類 | 少男ニ對シ學校ニ於テ教授スル手藝、學校ニ於テ教授スル初步職業ノ裝置及用具、學校成績簿ノ見本   |
| 第七百九十五類 | 文學ノ教授、學校ニテ初步文學教授用ノ裝置及雛形、化學、醫學、機械學等用ノ器具、方形及三角形ノ附圖、作文、教科書等以上學校用ノ見本  |
| 第七百九十六類 | 技術教授、學校ニテ初步技術教授用ノ裝置、雛形、用具等、方形及三角形ノ附圖、作文、教科書等、學校ニ於テ技術製品及雛形ノ見本等   |
| 第七百九十七類 | 藝術學及徒弟學校、工匠ヲ教授スル初期及二期學校ニ於テ使用スル器具及諸手本、工作場及工廠學校準備用ノ計畫、圖面及雛形、以上學校ノ成績簿  |
| 第八百一類   | 印土人初期教育ニ對スル特別學校<br>各種ノ教育、雙盲、啞學校等、文盲大人學校<br>公立學校、記事、說明、統計教育ノ方法等<br>高等教育、中學校、高等小學校及其解說、統計<br>分科大學及大學校、校舍、圖書室、博物館、英學科、科目目錄、統計等ノ記事及解說<br>專門學校、神學校、法學校、醫學校、外科學校、齒科學校、藥學校、探礦學校、工業學校、農業學校、探礦學校、技術及意匠學校、陸軍學校、海軍學校、師範學校、商業學校、音樂學校<br>教育上政府ノ補助、學務局報告及統計<br>書籍、圖書、讀本、文學雜誌、書籍及文學並ニ活版用紙、製本ノ標本、但シ左ノ種類ニ限リテ列ス可シ<br>百科字彙、雜誌、新聞紙、製本活版標本、哲學、宗教、社會學、原語學、萬有學、有用技術、藝術、文學、歷史、地理學、教科書<br>工業雜誌 |
| 第八百二類   | 印土人初期教育ニ對スル特別學校<br>各種ノ教育、雙盲、啞學校等、文盲大人學校<br>公立學校、記事、說明、統計教育ノ方法等<br>高等教育、中學校、高等小學校及其解說、統計<br>分科大學及大學校、校舍、圖書室、博物館、英學科、科目目錄、統計等ノ記事及解說<br>專門學校、神學校、法學校、醫學校、外科學校、齒科學校、藥學校、探礦學校、工業學校、農業學校、探礦學校、技術及意匠學校、陸軍學校、海軍學校、師範學校、商業學校、音樂學校<br>教育上政府ノ補助、學務局報告及統計<br>書籍、圖書、讀本、文學雜誌、書籍及文學並ニ活版用紙、製本ノ標本、但シ左ノ種類ニ限リテ列ス可シ<br>百科字彙、雜誌、新聞紙、製本活版標本、哲學、宗教、社會學、原語學、萬有學、有用技術、藝術、文學、歷史、地理學、教科書<br>工業雜誌 |
| 第八百三類   | 印土人初期教育ニ對スル特別學校<br>各種ノ教育、雙盲、啞學校等、文盲大人學校<br>公立學校、記事、說明、統計教育ノ方法等<br>高等教育、中學校、高等小學校及其解說、統計<br>分科大學及大學校、校舍、圖書室、博物館、英學科、科目目錄、統計等ノ記事及解說<br>專門學校、神學校、法學校、醫學校、外科學校、齒科學校、藥學校、探礦學校、工業學校、農業學校、探礦學校、技術及意匠學校、陸軍學校、海軍學校、師範學校、商業學校、音樂學校<br>教育上政府ノ補助、學務局報告及統計<br>書籍、圖書、讀本、文學雜誌、書籍及文學並ニ活版用紙、製本ノ標本、但シ左ノ種類ニ限リテ列ス可シ<br>百科字彙、雜誌、新聞紙、製本活版標本、哲學、宗教、社會學、原語學、萬有學、有用技術、藝術、文學、歷史、地理學、教科書<br>工業雜誌 |
| 第八百四類   | 印土人初期教育ニ對スル特別學校<br>各種ノ教育、雙盲、啞學校等、文盲大人學校<br>公立學校、記事、說明、統計教育ノ方法等<br>高等教育、中學校、高等小學校及其解說、統計<br>分科大學及大學校、校舍、圖書室、博物館、英學科、科目目錄、統計等ノ記事及解說<br>專門學校、神學校、法學校、醫學校、外科學校、齒科學校、藥學校、探礦學校、工業學校、農業學校、探礦學校、技術及意匠學校、陸軍學校、海軍學校、師範學校、商業學校、音樂學校<br>教育上政府ノ補助、學務局報告及統計<br>書籍、圖書、讀本、文學雜誌、書籍及文學並ニ活版用紙、製本ノ標本、但シ左ノ種類ニ限リテ列ス可シ<br>百科字彙、雜誌、新聞紙、製本活版標本、哲學、宗教、社會學、原語學、萬有學、有用技術、藝術、文學、歷史、地理學、教科書<br>工業雜誌 |
| 第八百五類   | 印土人初期教育ニ對スル特別學校<br>各種ノ教育、雙盲、啞學校等、文盲大人學校<br>公立學校、記事、說明、統計教育ノ方法等<br>高等教育、中學校、高等小學校及其解說、統計<br>分科大學及大學校、校舍、圖書室、博物館、英學科、科目目錄、統計等ノ記事及解說<br>專門學校、神學校、法學校、醫學校、外科學校、齒科學校、藥學校、探礦學校、工業學校、農業學校、探礦學校、技術及意匠學校、陸軍學校、海軍學校、師範學校、商業學校、音樂學校<br>教育上政府ノ補助、學務局報告及統計<br>書籍、圖書、讀本、文學雜誌、書籍及文學並ニ活版用紙、製本ノ標本、但シ左ノ種類ニ限リテ列ス可シ<br>百科字彙、雜誌、新聞紙、製本活版標本、哲學、宗教、社會學、原語學、萬有學、有用技術、藝術、文學、歷史、地理學、教科書<br>工業雜誌 |
| 第八百六類   | 印土人初期教育ニ對スル特別學校<br>各種ノ教育、雙盲、啞學校等、文盲大人學校<br>公立學校、記事、說明、統計教育ノ方法等<br>高等教育、中學校、高等小學校及其解說、統計<br>分科大學及大學校、校舍、圖書室、博物館、英學科、科目目錄、統計等ノ記事及解說<br>專門學校、神學校、法學校、醫學校、外科學校、齒科學校、藥學校、探礦學校、工業學校、農業學校、探礦學校、技術及意匠學校、陸軍學校、海軍學校、師範學校、商業學校、音樂學校<br>教育上政府ノ補助、學務局報告及統計<br>書籍、圖書、讀本、文學雜誌、書籍及文學並ニ活版用紙、製本ノ標本、但シ左ノ種類ニ限リテ列ス可シ<br>百科字彙、雜誌、新聞紙、製本活版標本、哲學、宗教、社會學、原語學、萬有學、有用技術、藝術、文學、歷史、地理學、教科書<br>工業雜誌 |





|  |   |
|--|---|
| 第八百六十六類<br>共同貿易協會<br>第八百六十七類<br>總務協會<br>第八百六十八類<br>職工社會ノ風俗改良及幸福増進ヲ主ル協會<br>第八百六十九類<br>宗教組織及宗派 統計及印刷物<br>第八百七十類<br>宗教組織宗派 宗教組織及信仰ノ起源、性質、發達、區域、統計、歷史其他ノ解説、建築圖及其内部ノ圖面<br>第八百七十一類<br>宗教用音樂、唱歌、聖詩<br>第八百七十二類<br>地圖、報告及統計<br>第八百七十三類<br>著書ニ由テ宗教ヲ擴普スル方法、聖書會社、勸善會社、社址ニ其著書<br>第八百七十四類<br>幼兒ニ宗教ヲ教訓スル方法<br>第八百七十五類<br>日曜學校、什器裝置及書籍<br>第八百七十六類<br>宗教及道徳改良協會<br>第八百七十七類<br>宗教協會ト聯絡スル慈善會及慈善協會<br>第八百七十八類<br>鑄鐵「トライアングル」鑄鐵、「カスターネット」、「ボーン」鐵、「チヤイム」、「ボール」鳴鐘者用具、音樂用玻璃「クロックンストロール」、「ジロフホーン」、「マリンバス」、「自鳴鐘」<br>第八百七十九類<br>指又ハ撥ニテ奏スヘキ絃樂器 胡琴「ギター」、「パンナチヨウ」、「マンドリン」<br>立琴「ライル」<br>「シサル」、「ダルシメル」<br>「ソニテ奏スヘキ絃樂器」<br>「バイオリン」<br>「バイオリン」、「バイオリン、テガバ」、「バイオリン」、「バイオリン、テガバ」、「バイオリン」<br>「フイロンセロ」及「バススフイタル」機械的音樂器「ハルデーガルト」及「バイオリン、ピアノ」<br>第八百八十類<br>鑄鐵ノ付キタル絃樂器 洋琴（方形、立形、犬形）<br>洋琴ノ活機及部分品<br>洋琴創製前ニ用タル樂器<br>「クラロインセリウム」、「クラロインバル」、「クラロインコルド」、「ニコルド」、「コロウナル」、「スピネット」、「ハー | 第八百六十五類<br>勤業會<br>第八百六十四類<br>職工組合及協會、組織、統計及成設<br>第八百六十三類<br>政社及組織<br>第八百六十二類<br>社交組織、政治俱樂部、軍事俱樂部、大學俱樂部、旅客俱樂部、新聞記者俱樂部、學藝俱樂部等<br>第八百六十一類<br>圖書館、公立及私立圖書館及其統計<br>第八百六十類<br>出版協會<br>第八百五十九類<br>萬國協會<br>內國博覽會 萬國博覽會<br>州立及郡立博覽會<br>農產物共進會<br>農產物共進會<br>及工業品展覽會<br>博物館、美術、美術、技藝品<br>第八百五十八類<br>等ノ組織消滅及成設<br>理學及文學ニ關スル協會、文學及理學協會、地質學及礦石學協會、工學會、工藝會及專門學會、技藝、生理、動物、藥物、星學會及組織<br>第八百五十七類<br>共同貿易協會<br>第八百六十七類<br>總務協會<br>第八百六十八類<br>職工社會ノ風俗改良及幸福増進ヲ主ル協會<br>第八百六十九類<br>宗教組織及宗派 統計及印刷物<br>第八百七十類<br>宗教組織宗派 宗教組織及信仰ノ起源、性質、發達、區域、統計、歷史其他ノ解説、建築圖及其内部ノ圖面<br>第八百七十一類<br>宗教用音樂、唱歌、聖詩<br>第八百七十二類<br>地圖、報告及統計<br>第八百七十三類<br>著書ニ由テ宗教ヲ擴普スル方法、聖書會社、勸善會社、社址ニ其著書<br>第八百七十四類<br>幼兒ニ宗教ヲ教訓スル方法<br>第八百七十五類<br>日曜學校、什器裝置及書籍<br>第八百七十六類<br>宗教及道徳改良協會<br>第八百七十七類<br>宗教協會ト聯絡スル慈善會及慈善協會<br>第八百七十八類<br>鑄鐵「トライアングル」鑄鐵、「カスターネット」、「ボーン」鐵、「チヤイム」、「ボール」鳴鐘者用具、音樂用玻璃「クロックンストロール」、「ジロフホーン」、「マリンバス」、「自鳴鐘」<br>第八百七十九類<br>指又ハ撥ニテ奏スヘキ絃樂器 胡琴「ギター」、「パンナチヨウ」、「マンドリン」<br>立琴「ライル」<br>「シサル」、「ダルシメル」<br>「ソニテ奏スヘキ絃樂器」<br>「バイオリン」<br>「バイオリン」、「バイオリン、テガバ」、「バイオリン」、「バイオリン、テガバ」、「バイオリン」<br>「フイロンセロ」及「バススフイタル」機械的音樂器「ハルデーガルト」及「バイオリン、ピアノ」<br>第八百八十類<br>鑄鐵ノ付キタル絃樂器 洋琴（方形、立形、犬形）<br>洋琴ノ活機及部分品<br>洋琴創製前ニ用タル樂器<br>「クラロインセリウム」、「クラロインバル」、「クラロインコルド」、「ニコルド」、「コロウナル」、「スピネット」、「ハー |
|--|---|

|   |   |   |
|---|---|---|
| 第八百八十一類<br>簡單ナル孔若クハ柱狀發音アル吹奏樂器「フリュート」、「リコーン」、「エ、ベック」、「シリノクス」、「オルガンパイプ」<br>「フラゼオレット」<br>第八百八十二類<br>唇ニテ振動スヘキ發音アル吹奏樂器「クラリナネット」、「オボエ」、「サクソフオン」<br>第八百八十三類<br>鐘狀發音アリテ樂鍵ナキ吹奏樂器喇叭「ビュウグル」、「オリフアント」、「アルペンホルン」<br>「トロンボーン」(抜指ノ裝區アルモノ及指孔アル者)、「セルベント」、「バススウイン」、「バウケンパイプ」<br>第八百八十四類<br>鐘狀發音アリテ吹奏樂器及樂鍵アル吹奏樂器<br>「キービュウグル」、「コルネット」、「フレンチホルン」、「コルノビアンズ、オプクランド」<br>第八百八十五類<br>複雜ナル組立ノ吹奏樂器 長方形手風琴、六角手風琴及口 | 第八百八十六類<br>管對風琴 絃簧柱<br>樂器用指類杖、鼓手長用指揮杖<br>合奏用機械<br>調音又ハ管、節度計、譜臺等<br>人事ニ關スル音樂 音樂上ノ作者及其畫像傳記<br>有名ナル音樂家 有名ナル謳歌家<br>音樂會及音樂館<br>歌劇及其歷史<br>神聖歌劇、基督教寺院禮拜用ノ樂<br>古今寺院用音樂及神聖音樂<br>萬國圖頌ノ作法、小曲、國風、國歌<br>國歌<br>演劇及戲曲 舞臺 舞臺及劇場ノ圖面並ニ模形<br>戲曲ノ歷史<br>俳優ノ畫像<br>俳優ノ遺物<br>第八百八十七類<br>管對風琴<br>第八百八十八類<br>管對風琴 絃簧柱<br>樂器用指類杖、鼓手長用指揮杖<br>合奏用機械<br>調音又ハ管、節度計、譜臺等<br>人事ニ關スル音樂 音樂上ノ作者及其畫像傳記<br>有名ナル音樂家 有名ナル謳歌家<br>音樂會及音樂館<br>歌劇及其歷史<br>神聖歌劇、基督教寺院禮拜用ノ樂<br>古今寺院用音樂及神聖音樂<br>萬國圖頌ノ作法、小曲、國風、國歌<br>國歌<br>演劇及戲曲 舞臺 舞臺及劇場ノ圖面並ニ模形<br>戲曲ノ歷史<br>俳優ノ畫像<br>俳優ノ遺物<br>第八百八十九類<br>洞窟 天然及人造<br>居處 天然及人造<br>湖沼上ノ居處 石桌、石床、墳墓等<br>第八百九十一類<br>絕壁及其他ノ居處 居處、潛伏處、獸皮ヲ以テ作レル小舎、茅舍、樹皮草葉等ヨリ成レル、木造家屋ノ模形<br>第八百九十二類<br>附屬物 洗浴所(模形)「バスタブ」、「柱(原器及模形) 破風ノ裝飾、鏡<br>第八百九十六類<br>大古、未開及半開種族ノ家具及衣服<br>第八百九十三類<br>府器及家具<br>第八百九十四類<br>麻酔劑ヲ用ユルニ必要ナル物品、細管等<br>第八百九十五類<br>運搬ニ使用スル物品 | 第八百八十六類<br>管對風琴 絃簧柱<br>樂器用指類杖、鼓手長用指揮杖<br>合奏用機械<br>調音又ハ管、節度計、譜臺等<br>人事ニ關スル音樂 音樂上ノ作者及其畫像傳記<br>有名ナル音樂家 有名ナル謳歌家<br>音樂會及音樂館<br>歌劇及其歷史<br>神聖歌劇、基督教寺院禮拜用ノ樂<br>古今寺院用音樂及神聖音樂<br>萬國圖頌ノ作法、小曲、國風、國歌<br>國歌<br>演劇及戲曲 舞臺 舞臺及劇場ノ圖面並ニ模形<br>戲曲ノ歷史<br>俳優ノ畫像<br>俳優ノ遺物<br>第八百八十七類<br>管對風琴<br>第八百八十八類<br>管對風琴 絃簧柱<br>樂器用指類杖、鼓手長用指揮杖<br>合奏用機械<br>調音又ハ管、節度計、譜臺等<br>人事ニ關スル音樂 音樂上ノ作者及其畫像傳記<br>有名ナル音樂家 有名ナル謳歌家<br>音樂會及音樂館<br>歌劇及其歷史<br>神聖歌劇、基督教寺院禮拜用ノ樂<br>古今寺院用音樂及神聖音樂<br>萬國圖頌ノ作法、小曲、國風、國歌<br>國歌<br>演劇及戲曲 舞臺 舞臺及劇場ノ圖面並ニ模形<br>戲曲ノ歷史<br>俳優ノ畫像<br>俳優ノ遺物<br>第八百八十九類<br>洞窟 天然及人造<br>居處 天然及人造<br>湖沼上ノ居處 石桌、石床、墳墓等<br>第八百九十一類<br>絕壁及其他ノ居處 居處、潛伏處、獸皮ヲ以テ作レル小舎、茅舍、樹皮草葉等ヨリ成レル、木造家屋ノ模形<br>第八百九十二類<br>附屬物 洗浴所(模形)「バスタブ」、「柱(原器及模形) 破風ノ裝飾、鏡<br>第八百九十六類<br>大古、未開及半開種族ノ家具及衣服<br>第八百九十三類<br>府器及家具<br>第八百九十四類<br>麻酔劑ヲ用ユルニ必要ナル物品、細管等<br>第八百九十五類<br>運搬ニ使用スル物品 |
|---|---|---|

|                |                               |                           |                 |                     |                      |                                 |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                            |                             |                             |   |                            |                        |              |              |              |              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |              |               |               |               |               |               |               |               |               |               |            |
|----------------|-------------------------------|---------------------------|-----------------|---------------------|----------------------|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|----------------------------|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 第八百九十六類 衣服及裝飾品 | 第八百九十七類 兵器及器具(又第八十五部及第九十二部參看) | 第八百九十八類 金銀ノ外食物ヲ採收貯蔵スル百工用具 | 第八百九十九類 別荘及食用器具 | 第九百一類 亞米利加發見後ノ海圖及地圖 | 第九百二類 亞米利加殖民初期ノ海圖及地圖 | 第九百三類 革命時代及其以後ニ於ケル亞米利加及世界ノ海圖及地圖 | 第九百四類 亞米利加發見以前ノ歷史時代ニ於ケル古物 | 第九百五類 亞米利加發見ノ後ノ歷史時代ニ於ケル古物 | 第九百六類 亞米利加發見ノ後ノ歷史時代ニ於ケル古物 | 第九百七類 亞米利加發見ノ後ノ歷史時代ニ於ケル古物 | 第九百八類 亞米利加發見ノ後ノ歷史時代ニ於ケル古物 | 第九百九類 亞米利加發見ノ後ノ歷史時代ニ於ケル古物 | 第九百十類 亞米利加發見ノ後ノ歷史時代ニ於ケル古物 | 第九百十一類 亞米利加發見ノ後ノ歷史時代ニ於ケル古物 | 第九百十二類 符號及標字等ノ手段ニ依リ種族間通信ノ方法 | 第九百十三類 諸種族間ニ於ケル條約及土地ノ獲得及其類末 | 第九百十四類 政府又ハ宣教師ノ獎勵ニ依リ若クハ自己ノ勳勳及獎勵ニ依リ土人開化ノ進歩土人ノ職業及才能發明等(商業農事及教育ノ事業ニ於テ其例ヲ示ス)首飾 六十種又ハ以上ノ樂器ヲ以テ合奏スヘキ(コロムビアノ人ノ樂隊) | 第九百十五類 家族及一己ノ土地ヲ配賦スル方法及其成績 | 第九百十六類 亞米利加市民トナリタル土人ノ事 | 第九百十七類 土人ノ發達 | 第九百十八類 土人ノ發達 | 第九百十九類 土人ノ發達 | 第九百二十類 土人ノ發達 | 第九百二十一類 土人ノ發達 | 第九百二十二類 土人ノ發達 | 第九百二十三類 土人ノ發達 | 第九百二十四類 土人ノ發達 | 第九百二十五類 土人ノ發達 | 第九百二十六類 土人ノ發達 | 第九百二十七類 土人ノ發達 | 第九百二十八類 土人ノ發達 | 第九百二十九類 土人ノ發達 | 第九百三十類 土人ノ發達 | 第九百三十一類 土人ノ發達 | 第九百三十二類 土人ノ發達 | 第九百三十三類 土人ノ發達 | 第九百三十四類 土人ノ發達 | 第九百三十五類 土人ノ發達 | 第九百三十六類 土人ノ發達 | 第九百三十七類 土人ノ發達 | 第九百三十八類 土人ノ發達 | 第九百三十九類 土人ノ發達 | 第九百四十類 土人ノ發達 | 第九百四十一類 土人ノ發達 | 第九百四十二類 土人ノ發達 | 第九百四十三類 土人ノ發達 | 第九百四十四類 土人ノ發達 | 第九百四十五類 土人ノ發達 | 第九百四十六類 土人ノ發達 | 第九百四十七類 土人ノ發達 | 第九百四十八類 土人ノ發達 | 第九百四十九類 土人ノ發達 | 第九百五十類 土人ノ發達 | 第九百五十一類 土人ノ發達 | 第九百五十二類 土人ノ發達 | 第九百五十三類 土人ノ發達 | 第九百五十四類 土人ノ發達 | 第九百五十五類 土人ノ發達 | 第九百五十六類 土人ノ發達 | 第九百五十七類 土人ノ發達 | 第九百五十八類 土人ノ發達 | 第九百五十九類 土人ノ發達 | 第九百六十類 土人ノ發達 | 第九百六十一類 土人ノ發達 | 第九百六十二類 土人ノ發達 | 第九百六十三類 土人ノ發達 | 第九百六十四類 土人ノ發達 | 第九百六十五類 土人ノ發達 | 第九百六十六類 土人ノ發達 | 第九百六十七類 土人ノ發達 | 第九百六十八類 土人ノ發達 | 第九百六十九類 土人ノ發達 | 第九百七十類 土人ノ發達 | 第九百七十一類 土人ノ發達 | 第九百七十二類 土人ノ發達 | 第九百七十三類 土人ノ發達 | 第九百七十四類 土人ノ發達 | 第九百七十五類 土人ノ發達 | 第九百七十六類 土人ノ發達 | 第九百七十七類 土人ノ發達 | 第九百七十八類 土人ノ發達 | 第九百七十九類 土人ノ發達 | 第九百八十類 土人ノ發達 | 第九百八十一類 土人ノ發達 | 第九百八十二類 土人ノ發達 | 第九百八十三類 土人ノ發達 | 第九百八十四類 土人ノ發達 | 第九百八十五類 土人ノ發達 | 第九百八十六類 土人ノ發達 | 第九百八十七類 土人ノ發達 | 第九百八十八類 土人ノ發達 | 第九百八十九類 土人ノ發達 | 第九百九十類 土人ノ發達 | 第九百九十一類 土人ノ發達 | 第九百九十二類 土人ノ發達 | 第九百九十三類 土人ノ發達 | 第九百九十四類 土人ノ發達 | 第九百九十五類 土人ノ發達 | 第九百九十六類 土人ノ發達 | 第九百九十七類 土人ノ發達 | 第九百九十八類 土人ノ發達 | 第九百九十九類 土人ノ發達 | 第一千類 土人ノ發達 |
|----------------|-------------------------------|---------------------------|-----------------|---------------------|----------------------|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|----------------------------|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------|

○逕信省告示第百二十七號  
武藏國北豐島郡赤羽始メ左ノ郵便局へ郵便爲替及貯金事務ヲ開施シ本月二十一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス  
明治二十四年六月五日  
逕信大臣伯爵後藤象二郎  
武藏國北豐島郡赤羽郵便局 信濃國北佐久郡輕井澤郵便局 陸前國栗原郡細倉郵便局  
○逕信省告示第百二十八號  
常陸國多賀郡森山始メ左ノ郵便局へ郵便爲替事務ヲ開施シ本月二十一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス  
明治二十四年六月五日  
逕信大臣伯爵後藤象二郎  
常陸國多賀郡森山郵便局 信濃國上伊那郡飯島郵便局  
岩代國伊達郡月館郵便局  
岩代國耶麻郡關都郵便局 筑前國御笠郡山家郵便局

○内務省告示第十七號  
一 大新一ツトセヨ  
右出版物ハ治安ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス  
明治二十四年六月六日  
內務大臣子爵品川彌二郎

○司法省告示第七十一號  
鳥取地方裁判所管内米子區裁判所境法勝寺兩出張所明治二十四年六月十五日ヨリ開廳ス  
明治二十四年六月六日  
司法大臣子爵田中不二麿

明治二十四年六月 告示 農商務省第五號 第七六  
明治二十四年六月 告示 農商務省第五號 第七六  
明治二十四年六月 告示 農商務省第五號 第七六

○內務省告示第十八號

暹羅國盤谷府及マラッカ地方ニ於テ虎列刺病流行ニ付同地ヲ發シ又ハ同地ヲ經及同地ヲ發シ他港ヲ經テ來ル船舶ニ對シ長崎縣下長崎港ニ於テ明治十五年六月第二十一號布告虎列刺病流行地方ヨリ來ル船舶検査規則ニ據リ検査ヲ實施ス

明治二十四年六月七日

內務大臣子爵品川彌二郎

○陸軍省告示第七號

明治二十三年三月勅令第三十號陸軍被服工長學會條例第九條ニ依リ縫工科學生七名靴工科學生八名陸軍豫備後備在役ノ兵卒ヨリ召集候補志願ノ者ハ左ノ規程ニ依リ本年七月三十一日マテニ出願スヘシ

明治二十四年六月八日

陸軍大臣子爵高島鞆之助

明治二十四年陸軍被服工長學會學生検査格例召集手續

- 第一條 陸軍豫備後備在役ノ兵卒ニシテ學生タルヲ志願シ得ヘキ者ノ資格ハ左ノ如シ
  - 一 行狀方正身體強壯ニシテ入舍ノ月十二ヨリ算シ四箇年半以上ノ兵役期限ヲ有スル者
  - 二 裁縫造靴或ハ之ニ類似ノ業ヲ採リタル者
  - 三 妻ナキ者
- 第二條 前條ノ資格ヲ備フル者ハ検査ヲ行フ其科目ハ左ノ如シ
  - 一 讀書 日本外史又ハ日本政記ノ類(通讀)
  - 二 作文 往復文(眞片假名)
  - 三 算術 四則 分數 比例
- 第三條 志願者ハ左ノ書式ノ願書ヲ作り所管ノ大隊區司令官 對馬ニ在テハ警備隊ニ出願シ指定ノ

被服工長學會入舍願

時日ニ検査所ニ出頭スヘシ

第四條 合格者ヲ採用スルハ優等ノ者ヨリ順次所用ノ人員ヲ採用ス

第五條 合格者ニ入學ヲ命スルハ所管ノ大隊區司令官ヨリ之ヲ達ス

第六條 検査ヲ受クル爲メ往復スル旅費ハ自辨トシ入學退學ノ旅費ハ官給トス

願書式用紙榮澤白紙

某 殿

此度被服工長學會ハ入舍仕度候間御検査ノ上御採用被服工長學會ニ相守可申候此段奉願候也

年 月 日

府(縣) 族姓 職業

戶主ニアラサル者ハ何某何

男等月主ノ檢柄ヲ記スヘシ

孫備(後備)役兵種上等兵(一二等卒)

姓 名 印

(參照)

勅令第三十號陸軍被服工長學會條例(明治二十三年三月十九日官報)抄錄

第九條 學生ハ現役豫備後備在役ノ籍ニ在ル兵卒中志願ノ者ニシテ検査合格ノ者ヨリ之ヲ採用ス

○司法省告示第七十二號

大津地方裁判所管内八幡區裁判所ニ於テ明治二十四年六月十六日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十四年六月八日

司法大臣子爵田中不二磨

○司法省告示第七十三號

浦和地方裁判所管内浦和區裁判所鴻ノ巢出張所熊谷區裁判所松山出張所裁判ノ儀當分ノ内開廷

明治三十四年六月八日

司法大臣子爵田中不二磨

○海軍省告示第六號

新原探炭所ニ於テ石炭ノ採掘ヲ請負ハントスルモノハ左ノ規則ニ據ル可シ

海軍大臣子爵樺山資紀

探炭請負規則

- 第一條 石炭採掘及斷層巖石開鑿並坑内諸道ノ請負事業ハ本則ニ據ルモノトス但採炭請負價格ハ炭量一千基ヲ以テ算定シ採掘炭額ハ一日若クハ一箇月ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
- 第二條 石炭採掘等ノ請負競争ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスル者ハ新原探炭所ニ就キ其設計圖面仕樣書及炭坑ヲ熟覽スヘシ
- 第三條 請負ノ競争ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスル者ハ市町村長又ハ區長ノ與書ヲ受ケ或ハ會社組合等ニシテ官許ニ係ル者ハ其指令書若クハ許可狀ノ寫ヲ添ヘ二年以來其職業ニ從事シタル證明書ヲ出スヘシ
- 第四條 請負ノ競争ニ加ハラントスル者ノ入札保證金ハ見積代金ノ百分ノ五以上契約保證金ハ其代金ノ百分ノ十以上新原探炭所ニ於テ定ムル所ニ依リ納ムヘシ
- 第五條 現金ヲ以テ保證金ヲ納ムルトキハ正貨紙幣銀行紙幣兌換銀行券ノ内ヲ以テスヘシ
- 第六條 公債證書ヲ以テ保證金ヲ納ムルトキハ納付前月ノ株式取引所平均相場ニ據リ書入證書ヲ添付スヘシ但利札ハ拂渡期日前ニ下附ス
- 第七條 入札保證金ハ入札人入札ノトキ掛官ニ出スヘシ契約保證金ハ請負人結約ノトキ掛官ノ指

示スル所ニ納入スヘシ

- 第八條 入札保證金ハ落札者契約ヲ結ハサルトキハ官ノ所得トシ落札ナラサル者ニハ即時還付シ落札者ニハ契約保證金納入ノ後之ヲ還付ス
- 第九條 契約保證金ハ請負ノ事項完済シタル後還付ス若シ請負人契約ノ義務ヲ果サハルトキハ契約書ニ掲クル處分法ニ依リ全額若クハ幾分ヲ官ノ所得トス但天災其他防制スヘカラサル事故ニ原由スルモノト認定シ解約スルトキハ還付ス
- 第十條 契約書ニハ請負事項請負金額保證金額終始期限保證金處分法金額仕拂期限其他一切必要ナル條件ヲ掲載シ且契約書ニ明文アルモノ、外總テ本規則ニ從フ旨ヲ明記シ之ニ仕樣書仕譯書等必要書類ヲ添付スヘシ
- 第十一條 契約書ニハ請負人保證人連署捺印シ新原探炭所長署名捺印スルモノトス
- 第十二條 契約書ハ正副二本ヲ作り一本ハ官ニ留メ一本ハ請負人ニ於テ所持スルモノトス
- 第十三條 請負人死亡シ若クハ失踪シ又ハ契約ヲ履行セサルトキハ保證人ニ於テ請負本人ト同一ノ資格アル者ヲ撰ミ官ノ許可ヲ得テ契約ヲ履行セシムヘシ若シ保證人其義務ヲ果サハルトキハ契約ヲ解キ保證金ヲ官ノ所得トス但既ニ採掘シタル炭量其他既濟部分ニ對スル仕拂金額及保證金ハ検査官吏ノ測定ニ依リ下付スヘシ
- 第十四條 競争入札ノ公告ニハ其入札ニ附スヘキ事項設計仕樣書等必要ナル書類ヲ示ス場所新原探炭所長氏名開札日時保證金額其他必要ノ事項ヲ掲クルモノトス
- 第十五條 入札書ニハ仕譯書ヲ添ヘ入札人ノ職業住所姓名ヲ記載スヘシ入札者會社ナルトキハ其社長又ハ代理人ノ住所姓名ヲ記載スヘシ他人ノ代理トシテ入札スルトキハ委任狀ヲ添付スヘシ

第十五條 入札書ハ開札ノ日掛官ニ出スヘシ又入札人ハ入札前本規則及設計、圖面、仕様書等必要ナル書類其他炭坑等ヲ熟知シタルモノトシ開札後ニ至リ故障ヲ陳フルコトヲ許サス

第十六條 開札ハ新原探炭所長入札人ノ面前ニ於テ主務官ヲシテ入札書ヲ開封シ其要件ヲ朗讀セシメ豫定價格ノ制限ニ達スル最低金額ノ入札人ヲ以テ落札者ト定ム但入札保證金ヲ出サ、ル者ノ入札書ハ開封セシテ却下ス又任譯書ヲ添付セス入札書其式ニ違ヒ相當ノ證明書類ヲ出サ、ル者ノ入札ハ直ニ却下ス

第十七條 入札金額一モ豫定價格ノ制限ニ達セス再入札ヲ爲サシムルトキハ即日同所ニ於テ之ヲ行フ再入札ノ金額仍ホ一モ該制限ニ達セサルトキハ其入札ヲ取消スヘシ

第十八條 落札トナルヘキ同價ノ入札人數名アルトキハ即日同所ニ於テ再入札ヲ爲サシメ仍ホ同價ナルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム

第十九條 第十七條及前條ニ依リ再入札ヲ爲シタル落札者ハ二日以内ニ其落札金額ニ對スル改正任譯書ヲ出スヘシ之ヲ出サ、ルトキハ保證金ノ全額若クハ一部ヲ官ノ所得トシ契約ヲ結ハサルコトアルヘシ

第二十條 入札金額ノ任譯書ニ誤認アルトキハ其內譯訂正ヲ許スト雖モ入札金額ノ改正ハ之ヲ許サス

第二十一條 隨意契約ハ新原探炭所長其契約ヲ結ハントスル請負人ヲシテ見積價格書及任譯書ヲ出サシメ五日以内ニ決定シ請負人ニ通知シ保證金ヲ納メシメ且契約書ニ調印セシム但時宜ニ依リ延期ヲ要スルトキハ速ニ請負人ニ通知スルモノトス

第二十二條 隨意契約ヲ結ハントスル請負人前條ノ期日內ニ確定ノ通知ヲ得ス若クハ確定延期ノ通知ヲ得タルトキ其契約ヲ辭スルコトヲ得

第二十三條 請負人ハ總テ新原探炭所員ノ指揮ニ從ヒ契約書ニ記載スル日時ニ必ス著手スヘシ且

官ノ許可ヲ得シテ他人ニ請負ハシムルコトヲ得ス若シ許可ヲ得シテ之ヲ他人ニ請負ハシムルコトアルトキハ保證金ノ全額若クハ一部ヲ官ノ所得トシ契約ヲ解クコトアルヘシ

第二十四條 請負人請負事項ヲ施行スルトキハ坑ノ内外取締ニ係ル諸則ヲ遵奉シ火災其他ノ豫防ニ注意シ服業時間ハ探炭所ノ定ムル所ニ據ルヘシ

第二十五條 請負事業施行中ハ請負人若クハ適當ノ代理人常ニ臨在シ探炭所官吏ノ巡檢スルトキハ必ス之ニ隨伴シ官吏ニ於テ事業ニ不充分ト認ムル所アルトキハ改修セシム

第二十六條 請負人ハ其使役スル職工人夫等ノ行爲ニ係ル一切ノ責ニ任スルモノトシ若シ官ニ於テ職工人夫中強硬命ニ服セス不正ノ行爲等アルモノハ其使役ヲ禁止スルコトアルヘシ但使役スル職工人夫ノ名簿ヲ探炭所ニ差出スモノトス

第二十七條 請負事業ニ使用スル材料物品ハ探炭所官吏ノ檢査ヲ經サルモノハ使用スルコトヲ得ス

第二十八條 請負事業ニ使用スル納屋、車馬、器具、器械等及其雜費ハ契約ニ明文アルモノヲ除ク外總テ請負人ニ於テ調辨スルモノトス

第二十九條 天災其他防制スヘカラサル事故ニ依リ約定期限ヲ後ル、トキハ請負人其事故ヲ證明スヘキ書類ヲ添ヘ速ニ主任官吏ニ告知スヘシ

第三十條 請負事業著手ノ後官ノ都合ニ依リ一時中止又ハ廢止ヲ要スルトキハ請負人ニ於テ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス但廢止ノ場合ニ在テハ保證金ヲ還付シ其既ニ採掘シタル炭量其他既濟部分及坑場ニ運搬シタル材料ニ對スル金額ヲ下付シ及運搬ニ係ル雜費ヲ辨償シ其材料ハ官ノ所得トス

第三十一條 前條ニヨリ請負事業一時中止セラレ其中止一年以上ニ及フトキハ其契約ヲ辭スルコトヲ得此場合ニ於テハ保證金ヲ還付スル等前條廢止ノ例ニ依ル



明治二十四年六月十五日

大藏大臣伯耆松方正義

○司法省告示第七十五號

宮崎地方裁判所管内高千穂區裁判所七ツ山出張所盛岡地方裁判所管内水澤區裁判所前澤出張所  
明治二十四年六月二十日ヨリ開廳ス

明治二十四年六月十五日

司法大臣子爵田中不二麿

○農商務省告示第六號

第十二回獸醫免許試驗並第二回蹄鐵工免許試驗ノ舉行地及期日左ノ通之ヲ定ム試驗出願者ハ本年  
七月中地方廳ヲ經由シテ其願書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

明治二十四年六月十五日

農商務大臣陸奥宗光

第十二回獸醫免許試驗舉行地及期日

- 明治二十四年十月一日 巖手縣下盛岡 石川縣下金澤
- 同 年十月十五日 大阪府下大阪
- 同 年十月二十日 長崎縣下長崎
- 同 年十一月十六日 東京府下東京
- 第二回蹄鐵工免許試驗舉行地及期日
- 明治二十四年十月二十二日 大阪府下大阪
- 同 年十月二十七日 長崎縣下長崎
- 同 年十一月二十五日 東京府下東京

○內務省告示第二十一號

一新版娘ヅタ(下二葉) 北海道函館區東川町五十四番戶寄留石川縣平長桶谷吉太郎發行  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十四年六月十六日

內務大臣子爵品川彌二郎

○遞信省告示第四百一十一號

尾張國知多郡大府鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來ル七月一日ヨリ左ノ事項ニ據リ公衆電報取扱ヲ  
開始ス

但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報歐文電報及返信料前納電報ハ取扱ハス

明治二十四年六月十六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

- 一通信取扱時間ハ一般郵便電信局及口電信局ニ同シ
- 一取扱所ヨリ十八町以内ニ宛タル電報ハ直配達ヲ爲ス
- 一本所ニ於テハ特ニ別使配達ヲ取扱フ

○內務省告示第二十二號

一喜樂世界 一册 日本橋區新和泉町一番地寄留太田乙治發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十四年六月十八日

內務大臣子爵品川彌二郎

○內務省告示第二十三號

一貴顯行車扇面 一枚 愛知縣名古屋市北區町三番戶杉本菊太郎發行

一貴顯通車扇面 一枚 愛知縣名古屋市曙田町百九十六番戶太田虎治郎發行

明治二十四年六月十八日

內務大臣子爵品川彌二郎

○內務省告示第二十四號 一枚 宮城縣仙臺市東四番町十八番地豐田久治發行  
一改良便利切手用紙  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十四年六月二十二日 內務大臣子爵品川彌二郎

○內務省告示第二十五號

一冊 東京市小石川區指ヶ谷町十七番地足立庚吉發行  
一寐くたれ髮  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス  
大阪市府區末吉橋通四丁目八十六番地大淵勝發行

明治二十四年六月二十二日 內務大臣子爵品川彌二郎

○內務省告示第二十六號  
香港並上海及其他清國南方諸港ヲ發シ又ハ同地ヲ經及同地ヲ發シ他港ヲ經テ來ル船舶ニ對シ長崎縣下長崎港ニ於テ本日ヨリ明治二十四年六月勅令第六十五號ヲ實施ス  
明治二十四年六月二十二日 內務大臣子爵品川彌二郎

○遞信省告示第四百十二號

明治十九年六月遞信省告示第五十七號萬國電信條約書附屬ノ細目規則及稅表ハ昨明治二十三年佛蘭西國巴黎府開設ノ萬國電信會議ニ於テ左ノ通り修正議定シタルニ付本年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治二十四年六月二十二日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

明治二十三年(西曆千八百九十三年)佛國巴黎府改定 萬國電信條約書附屬細目規則

此條約書ハ細目規則ヲ合セテ全備スル者トス而シテ該規則ノ條件ハ同盟各本局協議ノ上何時タリトモ之ヲ改正スルヲ得ヘシ

第一篇

萬國電線

網第四條

同盟各國政府ハ通信ノ速達ヲ擔保スルニ十分ナル線數ヲ設備シ以テ特別ノ電線トナシ萬國電信ノ用ニ充ツヘシ  
此特線ハ方今電機學經驗上ニ於テ發明セシ最良ノ方法ヲ以テ建設使用スヘシ

目第一條

第一節 電報送受ノ間斷ナキ又ハ甚々頻繁ナル各電信局間ハ可及的電線ヲ直接ニ連續セシムヘシ此電線ハ「キロメートル」ニ付七「オーム」半ヲ超過セサル電氣抗力ヲ有シ且ツ線質堅牢ニシテ電氣力十分ナルヲ要ス

右ノ諸線ハ中繼局ノ手數ヲ要セス專ラ首尾兩局間ノ用ニ充ツヘシ

第二節 右ノ電線ハ首尾兩局間ノ通信ノ需要ニ應ズルニ足ルヘキ線數ヲ設クヘシ該通信ノ數一日一線ニ付五百通(大約七千語)ヲ超過スルトキハ關係兩電信主管局ニ於テ更ニ直通線ヲ増設スルカ又ハ露土機ヨリ一層迅速ナル機器ヲ用フヘシ

第三節 地方ノ諸線障礙アルトキハ右ノ特線ヲ以テ諸信ヲ傳送スルコトヲ得然レトモ其全通セシ時ハ速ニ故ニ復スヘシ

第四節 首尾兩局ノ間ニ直通スル能ハサルトキハ其電信主管局ニ於テ每線一箇又ハ數箇ノ中繼局ヲ撰定シ必ス電報ヲ取扱ハシムヘシ

目第二條

第一節 各電信主管局ハ各自主管ノ區内ニアル萬國海陸電線ノ保護ニ盡力シ而シテ各線ノ良効ヲ奏ス可キ方法ヲ設定スヘシ

第二節 首尾兩局ニ於テ萬國幹線ノ電氣力及抗力ヲ測定スル爲メ毎日曜日前ニ試驗ヲ舉行シ其成績ヲ特ニ設クル簿冊ニ記載スヘシ

第三節 萬國線ヲ使用スル各部ノ長ハ此試驗方法ヲ規定シ及ヒ試驗ヲ施行スル爲メ且ツ共通事務上ノ便宜ヲ計リ商議シタル條項ヲ適用スル爲メ直接ニ協議スヘシ

目第三條

萬國線ニ於テ業務繁劇ナラサル諸局間ハ其爾斯機、通信殊ニ頻繁ナル線上ニ於テハ更ニ迅速



ナル機械ヲ用テ其事務ヲ執行スヘシ

目第四條

第一節 同盟國中ノ盛大ナル都市間ニ在テハ晝夜間斷ナク閉局勤務スルコトヲ勉ムヘシ

第二節 終日勤務スル通常ノ局ハ衆人ノ爲メ少クモ午前八時ヨリ午後九時ニ至ルマテ閉局ス

第三節 一日内ニ定時限アリテ勤務スル局ノ閉局時間ハ同盟國ノ電信主管局ニ於テ各々之ヲ定ムヘシ

終日勤務スル局ト雖トモ日曜日ノミ別ニ時間ヲ定メ勤務ヲ爲スハ各國隨意タルヘシ但其旨趣ヲ萬國電信總局ニ報知シ該局ヨリ之ヲ他ノ電信主管局ニ通知スヘシ

第四節 終日勤務セサル局ト雖トモ終日勤務スル局ヘ送ルヘキ萬國電報ヲ盡ク傳送シ終ラサレハ閉局スルコトヲ得ス

第五節 一ノ直通線ヲ以テ通信スル殊邦ノ兩局間ニ閉局時限ノ符號ヲ報スルニハ其首府ノ地位最モ西方ニ在ル國ノ所轄ノ局ヨリ之ヲ發スヘシ

第六節 前節ノ規定ハ晝夜勤務局ニ於テ交代ノ時限及日誌ノ撰筆ニモ之ヲ用フヘシ

第七節 一國中ノ諸局ハ總テ一齊ノ時刻ヲ用フヘシ但其國首府ノ時刻ヲ用フルヲ以テ常例トス

目第五條

左ノ記號ハ各種ノ電信局ヲ表スル爲メ萬國電信事務用ノ書類ニ用フルモノトス

- N. 晝夜間斷ナク勤務スル局
- N. 夜半マテ奮動ヲ展延スル局
- C. 終日勤務スル局
- L. 一日内ニ定時限アリテ勤務スル局(終日勤務スル局ヨリハ閉局ノ時限短少ナルモノヲ云フ)

F. 公衆ノ電報ヲ送受スル爲ニ開キタル鐵道電信取扱所

P. 私立電信會社ノ局

S. 號標臺

K. 發信ハ其種類ノ如何ニ拘ハラズ之ヲ受領スルモ著信ハ鐵道停車場構内ニ配達スルモノ若クハ留置電報ニ非サレハ受領セサル局

E. 帝王駐蹕ノ間ノ閉局スル局

B. 浴季ノ閉局スル局

H. 浴季ノ閉局スル局

L. 浴季ハ終日勤務シ其餘ハ定時限アリテ閉局スル局

BC. 浴季ハ終日勤務シ其餘ハ定時限アリテ閉局スル局

HC. 浴季ハ終日勤務シ其餘ハ定時限アリテ閉局スル局

目下通信ヲ實施セサル局

第二篇

通信總則

網第一條

同盟各國ハ何人ヲ問ハス萬國聯合電信ノ方法ニ依テ通信スルノ權利アルコトヲ承認ス

網第二條

同盟各國ハ通信ノ秘密且速達ヲ擔保スルガ爲メ必要ナル百般ノ處置ヲ爲スヘシ

網第三條

然レトモ同盟各國ハ萬國電信取扱上ヨリ起ル一切ノ責ニ任セサルヘシ

網第五條

電信ヲ區分シテ左ノ三種トナス

第一官報 即チ同盟國ノ首長大臣陸海軍將帥公使又ハ領事ノ通信ヲ云フ

此記號ハ前數項ノ記號ニ合加シテ用フルコトアルヘシ

第二局報 即ち同盟國各電信局ヨリ出セル報信ニシテ萬國電信ノ處務ニ關シ或ハ各國協議ノ上國益トナルヘキ事件ニ關スル者ヲ云フ

第三私報

傳送ハ總テ官報ヲ先ニシ他ノ報信ヲ後ニス

網第七條

同盟各國ハ其國ノ治安ニ害アリ又ハ其國ノ法律若クハ風儀ニ悖ルモノト認ル私報ハ其傳送ヲ差留ルノ權アリ

網第八條

各國政府ニ於テハ期限ヲ定メス一時萬國電信ノ事務ヲ停止スルヲ必要ナリト思考スルトキハ其趣ヲ同盟各政府ヘ報知シ管下總體ノ電線或ハ一部ノ電線又ハ音信ノ種類ヲ限リ之ヲ停止スルノ權アリ

第三篇

電報書法及受付

網第五條

電報ヲ區分シテ左ノ三種トナス

第一官報

第二局報 同盟國各電信局ヨリ出セル報信

第三私報

傳送ハ總テ官報ヲ先ニシ他ノ報信ヲ後ニス

網第六條

官報並ニ局報ハ隨時ニ暗號ヲ用テ報スルコトヲ得ヘシ私報ハ暗號ヲ以テ贈答スルコトヲ許シタル兩國政府ノ間ノミニ於テ之ヲ送受スルヲ得ヘシ暗號ヲ以テ書シタル通信ヲ認許セサル國ト雖トモ第八條ニ云フ通信停止ノ時ヲ除クノ外其私報ヲ

傳送スルコトハ許スヘキモノトス

網第十一條

同盟各國ノ萬國電信局務ニ關スル音信ハ其各國ノ諸線路ヲ悉ク無稅ニテ傳送スヘシ

目第六條

第一節 電報ハ普通語或ハ暗號ヲ以テ書載スルヲ得但暗號ハ隱語、數字又ハ祕密ノ意味アル文字ノ三種ニ區分ス

第二節 各電信主管局ニ於テ普通語ノ私報ハ總テ之ヲ受ク然レトモ祕密ノ意味アル文字ヲ以テ全文若クハ一部分ヲ書載シタル私報ハ之ヲ拒絕スルモノトス

同盟各國ハ隱語若クハ數字ヲ以テ書載シタル私報ノ發著ヲ拒絕スルコトヲ得然レトモ聖比得堡府決定電信條約第八條ニ掲ケタル通信停止ノ場合ヲ除クノ外此類ノ電報ヲ發送セシムヘシ

第三節 各電信主管局ハ祕密ノ意味アル文字ヲ以テ書載シタル官報及事務報ハ總テ之ヲ受クルモノトス

目第七條

第一節 普通語電報トハ萬國電氣通信ニ用フルコトヲ許シタル國語ノ一ヲ以テ書載シ其意味ノ曉解シ易キモノヲ云フ

第二節 各電信主管局ハ其國ノ管局地内ニ通用スル國語ノ中ニテ萬國電氣通信ニ用フヘキ普通語ヲ指定スヘシ

目第八條

第一節 隱語電報トハ每語固有ノ意味アリト雖トモ作文全體ニ於テハ電信局ニテ曉解シ難キモノヲ云フ

第二節 隱語ハ萬國通信上ニ使用スルコトヲ許シタル隱語集若クハ萬國電信總理局編纂ノ隱語集ヨリ採擇スヘシ

萬國電信總局編纂ノ隱語集ハ其刊行ノ日ヨリ起算シ三箇年ノ後ニ於テ必ス之ヲ使用スヘシ

但歐羅巴外ノ方法ヲ用フル通信ニ關シテハ隨意タルヘシ

第三節 隱語ハ字數十字ヲ以テ一語ノ極ト定メ而シテ日耳曼、英吉利、西班牙、佛蘭西、荷蘭、伊太

利、葡萄牙及羅甸ノ國語中、一國語ヲ單用シ若クハ數國語ヲ混用スヘシ

第四節 萬國電信總局編纂ニ係ルモノ、外隱語集ニ固有有名詞ヲ用フヘカラサルモノトス故ニ

該局編纂外ノ隱語集ニ據ル隱語電報中ニ固有有名詞ヲ記入スルトキハ其本意ヲ用フルモノニ限

ル

第五節 右ノ規定ヲ實踐セシヤ否ヤヲ査閲シ且其用語ノ確實ナルヤ否ヤヲ檢査スル爲メニ發信

局ニ於テハ隱語集ノ閱覽ヲ要ムルコトアルヘシ

目第九條

第一節 數字電報トハ祕密ノ意味アル數字ノ聯集若クハ聯續ヲ以テ本文ノ全部若クハ一部分ヲ

作リタルモノヲ云フ

第二節 私報ノ數字文ハ必ス亞刺比亞數字ヲ以テ作ルヘシ

目第十條

第一節 電報ハ萬國電信字號ニ翻書スヘキ文字ニシテ且發信國ニ通用スルモノヲ以テ明瞭ニ書

載スルヲ要ス

第二節 右ノ文字又ハ記號ハ左ノ如シ

- 1. N. A.
- 2. O. B.
- 3. P. C.
- 4. Q. D.
- 5. R. E.
- 6. S. F.
- 7. T. G.
- 8. U. H.
- 9. V. I.
- 0. W. J.
- X. K.
- Y. L.
- Z. M.

句讀點其他記號

- 終點
- 小讀
- 重點
- 問標
- 感符
- 略符
- 連續點
- 括弧
- 轉倒句讀
- 分數母子間歸除線
- 字下線
- 局用符號
- 至急私報
- 課金事務報
- 返信料濟電報
- 至急返信料濟電報
- 照校電報

TC. RPD. RP. ST. D. [-][/][']([)][] [] [] [] [] [] []

受信報知ヲ要スル電報  
 受信報知  
 追尾電報  
 郵稅前納  
 書留郵便  
 別使賃前納  
 騎使賃前納  
 無絨配達電報  
 本人交付電報  
 莫爾斯機ノミニ用フル文字  
 A. A. 又ハ A. N. O. U  
 露士機ノミニ用フル記號  
 十字符  
 二重連續點  
 第三節 電報ノ文言ヲ加削改正スルトキハ發信人若クハ其代人ニ於テ憑證ヲ爲スヘシ

[=] [+]

MP. RO. EP. XP. PR. PP. FS. CR. CR.

目第十一條

- 一、各種ノ指定
- 二、名處
- 三、本文
- 四、記名

目第十二條

第一節 發信人ハ住所配達、返信料濟、受信報知、至急電報、照校電報、追尾電報、無絨配達電報、本人交付電報等ノ指定ヲ信紙中名處ノ前ニ記入スヘシ

第二節 連名電報ノ發信人ハ時宜ニ依リ各受信人名處ノ前ニ右ノ指定ヲ記載スヘシ然レトモ至急若クハ照校ノ連名電報ニ關シテハ唯第一名處ノ前ニ其指定ヲ記載スルヲ以テ足レリトス

第三節 右ノ指定ハ目第十條ニ定メタル略符號ヲ以テ之ヲ記載スルコトヲ得此場合ニ於テハ必ス括弧ニテ之ヲ國ミ一語トシテ計算スヘシ若シ普通語ヲ以テ之ヲ記載スルトキハ佛語ヲ用フヘシ但關係主管局ノ協議ニ依リ他ノ國語ヲ用フルハ此限ニ非ス

目第十二條

第一節 凡ソ名處ハ少クトモ二語ヲ用ヒ一ハ受信人ノ宛名、一ハ著信地ノ電信局名ヲ示スヘシ

第二節 名處ハ著信地ニ於テ其電報配達ヲ保全セシムル爲メ詳細ニ記載スヘシ但氏名ヲ除クノ外ハ佛語又ハ其著信國ノ國語ヲ以テ記載スヘシ

第三節 私報ノ名處ハ配達ヲ容易ニシ尋問ノ煩ヲ省ク様詳細ニ記載スヘシ

第四節 大都市ニ送ル電報ニハ街名及ロ家號ヲ記載スヘシ若シ街名等ヲ知り得サレハ受信人ノ職業又ハ其他有用ノ事項ヲ記載スヘシ

第五節 小都市ニ送ル電報ト雖トモ傳送中縱令受信人ノ本名ニ差違ヲ生スルコトアルモ著信局ニ於テ配達シ得ヘキ様可及的其氏名ニ補足指定ヲ添記スヘシ

第六節 電報ヲ送達スヘキ方向ニ付疑感ヲ生スルノ虞アルトキ殊ニ同一ノ地名アルトキハ必ス

著信地ノ國名若クハ小區劃名ヲ記載スヘシ

第七節 前各節ノ要件ニ依ラスレテ名處ヲ記シタル電報ニテモ之ヲ受領傳送セサルヲ得ス但不

達ノ危險ハ發信人ノ負擔タルヘシ

第八節 名處ハ暗號又ハ略體ニテ記載スルコトヲ得然レトモ斯ノ如ク記載シタル電報ヲ配達セ

シタルニハ受信人ト著信局トノ間ニ於テ豫メ約定アルモノニ限ルヘシ

第九節 名處記載ノ不十分ヨリ生スル結果ハ總テ發信人ノ負擔タルヘシ

目第十四條

第一節 同盟各電信主管局ハ本文ナキ電報ノ發送ヲ許シ又ハ之ヲ拒ムコトヲ得然レトモ該電報

ヲ發送シ及配達スルコトハ之ヲ拒ムヲ得ス

第二節 著信國ニ於テ暗號通信法ヲ許サハルトキハ私報ノ本文ハ暗號ニテ書載スルヲ得ス

第三節 暗號通信法ヲ許ス所ノ國ニ宛タル私報ノ本文ハ普通語及暗號ヲ以テ其字句ヲ記載スル

ヲ得

目第十五條

第一節 發信人ノ記名ハ略體ヲ以テ書載シ若クハ之ヲ書載セサルコトヲ得其書載セサルトキ此

電報ニ關シ事務報ヲ發スルニハ受信人名ヲ以テ之ヲ示スヘシ

第二節 私報ノ發信人ハ發信局ノ求メアルトキハ其本人ニ相違ナキコトヲ證明スヘシ

第三節 私報ノ發信人ハ發信國ノ法制ニ依リ自己ノ電報中ニ其記名ノ保證文ヲ記入スルノ權ア

リ此保證文ハ全文又ハ左ノ文例ニテ發送スルモ妨ケナシ

何誰ノ保證セル記名

第四節 發信局ニ於テハ此保證文ノ正實ナルヤ否ヲ審査シ保證ヲナスヘキ資格アル人ニテ其記

名ニ認印ヲ捺シタルモノニ非サレハ正實ノモノト見做スヲ得ス但發信局ニ於テ其記名ヲ知リ

タルトキハ此限ニアラス

官報及事務報

a 官報

目第十六條

第一節 官報ハ之ヲ發送スル人ノ官印ヲ捺スヘシ但其官報タルコト毫モ疑ヒナキモノハ此限ニ

アラス

第二節 官報ノ受信原書ヲ證據トシテ差出ストキハ其返信ヲ官報トシテ發送スルコトヲ得ヘシ

第三節 商人ニシテ領事ノ事務ヲ取扱フ者ヨリ發送スル電報ハ官員ニ宛名シ且官用ニ關スルモ

ノニアラサレハ之ヲ官報トナサス但右ノ定例ニ依ラサル電報ト雖トモ發信局ニ於テハ之ヲ拒

絶セス直ニ其旨ヲ主管局ニ申報スヘシ

第四節 數字官報ノ本文ハ數字若クハ祕密ノ意味アル文字ヲ以テ書載スルヲ得但數字ト文字ト

ヲ混用スルヲ許サス

第五節 普通語ニテ書載シタル官報ハ其反復ヲ要スル部分ヲ反復スヘシ

(目第十四條第一節)

第六節 暗號ニテ書載シタル官報ハ照校電報(目第五十二條)ニ於ルカ如ク受信局ヨリ其全文ヲ

反復スヘシ

b 事務報

網第五條

電信ヲ區分シテ左ノ三種トス

第一局報 即チ同盟國各電信本局ヨリ出セル報信ニシテ萬國電信ノ處務ニ關シ或ハ各局協議

ノ上國益トナルヘキ事件ニ關スル者ヲ云フ

綱第十一條

同盟各國ノ萬國電信局務ニ關スル音信ハ其各國ノ諸線路ヲ悉ク無稅ニテ傳送スヘシ

目第十七條

第一節 事務報ハ本事務報ト通常事務報トニ區分ス

第二節 事務報ハ同盟國中無料ニテ傳送スルモトス但目第十八條ニ定ムル場合ハ此限ニ非ス

第三節 事務報ハ佛語ヲ以テ書載スヘシ但關係ノ主管局ニ於テ協議ノ上他ノ國語ヲ選用スルハ此限ニ非ス

電報傳送ニ關シ添記スヘキ事務上ノ通知モ亦本例ニ同シ

第四節 事務報ハ至急ノ事件ニ限リ之ヲ用ヒ且ツ最モ簡明ニ之ヲ書載スルヲ要ス電信主管局及諸局ハ可及的其通數ト字句トヲ節略スルコトヲ務ムヘシ

第五節 至急用ニ非サル通知ハ前拂郵便ヲ以テ贈答スヘシ

第六節 本事務報ハ各主管局及本事務報ヲ發スルノ資格アル各官吏ノ間ニ交送スルモノトス而シテ其氏名ヲ傳送セス

該電報ノ名處ハ左例ノ如ク書スヘシ

電信總長ヨリ巴里總長ヘ

電信長ヨリチウワン監察官ヘ

其他倣之ノ發信地名ハ額表中ニノミ記載ス

第七節 通常事務報ハ線路又ハ傳送上ノ事務ニ關シ各電信局ノ間ニ交送スルモノトス而シテ其名處及記名ヲ傳送セス

第八節 通常事務報ハ事務上ニ不慮ノ事件起リテ已ムヲ得サレハ何時ニテモ之ヲ交送スヘシ就中已ニ傳送シタル電報ノ局内指定ニ不規則アルトキ(目第二十二條第四節)又ハ已ニ傳送シタル

ハ一列電報ニ關シテ校正又ハ通知ヲ要スルトキ(目第四十一條第一節第二節)又ハ電線ノ障礙ニ依リ郵便ヲ以テ電報ヲ他局ヘ送達シタルトキ(目第四十四條)又ハ電報ヲ其受信人ニ交付シ得サルトキ(目第四十八條)又ハ號標電報ヲ宛タル船艦二十八日內ニ入港セサルトキ(目第六十三條第四節)等ノ如キ是ナリ

第九節 已ニ傳送シタル電報ニ關スル通常事務報ニハ其原信ノ搜索ニ便ナル事項ヲ記載シ可及的原信ヲ發送シタル中間局ニ向ケテ之ヲ發送スヘシ

第十節 中間局ニ於テ此事務報ニ答ヘ或ハ其請求ニ應シテ處分スヘキ諸事件ノ要領ヲ知悉セハ他局ヘ無益ノ傳送ヲ省ク爲メ其局ニテ之ヲ處分スヘシ

目第十八條

第一節 電報ノ發信人又ハ受信人ハ其電報ノ依託若クハ到着ノ時ヨリ七十二時以内ナレハ現送既送ノ電報ニ關シ電信ヲ以テ通知ヲ請ヒ若クハ通知ヲ爲スコトヲ得又語辭ヲ校正スル爲メニ受信局發信局若クハ中間局ヲシテ其發送シ又ハ受領シタル電報ノ全部若クハ一部分ヲ反復セシムルコトヲ得但左ノ料金ヲ納ムヘシ

第一 尋問電報料

第二 返信電報料但返信ヲ望ムトキニ限ル

第三節 既送又ハ現送ノ電報ニ關シ發信人又ハ受信人ノ依頼ニ因リテ兩局間ニ交送スル校正補闕取消其他ノ諸電報ハ通常稅則ニ從テ課金スヘキ事務報トス

第四節 上載ノ電報ハ通常事務報ノ部ニ列シST(課金事務報)ノ指定ヲ付スヘシ

第五節 此事務報ハ左ノ文例ニ從フヘシ

ST 巴里 從 雜也納 二六(課金事務報ノ號數) 八(語數) 一三三 一三三 クリクバオン

(一部分ヲ校正スル電報ノ號數日附及受信人名) 第三語(本文)ノ30ヲ2000ト改ム

ST 加爾各答 從 倫敦 八六(課金事務報ノ號數) 九(語數)

RP4 (四ナル數字ハ反復スヘキ總語數ヲ含ムモノニシテ即チ校正報ノ發信人名ニ當ル一語ト校正

正語三箇トヲ合加シタルモノ(四三九 二四) プラオン(一部分ヲ反復スル電報ノ號數 日附及受信人名) 第一語 第四語 第九語(反復スヘキ初發電報本文中語辭ノ順次)ヲ反復セヨ  
又ハ  
ハ、ハ、ハ、ハ、後ノ一語(或ハ若干語)ヲ反復セヨ  
反復又ハ校正ヲ要スル語ハ其原信中ニ列スル順次ニ從テ指定シ決シテ課金上ノ計算法ニ準據スヘカラス  
右電報ノ返信ハ左ノ文例ニ從フヘシ  
ST 倫敦 從 加爾各答 四〇(返信事務報ノ號數) 四(語數) プラオン(受信人名) Alhathos, Scoring, Commune (初發電報ノ三語即チ校正ヲ請ヒタル語辭)  
初發電報ニ號數ノ記載アラサルトキハ時宜ニ依リ依托ノ日時ヲ以テ之ニ代フヘシ  
第五節 初發ノ電報照校電報ニシテ校正ノ後其電報ニ誤謬アリシコト判然セハ本條ニ依リテ收メタル料金ハ之ヲ還付スヘシ  
但初發電報ニ對照シテ正確ナル語及誤謬ノ語ト相雜ルトキハ其尋問電報及返信電報中正確ナル語ニ係ル料金ハ之ヲ還付セサルモノトス  
第六節 照校ニ非サル電報ニ關シ尋問及返信ノ料金ヲ還付スルト否ラサルトハ問信ヲ發送スル電信主管局ノ隨意ニ任スルモノトス  
第七節 校正ヲ要セシ初發電報ノ料金ハ之ヲ還付セサルモノトス  
第八節 校正ヲ請ヒタル語辭ニシテ疑獄スヘキ字體ヲ以テ書シタルモノアルトキハ初發局ニ於テ校正報ニ左ノ如ク添記スヘシ  
疑ハシキ書體一料金還付差止  
第九節 尋問及返信ノ料金ハ之ヲ徵收シタル電信主管局ノ所得ト爲シ萬國計算ニ算入スルヲ要セス  
第五篇

語數算法

目第十九條

第一節 發信人傳送セシメンカ爲メニ其願信紙中ニ記載シタルモノハ總テ有料語中ニ算入ス但線路指定句讀點略符新章符連續點ハ此限ニ非ス  
第二節 取扱上便利ノ爲メ電信局ニ於テ信紙額表中ニ記載シタル語辭數字又ハ符號ニハ料金を課セス  
第三節 右ノ額表中ニ記載シタル電報號數發信局名依托ノ日時分ハ必ス受信人ニ交付スル送達紙ニ記載スヘシ  
第四節 發信人ハ電報本文中ニ該事項ノ全部又ハ一部分ヲ記載スルコトヲ得但是等ハ皆有料語數ニ算入ス  
第五節 發信局ノ語數計算ハ萬國間ノ傳送並ニ計算上ニ於テモ之ヲ確定ノモノト認定スヘシ然レトモ著信局ニ於テハ其國語ヲ以テ記シタル電報ヲ受領シタルトキ此國語ノ用法ニ反シタル語辭ノ聯綴ヲ含ムモノアラハ其不足ノ料金額ヲ受信人ヨリ徵收シ以テ著信局ノ所有ト爲スコトヲ得ヘシ此ノ如ク施行スルニ當リテハ補足料金を納メタル後ニアラサレハ電報ヲ受信人ニ交付セス若シ受信人ニ於テ右支辨方ヲ肯セサルトキハ通常事務報ヲ以テ其旨ヲ發信局ニ報シ發信局ハ補足料金を納メ爲メ電報ヲ配達シ難キ旨ヲ發信人ニ通報スヘシ  
目第二十條  
第一節 普通語ニ於テ莫爾斯假字ハ十五字ヲ以テ一語ノ極ト定メ之ニ超エタルモノハ復タ十五字ニ臻ルマテ一語ニ計算ス  
歐羅巴外ノ方法ヲ用フル通信ニ於テハ十字ヲ以テ一語ノ極ト定メ之ニ超エタルモノハ復タ十字ニ臻ルマテ一語ニ計算ス  
第二節 隱語ニ於テハ歐羅巴内ノ方法ト歐羅巴外ノ方法トヲ問ハス一語ノ極ヲ十字ト定ム  
普通語隱語混合ノ電報中ニ記載シタル普通語ハ十字迄ハ一語トシ之ニ超エタルモノハ十字ト定ム  
明治二十四年六月 告示 逓信省第四百四十二號

算ルマテ又一語トシテ計算ス又該電報中ニ數字ヲ記載シタルトキ其數字ハ本條第七節ニ據リ計算スヘシ  
 混合電報中ニ普通語及ヒ數字ノミヲ記載シタルトキ普通語ハ本條第一節ニ數字ハ本條第七節ニ據リ計算スヘシ  
 第三節 用語ノ如何ヲ問ハス及ヒ歐羅巴内ノ方法ト歐羅巴外ノ方法トヲ論セス左ニ記載ノモノハ各一語トシテ計算スヘシ  
 a 語數及ヒ字數ノ多寡ニ拘ハラズ名處中ニ書載シタル著信局名著信國名及ヒ著信地ノ小區劃名  
 但萬國電信總理局出版萬國局名錄ニ從ヒ記載セシモノニ限ル  
 b 孤立セル凡テノ記號、文字、數字  
 c 字下線  
 d 括弧(括弧ヲ構成スル兩記號)  
 e 轉倒句讀點(一句ノ首尾ニ置ク兩記號)  
 第四節 連續點(一ヲ以テ繋キタル語ハ其每分語ヲ一語ニ計算ス  
 略符ヲ以テ分チタル語モ亦其每語ヲ一語ニ計算ス  
 第五節 然レトモ英語又ハ佛語ニ於テ製用スル組成語ニシテ異議アルトキ字典ヲ提出シテ之ヲ證明スルコトヲ得ルモノハ一語ニ書載スルコトヲ得且ツ十五文字又ハ十字迄ハ發信人ノ用ヒタル語數ニ據リテ計算ス  
 第六節 國語ノ用法ニ反シテ語辭ノ聯綴シタルモノ若クハ省略シタルモノハ之ヲ許サス然レトモ府名、國名、家名、地名、大街名、小街名、船名等竝ニ文字ヲ以テ記載セシ數目ハ發信人ニテ之ヲ顯明スル爲メニ用ヒタル語數ニ據リテ計算ス  
 第七節 歐羅巴内ノ方法ヲ用フル通信ニ於テ數字ニテ記シタル數目ハ五箇迄ハ一語ニ計算シ之レニ超ユタルモノハ又一語トス

官報ニ記載シタル文字ノ聯集商標トシテ用ヒタル文字若クハ數字ノ聯集竝ニ號標電報(目第六十二條第二節)ニ記載シタル文字若クハ數字ノ聯集ニモ亦本例ヲ適用ス  
 歐羅巴外ノ方法ヲ用フル通信ニ於テ數字或ハ文字ノ聯集ハ其聯集毎ニ之ヲ三除シ其商ヲ以テ語數幾箇ト定メ殘餘ノモノハ又一語トシテ計算ス  
 第八節 數目ニ用フル分數點讀點及ヒ分數歸除線ハ其一箇ヲ數字一字トシテ計算ス  
 第九節 順序數ヲ示ス爲メニ數字ニ加ヘタル文字ハ各一數字トシテ計算ス  
 第十節 目第九條ノ規定ニ背キ萬國通信上ニ於テ許容セサル文字ノ聯集若クハ語辭ヲ私報ニ記載シタルトキ其聯集文字又ハ語辭ハ本條第七節ノ規定ニ從テ計算ス  
 目第二十一條  
 語數計算法ノ譯解トシテ左ニ凡例ヲ舉グ

|                   | 名處     | 本  | 文  |
|-------------------|--------|----|----|
| Responsabilité    | (十四文字) | 一語 | 一語 |
| Kriegsgeschichten | (十五文字) | 一語 | 一語 |
| Institutionnalité | (二十文字) | 二語 | 二語 |
| A-t-il            | (五文字)  | 一語 | 一語 |
| Aujourd'hui       | (十文字)  | 一語 | 一語 |
| Aujourd'hui       | (十文字)  | 一語 | 一語 |
| C'est-à-dire      | (十文字)  | 一語 | 一語 |
| Aix-la-Chapelle   | (十二文字) | 一語 | 一語 |
| Aix-la-Chapelle   | (十二文字) | 一語 | 一語 |
| New York          | (十文字)  | 一語 | 一語 |





|  |    |    |
|--|----|----|
| 1 r. 30  | 三語 | 三語 |
| 11, 30   | 一語 | 一語 |
| Le 17 <sup>m</sup>   | 二語 | 二語 |
| Le 1539 <sup>m</sup>   | 三語 | 三語 |
| 44/2   | 一語 | 一語 |
| 44/  | 一語 | 一語 |
| 2 1/2  | 一語 | 一語 |
| 2 p. %   | 二語 | 二語 |
| Huit/10  | 二語 | 二語 |
| 5/douzièmes  | 二語 | 二語 |
| 5 bis  | 二語 | 二語 |
| 5 ter  | 二語 | 二語 |
| 54-68  | 二語 | 二語 |
| 30 exposant a°   | 三語 | 三語 |
| 15 multiple par 6°   | 四語 | 四語 |
| * 電信機械ニ於テハ (30) 及 (15 X 6) 等ノ文字ヲ顯ハスヲ得ス故ニ發信人ハ其代リニ (30) exposant a, (15 multiple par 6) 等ト記スベシ |    |    |
| Deux cent trente quatre  | 四語 | 四語 |
| Deuxcenttrente quatre  | 二語 | 二語 |
| Two hundred and thirty four  | 五語 | 五語 |
| Two hundred and thirty four  | 二語 | 二語 |
| Two hundred and thirty four  | 一語 | 一語 |
| E. M.  | 二語 | 二語 |

|   |        |    |    |     |     |
|---|--------|----|----|-----|-----|
| Envythf   | (六文字)  | 二語 | 二語 |     |     |
| hnriz   | (五文字)  | 一語 | 一語 |     |     |
| Ch23  | (商業符號) | 二語 | 二語 |     |     |
| ADVGMY  | (商業符號) | 二語 | 二語 |     |     |
| AK  | (同上)   | 一語 | 一語 |     |     |
| M   | (同上)   | 二語 | 二語 |     |     |
| C.H.F. 45   | (同上)   | 二語 | 二語 |     |     |
| L'affaire est urgente; partir   | (七語並字) | 四語 | 四語 |     |     |
| sans retard*  | (下線二語) | 九語 | 九語 |     |     |
| * 下線ハ之ニ加フハキ語又ハ文言ノ前後ニ傳送スベシ   |        |    |    |     |     |
| Reçu de vos nouvelles indirectes (assez mauvaises) télégraphiez directement.* (括弧ヲ以テ圓ニタル本文)                           |        |    |    | 十語  | 十語  |
| * 此括弧ハ之ヲ以テ圓ニタル文言又ハ語ノ前後ニ傳送スベシ  |        |    |    |     |     |
| Recevois de Pera lettre source sûre ou lisons Kafaire con-version entravée par syndicat banquiers.* (釋例句讀ヲ付メタル字句ヲル本文) |        |    |    | 十五語 | 十五語 |
| * 此釋例句讀ハ之ヲ付シタル字句ノ前後ニ傳送スベシ   |        |    |    |     |     |
| 第六篇 稅則及票金   |        |    |    |     |     |
| 綱第十條  |        |    |    |     |     |
| 同盟各國ニ於テ萬國稅則ヲ制定スルニハ左ノ諸件ヲ標準トスベシ   |        |    |    |     |     |
| 同盟各國孰レノ兩國間ノ局ニテモ同線路ヲ以テ送受スル諸通信ノ稅額ハ彼此同一タルヘシテ   |        |    |    |     |     |

此法ヲ施行スルニ當リ歐羅巴ニ於テハ一國ヲ二大區ニ區分スルヲ得ヘシ  
稅額ハ首尾ノ政府ト中間ノ政府ト協議ノ上各國順次之ヲ定ムヘシ  
同盟各國ノ間ニ送受スル音信ニ適用スヘキ稅額ハ何時タリトモ協議ノ上之ヲ改革増減スルコトヲ  
得ヘシ  
萬國稅則ヲ制定スルニ方テハ「フランク」ヲ以テ貨幣ノ本位ト定ム

目第二十二條

萬國電信ノ傳送ニ用フル稅則ハ左ノ如シ

a 發着兩局ノ首尾稅

b 中間國ノ中繼稅 (之レヲ  
ルトキ)

目第二十三條

料金ハ單純ナル一語ニ付之ヲ定ム但歐羅巴内ノ方法ヲ用フル通信ニ關シテハ各電信主管局ニ  
於テ目第二十八條ノ規定ニ從ヒ自國ニ適スル方法ニ依リ料金を徵收シ又ハ電報一通ニ付一  
「フランク」ヲ超エサル料金を課スルコトヲ得

目第二十四條

第一節 歐羅巴内ノ方法ヲ用フル通信ニ關シテハ各國ニ於テ均一ニシテ基本トナル可キ首尾稅  
及中繼稅ヲ撰定スヘシ

第二節 首尾稅ノ基本ハ「十」サンチムト定ム

第三節 中繼稅ノ基本ハ「八」サンチムト定ム

第四節 白耳義、勃斯尼比耳日合維、勃爾牙利、丁抹希臘、盧森堡、蒙的尼古羅、荷蘭、葡萄牙、羅馬尼  
亞、比亞及「瑞西」ノ諸國ハ右二種ノ稅金基本ヲ減シテ「一」ハ六「サンチム」半「一」ハ四「サンチム」  
ト爲ス

第五節 此他歐羅巴内ノ方法ヲ用フル諸國ニ於テモ亦目第二十七條ノ規定ニ從ヒ其關係線路ノ  
全部若クハ一部ノ首尾稅ヲ減スルハ適宜タルヘシ

第六節 露西亞並ニ土耳其ハ其線路ノ建築修繕ニ關シ異常ノ事由アルカ故ニ前記ノ基本ヨリ高  
額ノ首尾稅及中繼稅ヲ徵收スルハ適宜タルヘシ

第七節 時宜ニ依リ海底線ノ通信ニ特種ノ中繼稅ヲ用フルコトヲ得ヘシ

目第二十五條

第十節 兩國間ニ於テ徵收スヘキ料金ハ孰レノ線路ヲ問ハズ總テ定規ノ基本稅率ヲ用非現在線  
路ノ最モ廉價ナル料金ニ依ルヘシ但前條第七節ノ適用ヨリ生スル特例ハ此限ニアラス

第二節 此細目規則附録ノA號稅表ハ前項ノ規定及電信會議ノ決議ニ基キテ各國間ノ稅率ヲ設  
定シタルモノナリ

目第二十六條

歐羅巴外ノ方法ヲ用フル通信ノ稅率ハ此細目規則附録ノB號稅表ニ依リ定ムルモノトス

目第二十七條

第一節 綱第十條第四項同第十七條ニ基キ特別ノ關係アル各國間ニ於テ決定スヘキ稅額並ニ稅  
則實踐上ノ基礎ヲ變更スルハ現在ノ諸線路間ニ料金低廉ノ競争ヲ起サシムル爲メニ非ス同額  
ノ料金ヲ以テ勉メテ多數ノ線路ヲ開キ衆庶ノ便ニ供セントスルノ趣意ナリ故ニ孰レノ線路ヲ  
經過ストモ首尾兩局間ノ稅額ハ必ス同一ナルヲ期スヘシ

第二節 新課稅ノ制定又ハ稅則ニ關スル總體若クハ一部分ノ變更ハ萬國電信總理局ヨリ之ヲ告  
知シタル後少クモ十五日ヲ經サレハ實行スルコトヲ得ス但其報告ヲ受ケタル日ハ之ヲ算入セ  
ス

目第二十八條

第三節 同盟各國電信主管局ハ海底線不通ヨリ生スヘキ料金ノ變更ハ勉メテ之ヲ避クヘシ

第一節 目第二十二條乃至第二十六條ニ依リ徵集スヘキ料金ニ端數ヲ生スルトキハ發信國貨幣  
其他ノ便宜ヲ計リ此細目規則附録ノ稅表ニ記セル定規ノ一語稅ヲ以テ電報ノ現語數ニ乘算シ  
タル合計ヲ増減シ若クハ其未タ乘算セサル前ニ單ニ定規ノ一語稅ヲ増減シテ整數ト爲スヲ得

第二節 前節ニ依テ施行スル増減ハ逓信局ニテ收入スル料金ニ止マルモノニシテ他ノ關係局ニ配分スヘキ料金ニ及ホスヲ得ズ且増減ヲ行ヒタル十五語電報ノ金額ト次節ノ貨幣相當額ニ照シ稅表ニ基キテ精算シタル十五語ノ正稅額トノ差ヲシテ正稅額ノ十五分ノ一即チ一語ノ正稅額ニ超過セシムヘカラス

第三節 佛貨「フラン」ニ相當スル諸貨幣ノ最大額左ノ如シ

- 日耳曼
  - 〇、八五「マーク」
  - 一〇「セント」
- 亞爾然丁共和國
  - 五〇「ドロフツ」
- 澳地利匈牙利及
  - 一「レウ」
  - 一「クラン」
- 勃斯尼比耳日合維
  - 一〇「セント」
- 勃爾牙利
  - 〇、八〇「クローン」
- 交趾支那
  - 三、八五七五「ミリエム」
- 西班牙殖民地（「キヌバ」「ロソフ」）
  - 一「ペソ」
  - 一「セタ」
- 丁抹
  - 一〇「ペソ」
- 埃及
  - 一〇「ダラクマ」
- 西班牙
  - 〇、六〇「ルビ」
- 英吉利
  - 一「リラ」
- 希臘
  - 二、八〇「銀貨」
- 英領印度
  - 五〇「クロイツ」
- 伊太利
  - 〇、八〇「クローン」
- 日本
  - 一「リラ」
- 孟的尼古羅
- 那威

荷蘭並ニ蘭領印度

- 波斯
  - 〇、五〇「フロリン」
  - 三〇「シヤロス」
  - 一〇〇「レイス」
  - 一「レウ」
- 葡萄牙
  - 〇、二五「ロペル」
- 羅馬尼亞
  - 一「ヂナール」
- 露西亞
  - 一「クローン」
- 希臘比亞
  - 一「アール」
- 暹羅
  - 〇、八〇「クローン」
- 瑞典
  - 四「トリス」
- 土耳其
  - 三「分」

第四節 料金ノ徵收ハ硬貨ノ相場ニテ請求スルヲ得ヘシ

目第二十九條

第一節 目第四十二條ニ基キ發信人ヨリ迂回ノ線路ヲ指定スルトキハ目第二十四條ノ規定ニ從ヒ第二十五條及ヒ第二十六條ニ掲ケタル稅表ニ準シテ計算シタル定規中繼料金ノ全額ヲ納メシムヘシ

第二節 發信人ノ記シタル線路ノ指定ハ局内心得トシテ信紙額表中ニテ之ヲ傳送スヘシ但料金ヲ課セス

第七篇

料金徵收

目第三十條

凡テ通信料ハ前納タルヘシ但左ノ料金ハ此限ニアラス

- 一 追尾電報増料金(目第五十八條第七節)
- 一 別使配達賃(目第六十條第一節)
- 一 號標電報ノ料金(目第六十二條第六節)

右ハ其著信局ニ於テ徵收スヘキモノトス

第二節 萬國電報ノ發信人ハ其納メタル料金を記スル受領證ヲ請求スルノ權アリ

第三節 發信局ニ於テハ右ノ受領證ヲ交付スル爲メ其登記手数料トシテ二十五「サンチム」以內ノ金額ヲ課スルノ權アリ

第四節 著信局ニ於テ料金を徵收スヘキ電報ハ其受信人ヨリ相當ノ金額ヲ納ムルマテハ之ヲ交付セサルモノトス

第五節 若シ又著信局ニテ徵收スヘキ料金をアリテ之ヲ徵收スルコト能ハサルトキハ全ク該局ノ損失トスヘシ然レトモ綱第十七條ニ基キ特別ノ約定ヲ爲セシ國及目第五十六條追尾電報目第六十二條號標電報ノ傳送ノ如キ特別ノ規定アルモノハ此限ニアラス

第六節 然レトモ其著信局ニ於テ徵收スヘキ料金を受信人ヨリ納メサルトキハ之ヲ發信人ヨリ補償セシムル爲メ各電信主管局ニ於テ百方盡力スヘシ而シテ之ヲ追收シタルトキハ其主管局ニテ他ノ關涉アル主管局ノ收入計算中ニ組込ムヘシ

目第三十一條

第一節 誤收シタル不足金又ハ受信人ニテ拒ミ若クハ同人ヲ尋ネ得サル爲メ徵收スルコト能ハサル料金を雜費等ハ發信人ヲシテ之ヲ補償セシムヘシ

第二節 誤收シタル過餘ノ料金を之ヲ還付スヘシ然レトモ發信人ノ貼用シタル電信切手ノ過餘ハ發信人ヨリ請求セザレハ之ヲ還付セス

第八篇 電報傳送

a 字號

目第三十二條

莫爾斯機及器士機ノ通信ニ用フル字號ハ左ノ如シ

A 莫爾斯機字號

字號、長短及間隔

第一 長點一箇ハ短點三箇ニ齊シ

第二 一字ヲ作ル點々ノ間隔ハ一短點ニ齊シ

第三 二字ノ間隔ハ三短點ニ齊シ

第四 二語ノ間隔ハ五短點ニ齊シ

文字

À Á A  
又ハ A

M L K J I H G F É E D C H C B

6 5 4 3 2 1 Z Y X W V U T S R Q P O N N

數字

分數母字間除線 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

分數母字間除線 0 9 8 7

左ノ字號モ亦數字ヲホス爲メニ之ヲ用フレトモ唯甲局ヨリ乙局ニ照校返送スル時ニ限ルモ  
ノトス

終點 小讀 重點

分數母字間除線 句讀點其他記號

〇 〇 〇 〇







本人交付電報

- 一 其局ヲ呼ビ又ハ之ニ答フルニハ空罫ヲナシテN字ヲ數回送ルヘシ
- 一 受送兩機ノ同軌運轉ヲ調整スヘキ爲ニ同記號ヲ累々反復セント欲セハ空罫ヲナシテITノ字ヲ數回送ルヘシ
- 一 電線ノ調整ヲ便易ニセント欲スルトキハ空罫ヲナシテINTノ字ヲ數回送ルヘシ
- 一 「可待」ト示スニハATTヲ送り且大約其待ツヘキ時間ヲ報スヘシ
- 一 誤謬ヲ示スニハ句點ノ記號ナシニN字ヲ二三回送ルヘシ
- 一 傳送ヲ遮止スルニハ何文字ニテモ二三箇ヲ送ルヘシ但其字ト字トノ間隔ヲ廣クスヘシ
- 一 E字ノ強音ノ記號ハ其文意ニ因リ受信機手ニテ墨筆又ハ鉛筆ヲ以テ其語尾(Sノ有無ニ拘ラス)ニ打號スヘシ例ヘハ(aahle, aahet)ノ如シ然ルトキハ受信局ノ注意ヲ喚起スル爲メニ送信機手ニテ電報ノ終尾ニ再日其語ヲ送り而シテ強音ノE字ハ其前後ニ一空罫ヲ以テ離隔スヘシ例ヘハ(aahle, aahet)ノ如シ
- 一 A O Uノ代リニハAE O UEヲ送ルヘシ

b 傳送順序

目第三十三條

- 第一節 電報ノ傳送ハ左ノ順序ニ依ルヘシ
- 第一 官報
- 第二 事務報
- 第三 至急私報
- 第四 通常私報
- 第二節 官報又ハ事務報ノ符號アル電報ヲ萬國電線ニテ受領シタル局ハ之ヲ轉送スルニ其符號ヲ變更スルコトヲ得ス

目第二十四條

- 第一節 既ニ傳送中ノ電報ハ上等ノ電報ニ讓ラス之ヲ送了スヘシ但最大緊急ノ事件ニ關スル場合ハ此限ニアラス
- 第二節 同等ノ電報ナレハ發信局ニ於テハ其受托ノ前後ニ依リ中繼局ニ於テハ其受信ノ順序ニ從ヒテ傳送スヘシ
- 第三節 中繼局ニ於テ中繼電報ト其地方電報トヲ一線路ニテ傳送スルトキハ區別ナク重積シ其受托及受信ノ順序ニ從ヒテ傳送スヘシ
- 第四節 直接ノ兩局間ニ於テハ同等ノ電報ヲ交番ニ送受スヘシ
- 第五節 然リト雖モ通信ノ頻繁ナル地方若クハ別ニ數箇ノ機器ヲ備ヘタル線路ハ傳送ノ迅速ヲ主トスルカ爲メ前節及目第二十三條第一節ニ依ラサルモ可ナリ
- 目第二十五條
- 第一節 莫爾斯機ニ於テハ官報事務報至急私報ノ順序ヲ正シテ互ニ之ヲ送受シ敢テ一列輪番ノ如クスヘカラス
- 第二節 露士機ニ於テハ諸電報ヲ一列ツ、ニ編成シテ輪番ニ之ヲ送受スヘシ
- 送受兩局ノ主長ハ電報ノ種類ヲ論セス其文ノ長短ト事務上ノ都合トヲ酌量シテ一列ノ通數ヲ定ムヘシ然レトモ一列ヲ編成スルニハ十通ニ超ユヘカラス一列信ヲ以テ一傳送ト爲シ最大緊急ノ場合ニ非サレハ決シテ之ヲ遮止スヘカラス然レトモ照校電報ニ關シテハ此電報ヲ以テ一列ノ終尾トナシ受信局ニテハ此照校電報ノ反復ヲ以テ一列ノ起首トナスヘシ
- 二百語以上ノ電報ハ一通ヲ以テ一列ト看做スヘシ
- 第三節 前條第五節ニ掲ケタル場合ニ於テハ此一列輪番傳送ノ法ヲ莫爾斯機ニ適用スルコトヲ得但此場合ニ於テハ二列ノ通數五通ニ超ユルヲ得ス且百語以上ノ電報ハ一通ヲ以テ一列ト看做スヘシ

第四節 送信局ニテ既ニ一列信ヲ送リ了セシ後官報事務報若クハ至急私報ノ依托アリテ受信局ヨリ未タ次番ノ列信ヲ送り始メサル前又ハ照校電報ノ反復ヲ爲サハルトキナレハ更ニ一列信ヲ續送スルノ權アリ

第五節 莫爾斯機ニテハ一通譯士機ニテハ一列信ヲ傳送セシ後其受信局ヨリ交代シテ傳送スヘキ電報ナキトキハ送信局ニテ次番ノ電報ヲ續送スヘシ若シ又兩局共ニ傳送スヘキ電報ナキトキハ相互ニ無(〇)即チ(一)ノ符號ヲ送ルヘシ

c 送受方法

目第三十六條

第一節 凡テ兩局間ノ通信ニハ始ニ呼出ノ符號或ハ其呼フヘキ局ノ符號ヲ送ルヘシ

第二節 被呼局ハ直ニ我局名ヲ符號ニテ答フヘシ但受信スルコト能ハサルトキハ「可待」ノ符號ト其大約待ツヘキ時分ノ數字トヲ併送スヘシ若シ其時間十分以上ニ及ハ、其事由ヲ報知スヘシ

第三節 被呼局ニ於テハ送來ノ電報ノ何處ニ達スルモノタルヲ問ハス之カ受領ヲ拒ムヲ得ス然レトモ其誤謬アルコト判然タルトキハ受信局ヨリ直ニ通常事務報ヲ以テ仔細ニ發信局ニ報知シテ之ヲ改正セシムヘシ

第四節 局内指定、臨時指定又ハ名處若クハ本文ノ一部分ニ不規則アリト雖モ決シテ其電報ヲ拒ミ又ハ通延セシムヘカラス必ス之ヲ受信シ置キ時宜ニヨリテハ目第十七條ニ基キ通常事務報ヲ以テ發信局ヘ報知シテ其改正ヲ請求スヘシ

目第三十七條

第一節 被呼局ヨリ唯其局名ノ符號ヲ以テ答ルノミニテ別ニ他ノ符號ヲ報セスハ直ニ原呼局ヨリ信紙額表中ニ記入シタル局内指定又左ノ順序ニ依リテ傳送スヘシ

a 電報ノ種類即チ官報ナレハS字事務報ナレハA字、至急私報ナレハD字、課金事務報ナレハ

ST字、受信報知ナレハCR字ヲ送ル

b 著信局名ノ冠字

此冠字ハ送信局ト著信局トノ間ニ直接通信ヲ爲ストキニ限り之ヲ用フヘシ發信局ノ名但局名ノ前ニ(De)從ナル語ヲ送ルヘシ(例ハ De Bruxelles 即チ從貌爾遮耳ノ如シ)

左ノ場合ニ於テハ發信局名ニ加フルニ其國名又ハ方位等ヲ以テス可シ

第一 若シ他ニ同名ノ局アルトキ

第二 其局ノ開業ヲ猶未タ萬國電信總理局ヨリ公告セサルトキ

d 電報ノ號數

e 語數

數字電報ナレハ左ノ如クスヘシ

第一 有料語ノ全數

第二 普通語ノ數

第三 時宜ニ依リテハ數字又ハ文字ノ聯集數

f 電報依托ノ日時(數字三箇ヲ以テ日時分ヲ示シ且午前(AM)若クハ午後(PM)ヲモ併送スヘシ)

電報ヲ傳送スルニ當リ午前(AM)午後(PM)並ニ日附ノ判然タルトキハ此報告ヲ送ラサルモ可ナリ

g 線路ノ指定但發信人ニテ其信紙中ニ之ヲ記載セントキニ限ル(目第二十九條第二節及目第四十二條第二節)

h 發信人ニ於テ有料語數中ニ記入スルニ及ハサル臨時指定即チ二重電報(目第四十四條第六節)數收ス可キ料金(目第五十六條第八節)宛名ノ數(目第五十八條第四節)號標電報(目第六十八條)

十二條第五節及六節

信紙額表傳送ノ例

- 第一例 送信局(Bruxelles)ト著信局(Lille)トノ間ニ直接通信ヲ爲ストキ  
I(著信局名)ノ冠字(De)從(Grand)發信局名(43)電報ノ號數(17)語數(12)日(3)時(18)分(5)午後(Ordonnais) Bordenaux  
aus Lille.
- 第二例 送信局(Bruxelles)ト著信局(Bordeaux)トノ間ニ直接通信ヲ爲サノルトキ  
de(從)Bruxelles(發信局名)115(電報ノ號數)29(語數)8(日)4(時)15(分)H(午前)Ordonnais Bordenaux.
- 第二節 前節ニ揭示シタル額表ヲ送りシ後ハ發信人ノ臨時指定、受信人ノ名處、電報ノ本文、發信人ノ氏名ヲ逐次傳送スヘシ
- 第三節 其爾斯機ヲ以テ傳送スル電報ニハ其額表、名處、本文、記名ノ段落毎ニ「——」ノ記號ヲ以テ區畫シ全文傳送ノ後音信終尾「——」ノ符號ヲ送ルヘシ
- 第四節 器士機ヲ以テ傳送スル電報ニハ其額表、名處、本文、記名ノ段落毎ニ二重連續點(=)ヲ以テ區畫シ全文ノ終リニハ十字符(十)ヲ送ルヘシ
- 第五節 臨時指定ノ符號ヲ傳送スルニハ其爾斯機ナレハ其前後ニ「——」ヲ送り器士機ナレハ其前後ニ(=)ヲ送ルヘシ但括弧ハ傳送スルヲ要セス
- 第六節 送信技手ニ於テ送信中自ラ誤認セシコトヲ覺知セハ直ニ「誤認」ノ符號ヲ送り而シテ既ニ正シク送りタル文章ノ末語ヨリ反復シテ其以下ノ文章ヲ正シク傳送スヘシ
- 第七節 受信技手ニ於テ受信申キ語ト認ムルトキハ亦「誤認」ノ符號ヲ送りテ送信ヲ遮止シ而シテ既ニ曉解受信シタル文章ノ末語ヲ返送シ且問標ヲ送ルヘシ然ルトキ送信技手ハ務メテ字號ヲ分明ニシテ其末語以下ノ文章ヲ續送スヘシ
- 第八節 各主管局ノ協辦ヲ以テ定メタル場合ヲ除クノ外電報傳送ノ際其語辭ヲ略送シ或ハ文體ヲ變更スルコトヲ嚴禁ス凡テ電報ハ發信人ノ信紙ニ據リ其記載シタル如ク傳送スヘシ

故ニ信紙ニ記載シタル句讀點、連續點、略符及ヒ新章符ヲモ傳送スヘシ但歐羅巴外ノ線路ニ於テハ必スシモ此等ノ記號ヲ送ルヲ要セス

d 照較受信及局用反復

目第三十八條

第二節 電報ノ傳送ヲ終リタルトキハ受信技手ニ於テ直ニ一信報又ハ一列信毎ニ其受領シタル現語數ト額表ニテ示メサレタル語數トヲ照較シ而シテ受信報知ヲ送ルヘシ

第二節 右ノ受信報知ヲ送ルニハ一信報ニ付テハ先ツR字ヲ送り次キニ受信ノ號數ヲ送り(例ハ「R36」ノ如シ)一列信ニ付テハ先ツR字ヲ送り次キニ受信ノ通數、一列信ノ初號數及最終號數ヲ續送スヘシ(例ハ「R5 157980」ノ如シ)

目第三十九條

第一節 語數ニ差違アルトキハ受信技手ヨリ之ヲ送信技手ニ報スヘシ送信技手ハ之ヲ照査シ額表ニ示シタル語數ニ誤アラハ語字ノ實數ヲ示シ「是也」ト答フヘシ(例ハ「二八是也」ト云フカ如シ)然ラサレハ額表ニ示シタル語數ハ相違ナシト答ヘ毎語及毎數目ノ首字ヲ反復シテ其誤處ニ至リ之ヲ訂正スヘシ(例ハ「Jorsh」ノ如シ)

第二節 傳送中ノ誤認ニ非スシテ語數ニ差違アルコトヲ認ムルトキハ單ニ著信局ヨリ發信局ヘ照會シテ其語數ヲ訂正スルヲ得ヘシ若シ兩局同意ニ至ラサルトキハ發信局ニ於テ算定セシ語數ヲ以テ真正トナスヘシ

目第四十條

第一節 通信技手ハ自己ノ責任ヲ擔保スル爲ニ電報ノ全文或ハ一部分ヲ受信方ヨリ反復スルカ又ハ送信方ヨリ其反復ヲ請求スルコトヲ得官報及爲替電報ニ付テハ必ス凡テノ數目、固有名詞及ヒ時宜ニ依リ疑ハシキ語辭ヲモ反復スヘシ其爾斯機ニ於テハ受信方ニテ一通ノ終リニ之ヲ反復シ器士機ニ於テハ送信方ニテ一列信ノ終リニ之ヲ反復スヘシ莫爾斯機ノ送信方ヨリ誤謬ヲ訂正シ來ラハ受信方ハ其語辭或ハ數字ヲ反復スヘシ若シ受信方ニテ此第二ノ反復ヲ怠ラ



違ナキトキハ則チ送達證ニ受領ノ印ヲ捺シテ直ニ之ヲ其發遣セシ局ヘ返却シ且線路全通スルニ至ラハ通常事務報ヲ以テ更ニ右ノ受證ヲ傳送スヘシ其例左ノ如シ

三月三十日附第何號送達證ニ記載セル六十三通ノ電報ヲ受領セリ

第三節 先ニ通敵ノ報知ナク唯郵便ノミヲ以テ送來ル通敵ヲ受領シタルトキモ亦第二節ノ規則ニ從フヘシ

第四節 電報ヲ遞送シタル旨報知アリト雖モ若シ到着セサルトキハ直ニ未達ノ趣ヲ報知スヘシ然ルトキハ發信局ニ於テ其時宜ヲ計リ郵便若クハ其他ノ方法ヲ以テ之ヲ再送スルカ又ハ後至ノ通信ニ妨ナクシハ之ヲ電送スヘシ

第五節 既ニ郵便ヲ以テ遞送セシ電報ヲ更ニ電送スルトキハ左例ニ準シ通常事務報ヲ以テ受領局ヘ報知スヘシ

伯林 從 古以蓋士 第何號 電報ヲ二重ニ送ル

第六節 已ニ送達シタル電報ヲ更ニ傳送スルトキハ其二重ニ送ル旨ヲ額表中ニ記シ局内心得トシテ報知スヘシ其例左ノ如シ

第何番線ニテ(又ハ)何地ヲ經テ(又ハ)郵便ニテ何日何局ヘ已ニ送達セシ二重電報

第七節 第四十三條第二節ノ場合ニ於テ受領人ヘ直ニ電報ヲ遞送スルトキハ線路不通ノ事由ヲモ併セ報スヘシ

g 通信停止及検査

目第四十五條

第一節 凡テ發信人ハ其本人ニ相違ナキ證據ヲ示シ發送ノ時機ニ後レサレハ其依托シタル電報ヲ止ムルコトヲ得ヘシ

第二節 未ダ電報ヲ發送セサル前ニ發信人ヨリ其電報ノ返還又ハ停止ヲ乞フトキハ發信局ハ其手数料トシテ定額五十「サンチム」ヲ減シテ其料金ヲ還付スヘシ

第三節 既ニ電報ノ傳送ヲ終リシ後ナレハ發信人ハ目第十八條ノ規定ニ從テ發スル課金事務報ヲ以テスルニ非サレハ之レカ取消ヲ乞フコトヲ得ス此事務報ハ成ルヘク中繼局々々ニ發送シ其原信ニ追及スルニ至テ止ムヘシ且發信人ヨリ返信料ヲ納ムルトキハ原信ヲ取消シタル局ヨリ發信局ヘ宛テ其處分方ヲ報知スヘシ若シ返信料ヲ納メサルモノハ先拂郵便ヲ以テ此報知ヲ爲スヘシ原信竝取消電報トモ其未ダ經過セサル線路ニ係ル料金ハ發信局ヨリ之ヲ發信人ニ還付スヘシ但郵便ヲ以テ報知ヲ爲シタルトキハ其郵便稅ヲ控除スヘシ

目第四十六條

第一節 綱第七條ニ依リ國安ニ害アリ又ハ國法秩序若クハ風儀ニ悖ル私報ト見認メ其傳送ヲ停止セント欲セハ速ニ其電報初發國ノ電信主管局ニ報知シテ之ヲ實行スルコトヲ得ヘシ

第二節 首尾又ハ中繼ノ局々々ニ於テ此停止ヲ行フモノトス但之ニ不服ノ者ハ其主管局ニ出訴スルヲ得ト雖モ該局ノ判決ニ對シテハ控訴スルヲ得ス

第三節 官報ハ必ス之ヲ傳送スヘシ何レノ電信局ニ於テモ之ヲ停止スルノ權ナシ

第九篇 電報配達

目第四十七條

第一節 凡テ電報ハ其名處ニ記載ノ如ク受領人ノ住所ニ配達シ又ハ留置トシテ郵便局若クハ電信局ニ送達スヘシ電話通信法ヲ用フル國ニ於テハ其電信主管局ノ定ムル所ニ從ヒ電話機ヲ以テ之ヲ受領人ノ住所ニ送ルコトヲ得ヘシ

第二節 凡テ電報ハ如何ナル場合ヲ問ハス受領シタル順序及其等級ニ從テ其名處ヘ配達スヘシ

第三節 電信局ノ配達管内ニ在ル住所ヘ宛タル電報ハ直ニ其名處ヘ配達スヘシ

第四節 郵便局ニ留置ク可キ電報ハ著信局ヨリ直ニ郵便局ニ送達ス可シ若シ其電報ニ郵便ノ指定アルトキハ發信人並ニ受領人ニハ別ニ課金セス電信局ニ於テ前拂郵便ト爲シテ之ヲ郵便ニ附スヘシ若シ書留郵便或ハ(PR)ノ指定アルトキハ之レヲ書留郵便ト爲シ發信局ニ於テ五十「サ

ヲ以テスルニ非サレハ之レカ取消ヲ乞フコトヲ得ス此事務報ハ成ルヘク中繼局々々ニ發送シ其原信ニ追及スルニ至テ止ムヘシ且發信人ヨリ返信料ヲ納ムルトキハ原信ヲ取消シタル局ヨリ發信局ヘ宛テ其處分方ヲ報知スヘシ若シ返信料ヲ納メサルモノハ先拂郵便ヲ以テ此報知ヲ爲スヘシ原信竝取消電報トモ其未ダ經過セサル線路ニ係ル料金ハ發信局ヨリ之ヲ發信人ニ還付スヘシ但郵便ヲ以テ報知ヲ爲シタルトキハ其郵便稅ヲ控除スヘシ

目第四十六條

第一節 綱第七條ニ依リ國安ニ害アリ又ハ國法秩序若クハ風儀ニ悖ル私報ト見認メ其傳送ヲ停止セント欲セハ速ニ其電報初發國ノ電信主管局ニ報知シテ之ヲ實行スルコトヲ得ヘシ

第二節 首尾又ハ中繼ノ局々々ニ於テ此停止ヲ行フモノトス但之ニ不服ノ者ハ其主管局ニ出訴スルヲ得ト雖モ該局ノ判決ニ對シテハ控訴スルヲ得ス

第三節 官報ハ必ス之ヲ傳送スヘシ何レノ電信局ニ於テモ之ヲ停止スルノ權ナシ

第九篇 電報配達

目第四十七條

第一節 凡テ電報ハ其名處ニ記載ノ如ク受領人ノ住所ニ配達シ又ハ留置トシテ郵便局若クハ電信局ニ送達スヘシ電話通信法ヲ用フル國ニ於テハ其電信主管局ノ定ムル所ニ從ヒ電話機ヲ以テ之ヲ受領人ノ住所ニ送ルコトヲ得ヘシ

第二節 凡テ電報ハ如何ナル場合ヲ問ハス受領シタル順序及其等級ニ從テ其名處ヘ配達スヘシ

第三節 電信局ノ配達管内ニ在ル住所ヘ宛タル電報ハ直ニ其名處ヘ配達スヘシ

第四節 郵便局ニ留置ク可キ電報ハ著信局ヨリ直ニ郵便局ニ送達ス可シ若シ其電報ニ郵便ノ指定アルトキハ發信人並ニ受領人ニハ別ニ課金セス電信局ニ於テ前拂郵便ト爲シテ之ヲ郵便ニ附スヘシ若シ書留郵便或ハ(PR)ノ指定アルトキハ之レヲ書留郵便ト爲シ發信局ニ於テ五十「サ

ンチーニ超ニサル料金ヲ課シテ其所得ト爲シ而シテ著信局ニ於テ其郵税ヲ支辨シテ之レ  
カ取扱ヲ爲スヘシ

第五節 港内ニ碇泊スヘキ船艦ノ乗客ヘ宛タル電報ハ成ルヘク其上陸セサル前ニ之ヲ配達スヘ  
シ

目第四十八條

第一節 受信人ノ住所ニ配達スル電報ハ本人或ハ家屬ノ丁壯者、雇人、寄寓者又ハ雇主若クハ邸  
宅旅館ノ門掌ニ交付シテ可ナリ但受信人ヨリ書面ヲ以テ特ニ受取ルヘキ人名ヲ指定シ置クカ  
又ハ受信人ヨリ名處ノ前ニ本人交付又ハ(MP)ト記載シテ其電報ノ本人交付ヲ請フトキハ此限  
ニアラス

發信人ハ名處ノ前ニ無絨配達又ハ(RO)ト記載シテ其電報ノ無絨配達ヲ請フトコトヲ得ヘシ但本  
人交付及無絨配達ヲ許サスト公告スル電信主管局ニ於テハ必スシモ之ヲ施行スルヲ要セス

第二節 右二類ノ請求ハ著信局ニ於テ之ヲ封皮ニ轉寫シテ驅使ニ其要旨ヲ知ラシムヘシ

第三節 凡ソ電報ヲ其受信人ニ配達スルコト能ハサルトキハ著信局ニ於テハ左ノ文例ニ依リ通  
常事務報ヲ以テ述ニ其事由ヲ著信局ヘ報知スヘシ

第四節 發信局ニ於テハ右名處ニ(記スヘシ)拒メリ、受信人知レス、到着セス、出發セリ等  
テ直ニ之レヲ訂正スヘシ

第五節 第何號某ヨリ(日附)何某宛(訂正ノ名處)最初ノ電報ハ誤送ナリ  
時宜ニ依リ此事務報ヲ以テ左ノ如キ誤謬ヲモ訂正スヘシ

第六節 著信地ニ追尾傳送スヘシ、電報取消スヘシ等

第七節 名處ニ誤謬アラサルトキハ發信局ハ成ヘク其不達ノ事由ヲ發信人ニ報知スヘシ若シ發  
信人ニ於テ名處ヲ訂正補全シ或ハ其確實ナルコトヲ示サント欲セハ料金ヲ納メテ更ニ課金事

務報ノ文例ニ準シタル電報ヲ發スヘシ  
第六節 電報不達ノ報知ヲ爲シタル後ニ其電報ヲ配達シタルトキハ著信局ヨリ左ノ文例ニ依リ  
更ニ通常事務報ヲ發スヘシ

第七節 第何號某ヨリ(日附)何某宛(名處ニ記スヘシ)配達セリ前報知取消スヘシ  
等ノ肩賃ヲ徵收スルコト能ハサルトキハ其發信人ヨリ之ヲ補償セシムル爲メニ通常事務報ニ  
テ右金額ヲ發信局ヘ報知スヘシ若シ之ヲ發信人ヨリ徵收シ得サルトキハ著信局ノ損失トスヘ  
シ

第八節 受信家ノ門戸閉鎖シテアルカ或ハ其受信人ニ代リテ受領スヘキ人アラサレハ驅使ハ其  
住所ニ其事由ヲ書キ殘シテ電報ヲ持歸リ置キ受信人ノ來求スルトキ之ヲ交付スヘシ

第九節 郵便局又ハ電信局ニ宛タル留置電報ハ受信人又ハ其委任ヲ受ケタル代人ニ限り之ヲ交  
付スヘシ

第十節 此條ノ第八第九ノ兩節ニ掲ケタル電報ヲ六週間ノ終ニ至ルマテ請求スル者ナキトキハ  
沒書トシテ之ヲ扯裂ス

第十篇 特格電報

網第九條

同盟各國ハ音信ノ傳送及ヒ配達ヲ一層保全且便捷ニスル爲メ同盟國電信各本局ニ於テ協議裁決シ  
タル種々ノ方法ヲ以テ各出狀人ニ利益ヲ與フルコトヲ務ムヘシ此各國中孰レニテモ音信ノ傳送及  
ヒ配達ニツキ別殊ノ方法ヲ用アルコトヲ定メ之ヲ報知スルトキハ其成法ヲ以テ亦各出狀人ニ利益  
ヲ與フルコトヲ務ムヘシ

a 至急私報

目第四十九條

第一節 私報ノ發行人ハ其名處ノ前ニ至急ノ語又ハ(D)ノ符號ヲ書シ同線路ニ於ケル同語數ノ通常電報料ノ三倍ヲ納ムレハ他ノ私報ニ先テ之ヲ傳送及配達セシムルコトヲ得ヘシ

第二節 至急私報ハ他ノ私報ヨリ先ニ傳送スルコトヲ得ト雖モ其至急私報中ノ先後ハ第三十四條第二節ノ規則ニ依ルヘシ

第三節 前兩節ノ規則ハ其管内ノ線路ヲ經過スル電報ノ全部或ハ一部ヲ限り之ヲ施行シカタク旨ヲ報告シタル主管局ニ於テハ之ヲ採用セサルモ亦可ナリ

第四節 至急私報ノ發送ノ應承ス主管局ハ其電報ノ初發國ト著信國トノ間ニ於テ該局アル領地ヲ直通ニ横過シタル線又ハ中繼局ニ於テ之ヲ傳送セシムルコトヲ許スヘシ但此通信ニ課ス可キ中繼稅モ他ノ沿路ノ如ク之ヲ三倍ニスヘシ

b 返信料前納

目第五十條

第一節 凡テ發行人ハ其受信人ニ望ム所ノ返信ノ料金ヲ前納スルコトヲ得ヘシ然レトモ此前納料金ハ同一ノ線路ヲ經過スル電報二十語ノ料金額ニ超ユ可カラス但目第十八條ニ依リ既送電報ノ反復ヲ請求スルモノハ此限ニアラス

第二節 發行人ニ於テ返信料ヲ前納セントスルトキハ願信紙中宛名ノ前ニ返信料前納又ハ(RP)ヲ記シ外ニ其返信語數ヲ示シ本條第一節ニ云ヘル定限内ノ料金ヲ納ムヘシ

若シ發行人ニ於テ語數ヲ示サハルトキハ同一ノ線路ヲ經過スル通常電報十語ノ料金ヲ收ムヘシ

第三節 至急返信料ヲ前納セント欲スル發行人ハ名處ノ前ニ至急返信料前納又ハRPDノ指定ヲ記入シ原信ト同一ノ線路ニ於ケル至急電報拾語ノ料金ヲ納ムヘシ但發行人ハ返信料前納ノ語數ヲ加記シ本條第一節ニ定メタル制限内ノ料金額ヲ前納スルヲ得

目第五十一條

第一節 著信局ニ於テハ受信人別ニ現金ヲ出サシテ何レノ地方ニ宛ルモ前納料金内ハ隨意ニ電報ヲ送り得ヘキ證券ヲ受信人ニ與フヘシ

第二節 此證券ヲ以テ發送スル電報ノ料金若シ此證券ノ價格ニ超ユルトキハ其料金ノ超過ハ現金ヲ以テ拂フヘシ之レニ反スル場合ハ歐洲内方法ニ於テハ證券價格ト實際トノ差ヲ著信局ノ所有ニ屬シ(目第七十五條第二節)歐洲外方法ニ於テハ此差額ヲ發行人ニ拂戻スヘシ

第三節 此證券ハ交付セシヨリ六週日間費用スヘキモノニシテ此期限ヲ過クレハ廢紙トナシ其前納金額ハ證券ヲ交付セシ局ノ所有トナスヘシ

第四節 受信人ニテ證券ヲ費用セサルトキハ歐洲内方法ニ於テハ前納返信料ノ金額ヲ還付セス歐洲外方法ニ於テハ之レヲ還付スルモノトス

歐洲外方法ニ於テ料金ノ還付ヲ請求セント欲セハ證券交付ノ日ヨリ三箇月ノ期限内ニ受信人ヨリ其交付局ニ證券ヲ差出シ發行人ニ償還セントトヲ請求スル書面ヲ添フヘシ

右還付方ハ還付手續ニ依リテ取扱フヘシ

第五節 返信ノ爲メニ交付スル證券ヲ受信人ニテ辭スルトキハ著信局ヨリ通常事務報ヲ以テ直ニ其旨ヲ發行人ニ報知スヘシ此事務報ハ返信ノ代リト爲スヘシ

第六節 此事務報ハ左ノ文例ニ依リ私報ト看做シテ傳送スヘシ

何月何日第何號ヘノ返信  
證券ヲ受信人辭セリ

第七節 第四十八條第三節ニ掲ケタル事故ヨリシテ其電報到着ノ際速ニ之ヲ交付スルコト能ハサルトキハ同節ニ舉ケタル文例ニ依リ通常事務報ヲ發スヘシ

第八節 前節ノ如ク尋問セシモ其正誤ナク且受信人ヲ百方探索スルモ其効無キトキハ八日目若クハ其以前ニ於テ左ノ文例ニ依リ通常事務報ヲ發スヘシ

何月何日何某ヨリ第何號電報ノ返信

受信人知レス 未著 出發等

目第五十二條

第一節 前二箇條ノ規則ハ之ヲ施行シカタク旨ヲ報知シタル歐洲外ノ電信主管局ニ於テハ之ヲ適用セサルモ亦可ナリ  
第二節 右主管局トノ關係ニ於テハ返信料トシテ納メタル金額ハ其著信局ノ收入計算中ニ組込ムヘシ其著信局ニ於テハ受信人ノ爲メ便宜ナル方法ヲ設ケ之ヲ取扱フヘシ  
c 照校電報

目第五十三條

第一節 如何ナル電報ヲ問ハス發信人ハ其電報ノ照校ヲ乞フコトヲ得ヘシ然ルトキハ名處ノ前ニ照校又ハ(TC)ノ指定ヲ記入スヘシ  
第二節 暗號ノ數字又ハ文字ヲ以テ記シタル官報ハ無稅ニテ照校スヘシ(目第十六條第六節)  
第三節 何種ノ機械ヲ用ユルヲ問ハス電報全部ノ反復ヲ要スル照校ハ其電報ノ傳送終リタルトキ直ニ受信局ヨリ照校スヘシ  
第四節 照校料金ハ同線路ヲ以テ送ル同語數ノ通常電報料四分ノ一ナル金額ニ齊シ  
d 受信報知

目第五十四條

第一節 凡テ電報ノ發信人ハ其電報配達ノ後直ニ受信人ノ受領セシ月日時ヲ電報ニテ報知セラレンコトヲ乞フコトヲ得ヘシ然ルトキハ名處ノ前ニ受信報知又ハ(CR)ノ指定ヲ記入スヘシ  
第二節 受信報知ノ手數料ハ同線路ヲ以テ送ル通常電報十語ノ料金ニ齊シ  
目第五十五條

第一節 受信報知ハ(CR)ノ符號ヲ以テ表示シ左ノ文例ニ依リテ傳送スヘシ  
(CR)巴里 從 伯耳奴 第何號電報ハ(受信人ノ名處)ハ(月日時分)配達セリ

第二節 受信報知ハ之ヲ報知スル局ヨリ別番號ヲ記シ私報ニ先ダチテ傳送スヘシ  
第三節 目第四十八條第三節ニ掲ケタル事故アレハ同節文例ノ通常事務報ヲ先ニ送り而シテ後電報ヲ配達スルコトヲ得ハ直ニ受信報知ヲ送ルヘシ若シ之ヲ配達スルコトヲ得ステテ二十四時間ヲ過クルトキハ其事由ヲ報知スヘシ  
e 追尾電報

目第五十六條

第一節 凡テ發信人ハ電報ノ名處前ニ追尾又ハ(FS)ノ指定ヲ記入シ著信局ニ於テ其電報ヲシテ歐羅巴内ノ方法ヲ用フル國ニ限リ受信人ノ所在ヘ追尾傳送セシメントコトヲ乞ヒ得ヘシ  
第二節 追尾スヘキ電報ノ發信人ハ如何ナル場合ニ於テモ其電報ノ返信料ヲ前納スルヲ得ヘシ  
第三節 電報ニ追尾又ハ(FS)ノ指定ノミヲ記シテ其他ノ指定ナキトキハ著信局ニ於テ其電報ニ記載シタル名處ニ送り而シテ受信人ノ住所ニテ直ニ新名處ヲ指定スルトキハ直ニ其新名處ニ再送スヘシ但其新名處ハ電報中第一名處ノ後ニ記入スヘシ  
第四節 若シ新名處ヲ指定セサルトキハ四十八條第三節及第七節ノ規則ニ依リ其電報ヲ第一著信局ニ留置クヘシ若シ又右電報ヲ新名處ニ再送スルモ第二著信局ニテ受信人ヲ尋ネ得サルトキハ其局ニ留置クヘシ  
第五節 追尾又ハ(FS)ノ指定ヲ記シ且其名處ヲ逐書シタル電報ハ其受信人ニ達スルマテ之ヲ傳送スヘシ若シ空シク終尾ノ局ニ及ヒタルトキハ不得止該局ニテ前節ニ依リ之ヲ取扱フヘシ  
第六節 追尾電報ノ本文ハ素ヨリ一語モ省略セス逐局之ヲ傳送シ其局ニ著スル毎ニ之ヲ受信人ニ交付スヘキ送達紙ニ書寫スヘシ但額表中ニハ最終ノ局迄逐局發信地名ヲ記シ著信地名トシテ尙ホ電報ヲ送ルヘキ首位ノ名處(目第三十七條第一節b項)ノ外記入スルヲ要セス  
第七節 追尾電報ノ發信人ニ課スルニハ唯第一著信局マテノ萬國料金ヲ以テシ其逐書シタル名處ハ總テ有料語數ニ加算スヘシ然レトモ第一著局以外ニ係ル補足通信料ハ受信人ヨリ徵收スヘキモノトス



第三節ノ場合ニ於テハ初發電報ノ現語數ニ新名處ノ語數ヲ併加シ其合語數ヲ以テ再送電報ノ料金ト定ムヘシ

第八節 第一著信局以外ノ通信料ハ受信人ヨリ徵收スヘキモノナルヲ以テ逐處電信局ニテハ額表中ニ之ヲ記載シ無料ニテ告知スヘシ

第九節 此告知ハ左ノ文例ニ據リ記載スヘシ

徵收スヘキ料金ハ幾法幾參

若シ著信局所屬ノ國境内ニテ更ニ順次追尾スルトキ其受信人ヨリ徵收スヘキ料金ハ逐局傳送毎ニ其國內地ノ稅則ニ從テ之ヲ計算シ若シ其國境ヲ超エテ之ヲ追尾スル時ノ追收料金ハ逐國傳送毎ニ萬國電報ト見做シテ之ヲ課スヘシ但此逐國ノ料金ハ送信スル國ト受信スル國トノ間毎ニ定メタル稅則ニ從テ之ヲ計算スヘシ

第十節 若シ著信局ニテ追尾ノ料金ヲ徵收シ得サルトキハ該局ヲ管理スル主管局ヨリ他ノ主管局ヘ分配セシ料金ヲ還付證券ニテ取戻スヘシ

目第五十七條

第一節 歐洲内ノ方法ニ於テハ何人ニテモ必要ノ證明ヲ爲シ其平常配達ヲ受クル電信局ヘ豫テ新名處ヲ指定シ置キ同人ニ宛タル電報到着次第前條ノ規定ニ從ヒ其新名處ヘ再達セラレンコトヲ請フコトヲ得ヘシ

第二節 此再送ノ請求ハ必ス書面ヲ以テスヘシ

第三節 各電信局ニ於テハ何タル指定無キ通常電報ト雖トモ其受信人ノ住所ヨリ追尾再送ヲ請ハ、其願意ニ從ヒ之ヲ取扱フヘシ

第四節 受信人ノ請求ニ依リ再送シタル電報ヲ配達シ能ハサルトキハ左ノ文例ニ依リ通常事務報ヲ以テ發信局ヘ通知スヘシ

何月何日何某宛電報ハ受信人ノ請求ニ依リ、、、、、(新名處)ヘ再送セシカ拒絕、受信人知レス、未著出發等

第五節

著信局ニ於テ受信人又ハ受信人ノ住所ノ請求ニヨリ其局ノ屬スル國ノ外ヘ電報ヲ再送スルトキ其電報返信料前納ノモノナレハ其指定(RP)ヲ削除シテ返信證券ヲ交付シ其金額ヲ課金事務報ニ充テ以テ再送ノ旨ヲ發信局ヘ報スヘシ

f 連名電報

目第五十八條

第一節 連名電報ハ同地ニ住スル人数名同一ノ電信局配達區域内ニ於テハ各地ニ住スル人数名又ハ郵便、別便配達、騎使ニ依リ電報ヲ再送スルト否トニ拘ハラズ同地ニ於ケル同名ノ數家ヘ宛ツルコトヲ得

第二節 連名電報ニ臨時指定ヲ記載スルトキハ其名處ハ目第十二條第二節ノ規定ニ從テ記スヘシ

第三節 連名電報ハ一箇ノ電報ト見做シ其料金ヲ課スヘシ但甲一通ノ外ハ隱寫料トシテ一通毎ニ一百語以内ハ五十「サンチーム」ヲ課シ之ニ過クレハ又一百語毎ニ五十「サンチーム」ヲ増課スヘシ百語未滿ト雖トモ亦同シ

右課金方ハ電報本文、記名及ヒ名處ヲ合加シタル全語數ニ依リテ計算シ別々ニ各通ニツキ隱寫料ヲ徵收スルモノトス

第四節 連名電報ヲ傳送スルトキハ額表中ニ其名處ノ數ヲ記入スヘシ

第五節 本條第一節ニ云ヘル連名電報ハ發信人ヨリ送達紙各通ニ受信人ノ連名ヲ記スルコトヲ請求スルニ非ラサレハ電報一通毎ニ一名ノミヲ記スルモノトス但此請求ハ名處ノ前ニ左ノ如ク記シ且ツ有料語數ニ算入スヘシ

總名處ヲ告知スヘシ

g 萬國電線以外ノ地方ヘ宛タル電報

目第五十九條

第一節 萬國電線ヲ以テ接続セサル地方ヘノ電報ハ發信人ノ依頼ニ從テ郵便、別使又ハ騎使ヲ以テ其名處ノ地ヘ送達スルコトヲ得ヘシ然レトモ此別使又ハ騎使ノ配達ヲ乞フコトハ網第九條ニ基キ電報ヲ送ルニ郵便ヨリ一層迅速ナル方法ヲ設備スル旨ヲ他ノ國々ヘ豫テ告知シタル國ヘ向ヒテ發遣スル者ニ限ルヘシ

第二節 電線沿路外ヘ配達スヘキ電報ノ名處ハ左ノ文例ノ如ク記スヘシ  
郵便(又ハ別使若クハ騎使)ミユルレル氏(名)ヨハレニス(街)伯林(局地)ト結末ニ著信局ノ名ヲ記スヘシ

目第六十條

第一節 郵便ヨリ迅速ナル方法ヲ設ケタル國々ニ於テ此方法ヲ以テ電信局以外ヘ送達スル入費ハ其受信人ヨリ之ヲ徵收スヘシ

第二節 然リト雖モ受信報知ヲ要スル電報ナレハ發信局ニテ豫定シタル持運賃ノ金額ヲ發信人ヨリ預ケ置クコトヲ得ヘシ右預收金額ハ其現費ヲ受信報知ニ記載シテ其過不足ヲ精算スヘシ

第三節 歐洲外ノ線路ニアル著信局以外ヘノ配達ニハ本條ノ規則ヲ用ヒス總テ此配達入費ハ其主管局ヨリ豫テ決定報知シタル金額ニ依リ發信局ニ於テ之ヲ收入スヘシ故ニ受信報知並ニ現費計算ヲモ要セサルモノトス

第四節 右第二節及第三節ニ云ヘル場合ニ於テハ別使賃前納又ハ(XP)騎使賃前納又ハ(EP)ヲ名處ノ前ニ記入シ其賃金ヲ納ムヘシ但第三節ニ云ヘルモノヲ除クノ外ハ(CR)ノ符號ヲ現ニ記入セサルモ前ニ記載セル符號(XP)又ハ(EP)アルトキハ必ス受信報知ノ手續ヲ爲スモノトス

目第六十一條

第一節 著信局ハ左ノ場合ニ於テ郵便ヲ用フルノ權アリ  
a 遞送ノ方法ヲ電報中ニ指定セサルトキ  
b 設如ヒ其指定アリト雖モ網第九條ニ基キ其著信國ニテ設備シタル方法ニ背キシトキ

c 曾テ配達セシトキ受信人ニテ持運賃ヲ拒絶セシニ依リ爾後同人ヘ宛タル電報ヲ送達スルトキ

第二節 著信局ハ左ノ場合ニ於テハ郵便ヲ用フルノ義務アルモノトス

a 發信人(目第五十九條第一節)又ハ受信人(目第五十七條)ヨリ明カニ請求シタルトキ

b 著信局ニ於テ一層迅速ナル方法ノ設ケナキトキ

第三節 郵便ヲ以テ配達スヘキ各種ノ電報ハ其發信人又ハ受信人ヲシテ別ニ納金セシメス著信局ヨリ郵便ニ付スヘシ但本條第一節C項第四節第五節及第六節ノ場合ハ此限ニアラス

第四節 書留書狀トシテ郵便ニ付スヘキ電報ハ發信局ニ於テ五十「サンチーム」ニ過キサル金額ヲ課シ其所得ト爲スヘシ

第五節 海上ヲ經テ郵送スヘキ電報ハ發信局ニ於テ若干ノ金額ヲ徵收スヘシ但其郵稅額ハ此ノ如キ遞送ヲ爲ストコロノ主管局ニテ豫テ之ヲ決定シ他ノ主管局ヘ報知シ置クヘシ

第六節 國境近傍ニアル電信局ヘ傳送シ其レヨリ郵便ヲ以テ隣國ヘ配達スヘキ電報ハ先拂郵便トシテ郵便函ヘ投シ其稅ハ受信人ヨリ納メシムヘシ

第七節 然レトモ若シ國境ニ跨越スル電線上ニ於テ大障礙ノ起リシトキハ目第四十三條ニ依リ取扱フヘシ

第八節 書留書狀トシテ配達スヘキ電報ヲ直ニ書留ニスルコト能ハサルトキハ郵便出發ノ時機ヲ失ハサルシメンカ爲ニ先ツ通常書狀トシテ郵便ニ托シ更ニ至急ニ其寫ヲ書留ニシテ再送スヘシ

n 號標電報

目第六十二條

第一節 號標電報トハ同盟諸國ノ海岸ニ於テ建設シタル又ハ建設スヘキ號標燈ヲ媒介トシテ海上ニアル船艦ト通信スルモノヲ云フ

第二節 號標電報ハ號標電ノ設ケアリテ之ヲ取扱フ國ノ國語若クハ萬國通商符號ヲ以テ書スヘシ但該符號ヲ以テスルトキハ之ヲ數字電報ト看做スヘシ

第三節 海上船艦ヘノ電報宛名ニハ通常指定ノ外ニ其國名及船名若クハ公定番號ヲモ示スヘシ

第四節 海上ノ船艦ヨリ官報ノ號標電報ヲ標送スルトキハ特別ナル指令徽章ヲ以テ官印ニ代用シ且ツ其艦名ヲモ送ルヘシ

第五節 凡テ號標電報ハ額表中ニ號標ノ符號ヲ示スヘシ

第六節 號標電報ヲ媒介トシテ海上ノ船艦ト交通スル電報ノ料金ハ一通ニツキ一コフラント定ム此課金ノ外ニ電機通信ニ係ル定例ノ料金ヲ加課スヘシ而シテ此金額ハ海上ノ船艦ニ宛タル電報ナレハ發信人ヨリ納メシメ又海上ノ船艦ヨリ出セル電報ナレハ受信人ヨリ納メシムヘシ(第三十條第一節)然ルトキハ額表中左ノ如ク表示スヘシ

徵收スヘキ料金發法幾參

若シ此料金ヲ徵收シ能ハサルトキハ還付證券ヲ以テ著信局ヘ右金額ヲ償フヘシ

目第六十三條

第一節 海上船艦ヨリ發スル電報ハ其船艦ノ請求ニ依リテハ萬國通商符號ヲ以テ之ヲ其名處ニ傳送ス

第二節 右ノ請求ナキトキハ號標電ノ吏員ニテ通常ノ語ニ譯シ之ヲ其名處ニ傳送ス

第三節 號標電ヨリ船艦ニ送ルヘキ電報ヲ三十日內(依托ノ日ヲ算入セス)ニ送ルコト能ハサルトキハ之ヲ沒書ト看做スヘシ

第四節 號標電報ヲ宛タル船艦二十八日內ニ入港セサルトキハ二十九日朝ニ方テ號標電ヨリ事務報ヲ以テ其事由ヲ發信人ニ報知スヘシ然ルトキハ發信人ハ更ニ陸線通常電報十語ノ料金ヲ納メ猶復タ三十日間右電報ヲ保留セラレンコトヲ請求スルノ權アリ而シテ其日限ニ至レハ又此ノ如クスルヲ得ヘシ若シ此請求ナキトキハ三十日ニ至テ其電報ヲ沒書トナスヘシ

i 總則

目第六十四條

前條々ニ掲ケタル件々ヲ實施スルニ當テハ至急電報、返信料前納、照校電報、受信報知追尾電報、連名電報及電線沿路外ニ送達スヘキ諸電報等公衆ノ爲ニ設ケタル便利ノ方法ヲ一箇ノ電報中ニ併用スルコトヲ得ヘシ然レトモ目第六十二條ニ掲ケタル規則ニ戻ルヘカラス

第十一篇 爲替電報

目第六十五條

爲替電報ノ振出方本文ノ記載方拂渡方ハ萬國間ノ特別條約ヲ以テ規定スヘシ

目第六十六條

爲替電報ノ傳送ヲ許ス所ノ局々間ニ於テハ他ノ電報ト同一ノ規則ニ從テ之ヲ傳送スヘシ但目第四十條第一節ノ規則ハ此限ニアラス

第十二篇 電話通信

目第六十七條

第一節 同盟各國ノ電信主管局ハ需用ノ多少ニ應シ特線ヲ架設シ又ハ在來ノ線路ヲ用ヒテ萬國電話ノ通信ヲ組織スルコトヲ得

第二節 各電信主管局間ニ於テ特約アルモノ、外此線路ハ總テ電話中央局ニ連接セシメ其中繼ヲ以テ公衆用開設ノ電話局、私宅、商店、工場等ノ間ニ通信スルコトヲ得

第三節 器械ノ選擇、事務ノ詳細ハ各電信主管ニ於テ協議シ電話線ニ係ル料金ハ衆議一決ノ上之ヲ定ムヘシ

第四節 課金方並ニ通信ノ時限ハ談話三分時間ヲ以テ單位ト定ム

第五節 電話線ヲ使用スルトキハ請求ノ順序ニ從フヘシ而シテ二談話時間前又ハ其時間中他ノ請求者無キ時ニ非サレハ同通信者ハ二談話時間以上續テ使用スルコトヲ許サス

第十三篇 信紙貯藏

目第六十八條

第一節 電報ノ原書及之ニ關係スル書類ハ各電信主管局ニ於テ其日ヨリ少クモ六箇月間之ヲ貯藏シ秘シテ漏レサルヤウ方注意スヘシ

第二節 歐洲外ノ方法ヲ用ヒタル電報紙類ハ貯藏期限ヲ延シ十二箇月間トス

目第六十九條

第一節 電報ノ原書或ハ謄寫ハ發信人又ハ受信人ニ於テ其本八タルヲ證明スルカ又ハ其正當ナル代人ニ非サレハ之ヲ視セシムルヲ得ス

第二節 發信人受信人又ハ其委任ヲ受ケタル代人ハ原信ノ文言ニ相違ナキ電信局ノ證印アル謄寫ヲ請求スルノ權アリ然レトモ著信局ニ於テ其貯藏アラハ受信人ニ交付シタル正寫ヲ與フヘシ但電報紙類貯藏ノ期限ヲ過クレハ一切之ヲ許サス

第三節 本條ニ依リ交付スル電報ハ百語以下ナレハ其謄寫毎ニ五十「サンチーム」ノ手数料ヲ課シ百語ヲ超エタルトキハ復タ百語ニ至ルマテ五十「サンチーム」ヲ課ス

第四節 發信人受信人又ハ其委任ヲ受ケタル代人ヨリ請求スル電報ハ之ヲ搜索スルニ必要ナル事項ヲ詳細ニ申陳セサレハ各電信主管局ニ於テ右電報ノ原書及謄寫ヲ一覽セシメ又ハ其謄寫ヲ交付スルノ義務ナキモノトス

第十四篇 料金還付

目第七十條

第一節 左ノ料金ハ之ヲ徵收シタル電信主管局ヨリ發信人ニ還付スヘシ但既ニ之ヲ他ノ主管局ニ分配シタルトキハ其局ヨリ之ヲ取戻スヘシ

a 凡テ電信取扱上ノ過失ニ依テ甚シク遲延ニ追ヒ又ハ其名處ニ達セサル電報ノ全料

e b 電報傳送ノ際誤謬ヲ生シテ其用辨ヲ關キタルコト判然ナル照校電報ノ全料 歐羅巴外ノ方法ヲ用フル通信ニ於テ通常電報傳送中取扱上ノ過失ニ依リテ還漏シタル語數ノ全料但受信人ニ於テ其還漏ヲ察知シ目第十八條ニ依リ之レヲ校正セシメタルトキハ本節ノ規則ヲ適用セサルモノトス

第二節 海底線不通ノ際ニ於テ發信人ハ其電報ノ經過セザリシ線路ニ係ル料金ノ還付ヲ請求スルノ權アリ但時宜ニ依リ他ノ方便ヲ以テ電報ヲ送達セシトキハ其入費ヲ差引キ還付スヘシ

第三節 料金ノ還付ヲ爲サハル不同盟國ノ線路上ヲ經過セシ電報ニハ前兩節ノ規則ヲ適用セサルモノトス

第四節 前諸節ノ還付規則ハ遺漏遲延又ハ誤謬アリタル電報ノ料金並ニ雜費(配送等)及目第十八條ニ掲ケタル電報ノ料金ニ限リ之ヲ適用スルモノトス故ニ右遺漏遲延又ハ誤謬アルカ爲ニ不得止往復ヲナシタル電報又ハ之カ爲メ不用トナリタル電報ノ料金ハ之ヲ還付セス

目第七十一條

第一節 凡テ料金還付ノ請求ハ其電報ノ日附ヨリ二箇月以内ヲ限リトシ之ヲ過クレハ一切受理セサルモノトス

歐羅巴外ノ方法ヲ用フル電報ハ此時限ヲ延シテ六箇月間トス

第二節 此請求ハ必ス左ノ證據書類ヲ添テ發信地ノ主管局ヘ申立ヘシ 不達ノ節ハ著信局又ハ受信人ヨリ事由ヲ筆記シタル書面 誤謬遲延ノ節ハ受信人ニ交與シタル電報ノ原書 然レトモ受信人ヨリ著信地ノ主管局ニ右ノ請求ヲナスモ妨ケナシ此場合ニ於テハ該局ニテ之ヲ受理スヘキヤ又ハ之ヲ發信地ノ主管局ニ申立シムヘキヤヲ判決スヘシ

第三節 關係ノ各主管局ニ於テ其請求ノ件ヲ至當ト認ムルトキハ發信地ノ主管局ニ於テ料金ヲ還付スヘシ

第四節 發信人電報ヲ委託シタル後其國ヲ去リ他國ニ住居シタルトキハ該國ノ電信主管局ヲ經

明治二十四年六月 告示 逓信省第四百四十二號

二四五

テ右請求ヲ發信地ノ主管局ヘ申立ルコトヲ得ヘシ然ルトキハ時宜ニ依リ其發信人ノ當時現在  
 セル國ノ主管局ヘ委託シ其金額ヲ還付セシムヘシ  
 第五節 主管局ヨリ主管局ヲ經テ照會スル料金還付ノ請求ニハ其關係アル諸書類ノ原書正寫又  
 ハ摘要ヲ添ヘテ送達スヘシ而シテ此等ノ文書若シ佛語又ハ關係ノ局局ニ於テ通曉シ得ヘキ國  
 語ニ非サレハ其概略ヲ佛語ヲ以テ副記スヘシ  
 第六節 左ノ場合ニ於テハ此請求ヲ主管局ヨリ主管局ヘ通達セス但甚シキ遲延ノ場合ハ此ノ限  
 ニアラス

a 申立ノ事件料金ノ還付ヲ聽許シ難キトキ  
 b 作文國語曉解シ易キ書法名處及電線路外ヘ送達ノ指定等公衆ノ爲メニ定メタル諸般  
 ノ例規ニ從ハス凡テ發信人ニ於テ其誤謬ヲ甘受シタル電報ニ關スルトキ

目第七十二條

第一節 凡テ電報不達ノ節ハ其取扱上ノ誤謬粗漏等ヨリ遂ニ受信人ニ達スルコトヲ妨ケタル線  
 路ノ主管局ニテ其料金ヲ辨償還付スヘシ  
 第二節 電報ノ不達ニ關スル請求書ヲ却下スルトキハ受信人ノ受領證或ハ著信地主管局ノ證明  
 書ヲ以テ其電報ノ既ニ達シタルコトヲ確證スヘシ  
 第三節 電報遲延ノ節ハ之ヲ郵便ニテ遞送スルヨリモ速ニ其名處ニ達セサルトキ又ハ歐洲内ノ  
 電報ナレハ遲延時間四十八時(二晝夜)歐洲外ノ電報ナレハ百四十四時(六晝夜)ヲ過クルトキ  
 ハ其料金ノ還付ヲ乞フコトヲ得ヘシ  
 第四節 料金ノ還付ハ各遲延ヲ釀シタル主管局ニテ其時間ニ應シ之ヲ分賦辨償スヘシ  
 第五節 照校電報ニ誤謬ヲ生シタルトキハ發信地ノ主管局ニ於テ其電報ノ用辨ヲ闕クニ至ラシ  
 メタル誤謬ヲ摘示シ而シテ其辨償ノ割合ハ關係主管局各自ノ線上ニテ釀成シタル誤謬ノ多寡  
 ニ從ヒ之ヲ計算シ其脫語剩語ヲ一誤謬ト爲スヘシ  
 第六節 一タヒ過誤ヲ生セシ後チ數局ノ線上ヲ連續經過シタル語ハ其始メニ誤リシ所ノ主管局

ヨリ之ヲ辨償スヘシ

第七節

凡テ誤謬脫語ノ過失ハ左ノ事項ニ依テ辨償スヘシ  
 a 受信局ニ於テ電報報數ヲ能ク驗明セサルヨリシテ語辭數字又ハ文字ノ脱落剩餘アルト  
 キ照校電報ノ反復ヲ忘却シ又ハ之ヲ丁寧反復セサルトキ及器機運轉ノ不順ヲ修整セ  
 サルトキハ送受兩局ヨリ辨償スヘシ  
 b 送信局ヨリ誤謬ノ校正ヲナスト雖受信局ニ於テ其校正ヲ怠ルトキ及局用反復ヲ受了ス  
 ト雖トモ前受ノ電報ヲ校正セサルトキハ受信局ヨリ辨償スヘシ  
 c 此他ノ誤謬失錯ハ總テ送信局ヨリ辨償スヘシ  
 第八節 一通以上ノ謬本ヲ作りタル電報中其幾通分カノ料金ヲ辨償スルトキハ其原書ト謬本ト  
 ヲ併セタル通數ヲ以テ收入料金全額ヲ除算シ其商ヲ得テ一通ニ對スル還付ノ金額ト定ム  
 第九節 證據書類ノ絶無又ハ不足ナルヨリシテ誤謬脫語ノ過失ニ任スヘキ局ヲ指定シ難キトキ  
 ハ其證據ヲ有セサル主管局ヨリ料金ヲ辨償スヘシ  
 第十節 目第七十一條第一節ニ定メタル期限内ニ料金還付ノ請求ヲ受ケ而シテ其請求書ヲ遲達  
 セシニ目第六十八條信紙貯藏ノ期限内ニ其結局ノ報知ナキトキハ其請求書ヲ受理シタル主管  
 局ニ於テ右穿鑿ヲ遲滞セシ主管局ノ爲ニ假ニ其請求ノ料金ヲ辨償スヘシ  
 第十一節 歐羅巴外ノ方法ヲ用フル通信ニ關シテハ其電報經過ノ線路ニ在ル各政府電信主管局  
 又ハ私立電信會社ニ於テ各自ノ割合ニ應シ其料金ヲ辨償スヘシ  
 目第七十三條

第十五篇

萬國會計

綱第十二條

同盟各國ハ互ニ其收税ノ計算ヲ爲スヘシ

目第七十四條

第一節 萬國會計ヲナスニハ「法」ヲ以テ貨幣ノ本位ト定ム

第二節 凡テ國々ヨリ隣國ヘノ電報ハ其國境ヨリ配達地ニ至ルノ料金を計算シ其全額ヲ隣國ノ收入計算中ニ組込ムヘシ

第三節 追尾電報又ハ海上ヨリ受領シタル號標電報ニ付テモ亦前節ニ同シ但受信人ヨリ徵收スヘキモノトシテ信紙額表中ニ指定シタル金額ハ(第五十六條第七節乃至第九節並第六十二條第六節ヲ參考スヘシ)其日又ハ其月ノ總計算中ヨリ差引クヘシ

第四節 首尾税ハ首尾兩國ト中國諸國トノ間ニ於テ豫メ協議セハ唯ダ首尾兩局ノ間ニテ直ニ精算スルモ妨ケナシ

第五節 料金の計算ハ協議ノ上ナレハ電報ノ語數及雜費ノ有無ヲ問ハス其國境上ヲ經過スル電報ノ通數ニ依リテ計算スルモ妨ケナシ此場合ニ於テハ隣國若クハ其次ノ各國トノ分配ハ豫メ議定シタル概算法ヲ以テ決算スヘシ(第七十五條第三節ヲ參考スヘシ)

第六節 第八十七條ヲ實施スルトキ不同盟國ノ主管局ト隣接スル同盟國主管局ハ他ノ同盟主管局ト右不同盟國主管局トノ間ニ於テ電報ノ媒介ヲ爲シ且ツ其會計ヲ調理スルコトヲ負擔ス

目第七十五條

第一節 膠寫ノ手数料又ハ線路外ヘノ送達料ハ其膠寫ヲ配達シ又ハ其送達ヲナシタル國ノ收入ニ屬スルモノトス

第二節 返信料前納及受信報知ノ爲メ徵收シタル金額ハ之レヲ精算法又ハ前條ノ第五節ニ云ヘル概算法ヲ以テ計算シ其著信局ノ收入計算中ニ組込ミ置クヘシ然レトモ第五十一條第二節第

三節第四節ニ依テ返信料ヲ還付セシメトキハ其金額ヲ還付シタル著信地主管局ノ次月々計ノ時ニ差引ヘシ

第三節 返信及受信報知ハ傳送上及會計上トモ總テ通常電報ト同様ノ取扱タルヘシ

第四節 歐羅巴内ノ方法ヲ用フル通信ニシテ税則ヲ定メタル線路ニ由ラサルトキハ既ニ受領シタル中繼稅ハ迂回線ニ入タル場所ヨリ定則ノ中繼稅ノ比例ニ準シテ計算シ之ヲ其關係ノ主管局ニ配當スヘキモノトス但迂回ヲ爲サシメタル主管局及關係ノ海底線モ亦其配當ヲ受クヘシ

第五節 隣接セル國々ノ間ニ於テ迂回線路ヲ假用シテ通信スルトキハ特別ノ約定アルモノヲ除クノ外發信局ニ於テ定則ノ中繼稅ヲ變更スルコトヲ得然レトモ此電報ニ關スル首尾稅ハ隣接セル兩國ノ主管局間ニ於テ精算スヘシ但特別ノ約定ニ依リ之ヲ發信局ノ收入ニ歸スルハ此限ニアラス

第六節 歐羅巴外ノ方法ヲ用フル通信ニ於テハ何種ノ電報ニテモ凡テ其料金を定メタル線路ニ由ラスニテ他路ヨリ傳送セシメカ爲メ料金不足ヲ生スルトキハ其線路ヲ變換シタル主管局ニ於テ之ヲ辨償スヘシ但此變換ノ起因ヲ他ノ主管局ニ歸スヘキトキハ其局ヨリ追收スヘシ

目第七十六條

第一節 精算法ヲ以テ又ハ時宜ニ依リ目第七十四條第五節ニ云ヘル概算法ヲ以テ各團間ニ分配スヘキ料金を關涉ノ各團間ニ定メタル稅則ニ依リ正當ニ收入シタルモノヲ以テ其本額トスヘシ但誤算ニテ受ケタル過不足ノ金額ハ之ヲ算入セス

第二節 發信局ヨリ報知シタル語數ヲ以テ料金收入ノ基本トス但傳送上誤謬アルカ爲メ發信局ト受信局ト協議ノ上其語數ヲ改正セシトキハ此限ニアラス

第三節 概算法ヲ定ムルニハ先ツ各電報料ト雜費トヲ區分シテ毎月其合數ヲ計算シ置クヘシ(第七十五條ヲ參考スヘシ)而シテ全月中ニ其關涉スル國ノ爲メニ計算シタル料金ノ總額ヲ其全月中ノ電報通數ニテ除算シ其商ヲ以テ爾後分配スヘキ平均額トシ之ヲ改定スル迄ハ此額ヲ以テ概算法ノ標準トナスヘシ但異常ノ場合ヲ除クノ外一箇年内ニ之ヲ改定スヘカラス

目第七十七條

第一節 相互會計ノ整理ハ毎月末ニ於テスヘシ  
 第二節 過不足ノ差引計算ハ毎季末ニ於テスヘシ  
 第三節 雙方差引計算ノ上一方ハ辨償スヘキ不足ハ金貨「法」ノ現金ニテ其債主國ニ交付スヘシ  
 但之ニ關係スル兩電信主管局ニ於テ他ノ貨幣ヲ用フヘキ約定アルモノハ此限ニアラス  
 第四節 金額ノ回送費ハ其受取ルヘキ主管局ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

目第七十八條

第一節 月次計算簿ノ交換ハ必ス其月ヨリ三箇月内ニ於テスヘシ  
 第二節 右計算簿ノ検査ハ其到來ノ日ヨリ六箇月内ニ於テスヘシ但ハ最寬ナル期限トス  
 右期限内ニ彼局ヨリ正誤ノ報知ナキトキハ我局ノ計算上ニ差違ナキモノト看做スヘシ  
 右ノ規定ハ彼局ヨリ送リタル計算ヲ我局ニテ検査スルニモ亦適用スヘシ  
 第三節 兩本局ノ計算簿ヲ整理シ其合計ニ少差違アリト雖トモ雙方差引計算ノ上一方ヨリ辨償  
 スヘキ現金額ニ就テ其差額百分ノ一ニ超過セサレハ之ヲ改算セシテ可ナリ  
 假令已ニ改算ニ著手スト雖トモ雙方照査ノ上其差額百分ノ一ニ超過セサルコトヲ認ルトキハ  
 之ヲ中止スヘシ

目第七十九條

此差引計算ハ月次計算簿ノ改正ニ拘ハラズ之ヲ爲スヘシ  
 第五節 歐羅巴内ノ方法ヲ用フル電報ニ關シ會計上ノ要求アルトモ六箇月ヲ過クレハ之ニ應セ  
 ス其歐羅巴外ノ方法ヲ用フル電報ニ關スルモノハ十二箇月ヲ過クレハ亦之ニ同シ  
 第十六篇  
 各國特裁  
 網第十七條

目第七十九條

網第十七條ニ定メタル特裁施行ノ件々ハ殊ニ左ノ如シ

會計整理

- 地位ニ應シ並ニ時勢ニ隨テ特殊ノ機器又ハ文字ノ選用
- 電信切手法ノ施行
- 電報ニテ郵便爲替ノ傳送
- 電報著處ニテ料金ノ徵收
- 著處ニ於テ電報交付ノ方法
- 常務ニ妨ケナキヤウ特ニ時間及規則ヲ定メ低稅ヲ以テ新聞印行用ノ電報ヲ傳送シ又ハ  
 豫約法ニ依リ特線ヲ貸與スルノ權利
- 氣象學其他公益事件ニ關スル事務報ヲ無料ニスルノ權

第十七篇

萬國總理局及交互通信

網第十四條

細目規則中ニ云フ同盟國中一政府ノ下ニ置ク萬國事務局ハ萬國電信ニ關スル諸般ノ報告ヲ集メ之  
 ヲ整理出版シ稅則並ニ細目規則ノ改正ヲ請求スル者アラハ其書ヲ同盟各本局ニ回達シ而シテ衆議  
 一致シタル改正ノ件々ヲ廣告シ且萬國電信ノ裨益トナルヘキ諸項ヲ池勉熟慮シテ之ヲ執行スル等  
 ノ任ヲ受クルモノトス  
 此事務局ニ於テ庶務ヲ調理スル爲メ要スル費用ハ同盟各本局ヨリ支給スヘシ

目第八十條

第一節 網第十四條ニ定メタル事務局ヲ稱シテ萬國電信總理局ト云フ

第二節 瑞西聯邦ノ電信主管局ヲシテ目第八十一條乃至八十三條ニ定メタル條項ニ依リ萬國總  
理局組織ノ事ニ任セシム

目第八十一條

第一節 萬國總理局ノ費用トシテ諸主管局ヨリ集金スル金額ハ毎年佛貨十萬法ニ超ユヘカラス  
且萬國會議ノ入費ハ此定額ノ外タルヘシ然レトモ同盟各國衆議ノ上ハ將來此定額ヲ增加スル  
コトヲ得ヘシ

第二節 綱第十四條ニ基キ萬國總理局ノ事務ヲ監督スル主管局ハ費用ヲ監査シ經費ヲ豫辨シ且  
諸主管局ヘ報告スヘキ其年度ノ會計決算書ヲ整理スヘシ

第三節 此費用ヲ差等分賦スル爲メニ同盟各國ヲ六等ニ區分シ左ノ比例ニ依リテ若干株ヲ各國  
ニ分賦ス

第一等 二十五株

第二等 二十株

第三等 十五株

第四等 十株

第五等 五株

第六等 三株

第四節 右各等ノ定株ニ其等級ノ國數ヲ乘シ之ヲ合加セシモノヲ以テ全株數トナシ此全株數ヲ  
以テ總理局費用ノ總額ヲ除シ其商ヲ以テ一株ノ金額トス

第五節 總理局ノ費用ヲ分擔セシムル爲メ前節ニ記載シタル六等ニ因テ諸國ヲ區分スルコト左  
ノ如シ

第一等 日耳曼 亞爾然丁共和國 伯西爾 佛蘭西 大貌列顛 英領印度 以太利

露西亞 土耳其 露西亞 澳大利 西班牙 匈牙利

第三等 白耳義 蘭領印度 那威 荷蘭 羅馬尼亞 瑞典

第四等 南濠斯太利亞 喜望峯 西班牙殖民地 キュバ、プエリッピン 群島及ボルトリコ

丁抹 埃及 日本 新南威爾斯 新西蘭 瑞西 多斯馬尼亞 維多利亞

第五等 勃斯尼 比耳日合維 勃爾牙利 交趾支那 希臘 葡萄牙 塞內牙爾 錫兒比亞

暹羅 突尼斯 第六等 盧森堡 蒙的尼古羅 那多兒 波斯

目第八十二條

第一節 同盟各國ノ電信主管局ハ其內國電信事務上ニ關スル諸報告ヲ互ニ寄贈シ且電信事務上  
改良ノ事アル毎ニ互ニ報知スヘシ

第二節 右等ノ諸報知ハ凡テ萬國總理局ヲ經テ贈答スルヲ例規トス

第三節 諸主管局ハ其內國並ニ萬國電信稅則ノ制定改正、萬國通信ニ關スル新線ノ設置舊線ノ  
廢停、電信局ノ開閉及勤務時間ノ伸縮等ノ諸報告ヲ前拂郵便ヲ以テ萬國總理局ニ通達スヘシ

且右ノ事項ニ付其主管局ヨリ發布シタル印刷本或ハ謄本ハ其發布ノ當日又ハ遅クトモ其翌月  
ノ初日ニハ必ス萬國總理局ヘ送付スヘシ

第四節 諸主管局ハ萬國通信ニ關スル線路ノ不通及全通ノ報告ヲ凡テ電報ヲ以テ總理局ニ通達  
スヘシ

第五節 諸主管局ハ其通信ノ員數景況、線路ノ位置、機器及局ノ箇數等ヲ統計表ニ詳載シ毎年始  
月ニハ必ス到達スルヤウ之ヲ萬國總理局ニ送付スヘシ但此統計表ハ豫テ萬國總理局ヨリ迴達  
シタル式紙ニ照準シテ之ヲ編製スヘシ

第六節 諸主管局ハ其各種ノ發行書類ヲ二部ツ、萬國總理局ヘ寄贈スヘシ

第七節 諸主管局ハ電信事務ノ各科ニ關シ經驗セシ事項アラハ之ヲ萬國總理局ニ報告スヘシ

目第八十三條

第一節 萬國總理局ハ稅則ヲ編次出版シ凡テ之ニ關スル事件ハ遅延ナク之ヲ諸主管局ヘ報告ス



ヘシ就中前條ノ第三節ニ掲載シタル件ハ勿論トス  
 諸報告ノ至急ヲ要スルモノハ萬國總理局ヨリ電報ヲ以テ之ヲ傳送スヘシ就中前條第四節ニ掲  
 載シタル件ハ勿論トス但シ稅則ノ改定ニ關スル諸報告ハ其改定ノ件々ヲ直ニ此附録ノ稅表中  
 ニ加記シ得ヘキ文體ヲ用フヘシ

第二節 萬國總理局ハ總集統計表ヲ編製スヘシ

第三節 萬國總理局ハ各主管局ヨリ報知スル諸書類ニ基キ佛語ヲ以テ電信雜誌ヲ刊行スヘシ

第四節 萬國總理局ハ公用ノ電信線路圖ヲ調製刊行シ且定時毎ニ之ヲ改製スヘシ

第五節 萬國總理局ハ萬國電信ニ關スル必要ノ諸報告ヲ同盟國諸主管局ヨリ依頼スルトキハ何  
 時ニテモ之ヲ報スヘキコトヲ務ムヘシ

第六節 萬國總理局ニテ刊行スル諸書類ハ目第八十一條ニ於テ差等分賦セシ株數ニ比例シテ同  
 盟各國ノ諸主管局ヘ之ヲ分與スヘシ若シ定數外ノ需求アルトキハ其實價ヲ納メシムヘシ私立  
 電信會社ヨリ之ヲ需求スルトキモ亦同シ

第七節 右定數外ノ需求ハ豫テ其員數ヲ定メ總理局ニ通知シ置クヘシ若シ其増減ヲ要スルトキ  
 ハ更ニ印刷用意ノ爲メ數日前ニ之ヲ總理局ヘ通知スヘシ

第八節 萬國總理局ハ綱第十條及第十三條ニ云ヘル稅則及細目規則ノ改定ヲ一主管局若クハ數  
 主管局ヨリ請フトキハ其請求書ヲ迴達シ其關係アル各主管局ノ許諾ヲ得テ(時宜ニ依テハ問  
 接ニ關係アル主管局ノ同意ヲ得タル後)遲延ナク其採用セラレタル改定ノ件々ヲ告知スヘ  
 シ且稅則及規則ノ改定ハ如何ナル手續ヲ以テ之ヲ行フトモ必ス告知スヘキモノトス但規則改  
 定ノ告知ハ少クモ二箇月、稅則改定ノ告知ハ少クモ十五日ヲ經サレハ之ヲ實施スヘカラス若  
 シ異論アルトキハ彼此ノ協議ヲ經テ實施スヘシ

第九節 同盟各主管局ノ同意ヲ得テ決定スヘキ事件アリテ之ヲ回議ニ付シタル後定期四箇月内  
 ニ其答書ノ到着スルヤウ差出サハル局ハ之ニ同意シタル者ト看做スヘシ

第十節 萬國總理局ハ電信會議ノ諸事ヲ準備シ且修正書議事錄其他ノ書類ヲ謄寫印刷編輯分配  
 スル等ノ事ヲ擔任ス

第十一節 萬國總理局長ハ會議ニ臨席シ發言スルヲ得ト雖トモ表決ノ數ニ預ルコトヲ得ス

第十二節 萬國總理局ハ其處理セシ事項ニ就キ年報ヲ作り之ヲ同盟各國ノ電信主管局ニ送付ス

第十三節 萬國總理局ノ處事ハ綱第十五條ニ掲ケタル會議ニ提出シテ議員ノ檢定ヲ受クヘシ

第十四節 電信會議

第十五節 綱第十五條ニ云フ稅則及第十三條ニ云フ細目規則ハ此條約書ニ附屬シタル者ニテ條約書ト同一ノ効

ヲ有シ且同時ニ施行スヘキモノトス

右稅則及細目規則ハ會議ノ上更改スルヲ得ヘシ其際ニ於テハ從來參與セシ各國皆之ニ會同スル

ヲ得ヘシ

此會議ハ定期毎ニ之ヲ開キ而シテ毎回其次會ノ期日並ニ場所ヲ定ムルモノトス

第十六節 綱第十六條

此會議ハ同盟各國ノ諸本局ヨリ派出スル理事官ヲ以テ成立スヘキモノトス

會議ニ於テハ各本局ノ理事官數名アリトモ決議ノトキハ一人ヲ以テ算ス但一政府下ノ諸局ヨリシ

テ各此會議ニ列セント欲スルトキハ外國交際上ノ手續ヲ經テ期日前ニ其會議ヲ開クヘキ國ノ政府

ヘ照會シ各別ノ理事官ヲ派出セシムルトキハ此限ニアラス

右會議ニ於テ改正スル件々ト雖モ同盟國各政府ノ批准ヲ經タル後ニ非サレハ施行スヘカラス

第十七節 綱第十八條

第一節 綱第十五條第三項ニ掲ケタル會議ノ定期ハ同盟各國中ニ於テ其進期ヲ請フモノ十箇月

ニ及ヘハ此會期ヲ早クスルヲ得ヘシ

第十九節

加入條約及不同盟國トノ通信

網第十八條

方今此條約ニ與ラサル國ト雖トモ其請求ニ依リテハ之ニ加入スルコトヲ許スヘシ  
右加入ハ會同ヲ開キシ國ヘ外國交際上ノ手續ヲ經テ照會スヘシ然ルトキハ該國ヨリ其他諸國ヘ之  
ヲ報知スヘキモノトス  
加入セシ上ハ當然ニ此條約ニテ定メタル諸件ヲ行ヒ且衆益ヲ共ニスヘキモノトス

網第十九條

此條約ニ加入セサル國々或ハ私立會社トノ通信ハ此條約第十三條ニ云フ所ノ規則ニ基キ急進歩ノ  
通信方法ヲ以テ衆利ヲ圖リ之ヲ取扱フヘシ

目第八十五條

第一節 網第十八條ニ依リ同盟ニ加入セント欲スト雖トモ同盟各國ニ準シテ其稅則ヲ相當ニス  
ルコトヲ欲セサルモノハ各國皆此條約稅則ノ利益ヲ彼ト共ニスルコトヲ拒却スヘシ  
第二節 歐羅巴外ニテ所有スル敷線路ヲ以テ此條約ニ加入シタル諸主管局ハ其線路ノ歐羅巴内  
外孰レノ方法ニ隨フヤヲ確定陳述スヘシ  
此陳述ハ稅表中ニ錄示スルガ又ハ萬國總理局ヲ經テ其事由ヲ報告スヘシ

目第八十六條

第一節 私立電信會社ニシテ一箇又ハ數箇ノ同盟國內ニテ電信事務ヲ取扱フ者萬國通信ヲ取扱  
フトキハ其通信ニ關シテハ會社ノ線ト雖トモ之ヲ合セテ該國電信線ヲ完成セルモノト看做ス  
ヘシ

第二節

其他ノ私立電信會社ニテモ此條約並細目規則中ノ諸條件ヲ遵守スヘキコトニ同意シ且  
其營業ヲ許シタル國ヨリ其旨ヲ報告スルトキハ此條約中ノ諸利益ヲ共ニスルヲ得ヘシ但此報  
告ハ網第十八條第二項ニ依リテ取扱フヘシ

第三節

同盟國ノ二三箇國ニ跨リテ電線ヲ架設シタル會社ハ必ス同盟ニ加入セシムヘシ假令之

ニ加入セサルモ

其架線ヲ特許セシ國ニテ特別ニ記載シタル免許狀中ノ條件ヲ以テ萬國電信ノ  
諸規則ヲ遵守セシムヘシ

第四節

私立電信會社ニシテ其同盟國ニ其線路ト自己ノ海底線トヲ連接スルノ特許ヲ乞フトキ  
ハ該國認可ノ料金額ニ隨フヘキ者ヲ承諾スルニ非サレハ其特許ヲ得ルコト能ハサルモノトス  
若シ此料金又ハ取扱規則中ノ改正ヲ行ハント欲セハ伯耳奴萬國總理局ヨリ之ヲ報告シ目第八  
十三條第八節ニ記スル期限ノ後ニ非サレハ之ヲ實行スルコトヲ得ス但右會社ハ條約ヲ締結セ  
サル他ノ會社ニ對シテハ其便宜ヲ計リ本節ニ準據スルニ及ハス

第五節

前條ノ第一節ニ掲ケタル拒却ノ權ハ前節ノ私立電信會社ニモ之ヲ適用ス  
目第八十七條

第一節

此條約ニ加入セサル國又ハ此細目規則中ノ諸條項ヲ遵守セサル會社ト通信ヲ開クトモ  
其電報ノ經過スル線路ノ内同盟國ノ領地ニ係ル部分ニハ必ス此規則ヲ適用ス

第二節

同盟國ト不同盟國ト電報ヲ交送スルニハ其主管局ニ於テ各自ノ線路ニ用フヘキ稅則ヲ  
定ムヘシ但同盟國ニ於テハ目第二十五條及第二十六條ニ基キテ之ヲ定メ不同盟國ノ料金ヲモ  
併課スヘシ

露國聖比得堡ニ於テ確定シタル條約書第十五條及第十六條ニ依リ一千八百九十年六月二十一日

各國委員佛國巴里ニ於テ此細目規則ヲ議決シ一千八百九十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

各國ヨリ此會議ニ列シタル委員左ノ如シ

日本

日耳曼

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

|          |               |
|----------|---------------|
| 南濠斯太利亞   | フランシス、ザロン、ベル  |
| 澳大利      | ラベントロー        |
| 同        | ニーパウ          |
| 同        | ベネシ           |
| 同        | コレル           |
| 匈牙利      | ペーエル          |
| 勃斯尼比耳日合維 | エフ、ドラルジ       |
| 白耳義      | イタジユバ         |
| 伯西爾      | マチーフ          |
| 勃爾牙利     | ジ、ペ、イワノフ      |
| 同        | ジ、シ、ラム        |
| 喜望峯      | エツチ、シ、フィシエル   |
| 同        | ビー、ベント        |
| 同        | ゼ、ガブリエー       |
| 交趾       | プリミチーボ、ウイシル   |
| 西班牙殖民地   | ホック           |
| 丁抹       | ヤクープ、アルチン、パシヤ |
| 埃及       | アンセル、マンシー     |
| 西班牙      | ウイ、コロミナ       |
| 同        | テ、コルデロ        |
| 同        | ジ、ド、セルウエ      |
| 同        | アーシ、パロン       |
| 佛蘭西      |               |

|       |                  |
|-------|------------------|
| 同     | エルアンシレ           |
| 同     | ベルト              |
| 大貌列顛  | ゼ、セリグマン、ルイ       |
| 同     | ジ、シ、ラム           |
| 同     | エツチ、シ、フィシエル      |
| 同     | ビー、ベント           |
| 希臘    | デリヤニー            |
| 同     | エス、アントノプロス       |
| 英領印度  | エツチ、エ、マロック       |
| 同     | エ、ブラシヤル          |
| 蘭領印度  | ヨハネス、ジ、ベルク       |
| 以太利   | エルネスト、ボンシヨ、ウアグリア |
| 盧森堡   | モンゼナス            |
| 蒙的尼古羅 | ラベントロー           |
| 同     | ニーパウ             |
| 同     | ベネシ              |
| 那多兒   | ジ、シ、ラム           |
| 同     | エツチ、シ、フィシエル      |
| 同     | ビー、ベント           |
| 同     | シ、ニイルセン          |
| 那威    | エフ、ブ、ジエ          |
| 同     | フランシス、ヂロン、ベル     |
| 新南威爾斯 | フランシス、ヂロン、ベル     |
| 同     |                  |
| 新西蘭   |                  |

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 荷蘭    | ホフステット              |
| 波斯    | ナザレアガー              |
| 葡萄牙   | ギル、ヘルミノ、アウグスト、ド、パロス |
| 同     | ポール、ベンシヤマン、カブラル     |
| 同     | ミセル、シスーゾ            |
| 羅馬尼   | エス、ヂミットレスコ          |
| 同     | ゼネラル、ド、ベサック         |
| 露西亞   | エ、ウツワーフ             |
| 同     | レーブ、ヘル              |
| 塞内牙爾  | エス、ジ、グヲテッテ          |
| 緬兒比亞  | ルアン、アラム             |
| 暹羅    | サーゲル                |
| 瑞典    | ヘルマン、ウデンベルグ         |
| 同     | ローテン                |
| 多斯馬尼亞 | フランシス、ヂロン、ベル        |
| 突尼斯   | コ、ロラン               |
| 土耳其   | メルコン、ユスパシアン         |
| 維多利亞  | フランシス、ヂロン、ベル        |

條約書第十五條並細目規則第二十二條乃至第二十六條執行ノ爲メ制定  
萬 國 電 信 税 表







|                  |                  |       |       |                              |
|------------------|------------------|-------|-------|------------------------------|
| 白耳義              | 諸通信、             | 0.100 | 0.100 |                              |
| 勃斯尼比耳日合維         | 諸通信、             | 0.100 | 0.100 |                              |
| 伯西爾              | 首尾税ノ部            |       |       |                              |
|                  | 第一 レシフエ(メルナン)ノ部  | 1.000 | 1.000 |                              |
|                  | (A) 北部並ニ中央部ノ諸局ハ、 | 1.000 | 1.000 |                              |
|                  | (B) 南部ノ諸局ハ、      | 1.000 | 1.000 |                              |
|                  | 第二 ベリム(バラ)ノ部     | 1.600 | 1.600 |                              |
|                  | (A) 北部ノ諸局ハ、      | 1.000 | 1.000 |                              |
|                  | (B) 中央部ノ諸局ハ、     | 1.000 | 1.000 |                              |
|                  | (C) 南部ノ諸局ハ、      | 3.000 | 3.000 |                              |
|                  | 中繼税ノ部            |       |       |                              |
|                  | シヤガラオ或ハサルケヤナト    |       |       |                              |
| (A) 南部境界ノ一局トノ間、  | 1.000            | 1.000 |       |                              |
| (B) 中央部境界ノ一局トノ間、 | 1.000            | 1.000 |       |                              |
| (C) 北部境界ノ一局トノ間、  | 3.000            | 3.000 |       |                              |
| 勃爾牙利             | 諸通信、             | 0.100 | 0.100 |                              |
| 喜望峰              | 諸通信、             | 0.100 | 0.100 | ザニルバン海峽線ヲ經テ往復スル通信ナルハ此首尾税ヲ那多留 |
| キニバーノ部           | 諸通信、             | 0.100 | 0.100 |                              |

|  |       |       |       |  |
|--|-------|-------|-------|--|
| 西班牙植民地                                 | 諸通信、  | 0.100 | 0.100 |  |
| プエルトリコノ部                               | 諸通信、  | 0.100 | 0.100 |  |
| フィリッピンズ島ノ部                             | 諸通信、  | 0.150 | 0.150 |  |
| 第一 官設線路ヲ使用スル通信                         | 0.100 | 0.100 |       |  |
| 第二 大北部電信會社ノ海底線並ニ官線ニ依ル可キ段大貌列顛ノ部ニ就テ見ル(後) | 0.150 | 0.150 |       |  |
| 丁抹                                     | 諸通信、  | 0.100 | 0.100 |  |
| 埃及                                     | 首尾税ノ部 |       |       |  |
| 埃及中左ノ各部ト往復スル諸通信                        | 0.150 | 0.150 |       |  |
| 第一部                                    | 0.150 | 0.150 |       |  |
| 第二部                                    | 0.100 | 0.100 |       |  |
| 第三部                                    | 0.150 | 0.150 |       |  |
| 中繼税ノ部                                  |       |       |       |  |
| 第一 第一部區域中                              | 0.150 | 0.150 |       |  |
| 第二 スアツキント他ノ境界トノ間                       | 0.150 | 0.150 |       |  |

大貌列顛ヲ發スル通信又ハ伯西爾ノ海峽線ヲ經テ大貌列顛ニ於テ中繼スル通信ニシテ(ベルバ)又ハ(クワイ)線ニ依ルモノ





|   |  |                     |       |       |  |
|---|--|---------------------|-------|-------|--|
| 大貌列顛<br>及愛蘭士                                |  | 諸通信、<br>海底線中繼稅      | 0.100 | 0.150 |  |
| 英佛線、<br>英白線、<br>英和線、<br>英獨線、<br>日巴拉太ノ稅      |  | 0.100               | 0.150 |       |  |
| 西班牙線路ニ依リ往復スル諸通信、<br>大北部電信會社ノ稅               |  | 0.100               | 0.100 |       |  |
| 英吉利丁抹間、<br>英吉利那威間、<br>英吉利瑞典間、               |  | 0.100               | 0.100 |       |  |
| 甲 波斯灣海底線ノ稅                                  |  | 法ヲ以テ<br>定メタル<br>首尾稅 | 0.100 | 0.150 |  |
| 第一 フアオビニシール間、                               |  | 0.100               | 0.100 |       |  |
| 第二 フアオト他ノ波斯灣又ハベルシスタン各局ト<br>ノ間、              |  | 0.100               | 0.150 |       |  |
| 第三 ビニシールト他ノ波斯灣又ハベルシスタン各<br>局トノ間、            |  | 0.100               | 0.100 |       |  |
| 此四十五參ノ稅額ハフアオビ<br>ニシール間ノ中繼稅トシテ他ノ<br>諸通信ニモ適用ス |  |                     |       |       |  |

|  |  |       |       |       |  |
|--|--|-------|-------|-------|--|
| 大貌列顛<br>(英領印度)                                   |  | 諸通信、  | 0.100 | 0.100 |  |
| 乙 英領印度ノ稅   |  |       |       |       |  |
| 首尾稅ノ部  |  |       |       |       |  |
| 第一 孟買キエラシー又ハ馬搭刺ノ境界ヨリ英領印<br>度ノ諸局ヘ、                |  | 0.575 |       |       |  |
| 第二 ランゴン又ハムールメンノ境界ヨリ英領印度<br>ノ諸局ヘ、                 |  | 0.825 |       |       |  |
| 第三 孟買キエラシー又ハ馬搭刺ノ境界ヨリ緬甸ノ<br>諸局ヘ、                  |  | 0.825 |       |       |  |
| 第四 ランゴン又ハムールメンノ境界ヨリ緬甸ノ諸<br>局ヘ、                   |  | 0.575 |       |       |  |
| 第五 孟買キエラシー又ハ馬搭刺ノ境界ヨリ西倫ヘ、                         |  | 0.940 |       |       |  |
| 第六 ランゴン又ハムールメンノ境界ヨリ西倫ヘ、                          |  | 0.690 |       |       |  |
| 第七 孟買又ハキエラシーノ境界ヨリ馬搭刺ヘナン<br>及ランゴンノ線路ヲ經テ緬甸ヘ、       |  | 0.825 |       |       |  |
| 中繼稅ノ部  |  |       |       |       |  |
| A 孟買馬搭刺又ハキエラシーノ諸境界間、                             |  | 0.350 |       |       |  |
| B 一方ニ於テハ孟買キエラシー又ハ馬搭刺ノ境界<br>ト他方ニ於テハランゴン及ムールメントノ間、 |  | 1.500 |       |       |  |
| C ランゴント暹羅境界トノ間、                                  |  | 0.350 |       |       |  |
| 法ヲ以テ<br>定メタル<br>首尾稅                              |  | 0.100 |       |       |  |
| 法ヲ以テ<br>定メタル<br>中繼稅                              |  | 0.100 |       |       |  |
| 馬搭刺ヘナンランゴンノ海底<br>線ヲ經過スルトキハ此稅ニ合社<br>ノ稅ヲ加フヘシ       |  |       |       |       |  |
| 西倫トノ共有稅額ナリ                                       |  |       |       |       |  |

|           |   |                                  |                         |                |                       |
|-----------|---|----------------------------------|-------------------------|----------------|-----------------------|
| 以 太 利     | 第一<br>一方ニ於テハ、ロナト他方ニ於テハ、オトラント<br>トコロノ海底線陸揚地及ヒオトラントザント<br>海底線陸揚地トノ間又ハ此ニ海底線陸揚地ノ間<br>第二<br>他ノ諸通信、<br>ペリム局ヨリ亞弗利加ノ以太利諸局ヘノ首尾<br>マツサフ、<br>マンスニア | 〇、一五〇<br>〇、一〇〇<br>〇、一〇〇<br>〇、一〇〇 | 〇、〇七五<br>〇、一〇〇<br>〇、一〇〇 |                |                       |
| 日 本       | 第一<br>首尾税ノ部<br>歐羅巴及埃及以西トノ諸通信、<br>第二<br>亞細亞(亞細亞露西亞及土耳其ヲ除ク)トノ諸<br>通信、<br>中繼税ノ部<br>日本朝鮮間海底線ノ税、   | 〇、八五〇<br>一、〇〇〇                   | 〇、一五〇<br>〇、一〇〇          | 〇、一〇〇<br>一、〇〇〇 | 此税率、釜山(朝鮮)迄通信ニ<br>適用ス |
| 孟 的 尼 古 羅 | 諸通信、  | 〇、一〇〇                            | 〇、一〇〇                   | 〇、一〇〇          | 此税率、釜山(朝鮮)迄通信ニ<br>適用ス |
| 威 森 堡     | 諸通信、  | 〇、一〇〇                            | 〇、一〇〇                   | 〇、一〇〇          | 此税率、釜山(朝鮮)迄通信ニ<br>適用ス |
| 那 多 留     | 諸通信、  | 〇、一〇〇                            | 〇、一〇〇                   | 〇、一〇〇          | 此税率、釜山(朝鮮)迄通信ニ<br>適用ス |

|               |  |   |                                  |  |
|---------------|--|---|----------------------------------|--|
| 葡 萄 牙         | (A) 第一<br>伯西爾海底線ニ依リ、葡萄牙ノ州郡即チ屬地ニ<br>非サル地ヘ向ケ、葡萄牙ト往復スル通信、<br>第二<br>東方電信會社ノ海底線ト伯西爾海底線トノ間<br>互ニ往復スル通信、<br>第三<br>他ノ諸通信、<br>左ノ諸島ニ係ル特別税<br>マテイル、<br>セント、ヴィンセント、<br>(B) | 〇、一五〇<br>〇、一〇〇<br>〇、一〇〇<br>〇、〇七五<br>〇、〇七五 | 〇、一三三<br>〇、一五〇<br>〇、一五〇<br>〇、一五〇 | 伯西爾海底線ニ依ル、ヘキ大親利<br>顯發著又ハ中繼ノ通信ニハ、ビ<br>ボナ線又ハガイゴ一線ヲ經ル時<br>ニ限リ、此中繼税ヲ減シテ九參ト<br>爲ス<br>此税ヲ伯西爾海底線ノ税ニ加フ<br>ハシ |
| 波 斯           | 第一<br>印度及ヒ印度以外諸國ト往復スル通信、<br>第二<br>他ノ諸通信、<br>中繼税ノ部<br>第一<br>露西亞及土耳其ノ各境界間、<br>第二<br>他ノ境界間<br>(A) 英領印度緬甸並ニ四倫、<br>(B) 英領印度以外ノ諸國、                                   | 一、五五〇<br>〇、六〇〇                            | 〇、九〇〇<br>一、〇〇〇<br>〇、七〇五          |  |
| 荷 蘭<br>(蘭領印度) | 第一<br>シヤツ島ト往復スル諸通信、<br>第二<br>他ノ蘭領印度諸島(マヂニラ、スマトラ、バリ<br>及セレーブト)往復スル諸通信、  | 〇、一五〇<br>〇、八〇〇                            | 〇、一五〇<br>〇、一〇〇                   |  |
| 荷 威           | 諸通信、   | 〇、一〇〇                                     | 〇、一〇〇                            |  |

| 羅馬尼亞  |  | 諸通信   | 首尾稅ノ部 |
|-------|--|-------|-------|
| 第一    | 歐羅巴ノ境界ヲ發シ左ノ各地ト往復スル通信                               | 〇、三七五 | 〇、一〇〇 |
| (A)   | 歐羅巴露西亞   | 〇、三七五 | 〇、一〇〇 |
| (B)   | 甲加索露西亞   | 〇、六七五 | 〇、一〇〇 |
| (C)   | 「ウエルケン、ウーゲンスク」子午線以西ニ於ケル亞細亞露西亞                      | 一、五〇〇 | 〇、一〇〇 |
| (D)   | 「ウエルケン、ウーゲンスク」子午線以東ニ於ケル亞細亞露西亞                      | 二、六二五 | 〇、一〇〇 |
| 第二    | 波斯或ハ亞細亞土耳其ノ境界ヲ發シ一方ニ於テハ印度及ヒ印度以外ノ國ト他方ニ於テハ左ノ國々ト往復スル通信 | 一、五三〇 | 〇、一〇〇 |
| (A)   | 歐羅巴露西亞並ニ甲加索露西亞トモ                                   | 一、五三〇 | 〇、一〇〇 |
| (B)   | 亞細亞露西亞(第一第二兩部)                                     | 一、五三〇 | 〇、一〇〇 |
| 第三    | 右ノ境界ヲ發シ左ノ各地ト往復スル他ノ通信                               | 〇、三〇〇 | 〇、一〇〇 |
| (A)   | 甲加索露西亞   | 〇、三〇〇 | 〇、一〇〇 |
| (B)   | 歐羅巴露西亞   | 〇、六七五 | 〇、一〇〇 |
| (C)   | 亞細亞露西亞(第一部)  | 一、八〇〇 | 〇、一〇〇 |
| (D)   | 亞細亞露西亞(第二部)  | 三、〇〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 第四    | 烏拉日阿斯德ヲ發シ左ノ地方ヘノ通信                                  | 一、三〇〇 | 〇、一〇〇 |
| (A)   | 亞細亞露西亞(第一部第二部)                                     | 一、三〇〇 | 〇、一〇〇 |
| (B)   | 歐羅巴露西亞及ヒ甲加索露西亞                                     | 一、七〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 中繼稅ノ部 |  |       |       |

| 羅馬尼亞  |   | 諸通信   | 首尾稅ノ部 |
|-------|---|-------|-------|
| 第一    | 歐羅巴ノ境界ヲ發シ左ノ各地ト往復スル通信                                | 〇、三七五 | 〇、一〇〇 |
| 第二    | 一方ニ於テハ歐羅巴ノ境界ト他方ニ於テハ波斯及ヒ亞細亞土耳其ノ境界トノ間ノ線ヲ經テ左ノ諸國ヘ往復スル通信 | 一、五〇五 | 〇、一〇〇 |
| (A)   | 英領印度緬甸及四倫   | 一、五〇五 | 〇、一〇〇 |
| (B)   | 英領印度以外ノ諸國   | 一、一八〇 | 〇、一〇〇 |
| 第三    | 他ノ諸通信ニシテ前記ト同一ノ境界間ヲ經ルモノ                              | 〇、四〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 第四    | 英領印度及印度以外ノ諸國ヘ往復スル通信ニシテ亞細亞土耳其及ヒ波斯ノ境界間ヲ經ルモノ           | 一、〇〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 第五    | 他ノ諸通信ニシテ前記ト同一ノ境界間ヲ經ルモノ                              | 〇、三〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 第六    | 他ノ諸境界ト烏拉日阿斯德トノ間                                     | 三、〇〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 第七    | 他ノ諸境界トボクハラトノ間                                       | 一、五〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 諸通信   |   |       |       |
| 首尾稅ノ部 |   | 〇、一〇〇 | 〇、一〇〇 |
| (A)   | 英領印度ノ境界(ムールメン)ヲ發スル通信                                | 〇、五七五 | 〇、一〇〇 |
| (B)   | 交趾支那ノ境界(東蒲塞)ヲ發スル通信                                  | 〇、四〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 中繼稅ノ部 |   |       |       |
| 諸通信   |   | 〇、五七五 | 〇、一〇〇 |
| 諸通信   |   | 〇、四〇〇 | 〇、一〇〇 |
| 諸通信   |   | 〇、一〇〇 | 〇、一〇〇 |

瑞 西

|   |       |       |   |
|---|-------|-------|---|
| 諸通信、  | 〇、一〇〇 | 〇、一〇〇 | キオレンノス及ヒテネドスニ<br>ハ十七參カンガール島ニハ三十五<br>參ナル東方電信會社ノ稅ヲモ此<br>ニ含入ス<br>キオレンノス及ヒテネドスニ<br>二十三參カンガール島ニ四十五參<br>ヲ際ス可キ東方電信會社ノ稅ヲ<br>含入ス但歐羅巴土耳其ト往復ス<br>ル歐羅巴外方法ノ通信ニシテキ<br>オテネドスノ境界ニ依ルモノ<br>並ニロッド島ト往復スル通信ニ<br>シテロッド島ニ依ルモノニハ會<br>社ノ稅ヲ二十五參ニ減ス<br>土耳其ノ通信ニハ此稅ヲ課セス<br>蘇士アークン間ノ海底線ヲ經<br>ル土耳其ノ通信(亞非利加ノ土<br>里波里ヲ含入ス)ニハ此稅ヲ減<br>シテ五十參ト爲ス |
| 第一 首尾稅ノ部  |       |       |   |
| (A) 歐羅巴ノ境界ヲ發シ   | 〇、二五〇 |       |   |
| (B) 亞細亞土耳其及ヒ亞細亞土耳其ノ多島海(ノ通信、)                              | 〇、七五〇 |       |   |
| 第二 亞細亞土耳其ノ境界ヲ發シ   |       |       |   |
| (A) 亞細亞土耳其(ノ通信、)  | 〇、七五〇 |       |   |
| (B) 歐羅巴土耳其及ヒ亞細亞土耳其ノ多島海(ノ通信、)                              | 一、〇〇〇 |       |   |
| 土里波里ノ稅  |       |       |   |
| (A) 土里波里ノ海岸ヲ發シ  | 〇、一五〇 |       |   |
| (B) 他ノ各局(宛タル通信、)  | 〇、三〇〇 |       |   |
| ハツヂヤノ稅  |       |       |   |
| (A) 土里波里ノ海岸ヲ發シ(スアツキンノ海岸ヲ發シ(スアツキン)ヨリガゼンタニ至ル海底線ニ分配ス可キ稅ヲ含入ス) | 一、〇〇〇 |       |   |
| (B) 他ノ地方(ノ諸通信、)   | 一、五〇〇 |       |   |

土 耳 共

|   |       |  |  |
|---|-------|--|--|
| カンガール島ノ稅、   | 〇、一五〇 |  | カンガール亞歷山得線ニ依リテ往<br>復スル露西亞埃及間ノ通信及ヒ<br>露西亞亞丁南亞非利加間ノ通<br>信ニハ君士坦丁堡ヲテサ線ヨ<br>リサエスマー經過ノ中繼稅ヲ減<br>シテ十二參五ト爲ス |
| 中繼稅ノ部   |       |  |  |
| 第一 歐羅巴ノ境界間、   | 〇、一五〇 |  |  |
| 第二 亞細亞土耳其ノ境界間、  | 〇、一五〇 |  |  |
| 第三 (歐羅巴土耳其ノ境界ト亞細亞土耳其ノ境界ト)間但第四項ニ記載シタル通信ヲ除ク   | 〇、一五〇 |  |  |
| (A) 英領印度緬甸及西倫(ノ通信、)   | 一、一五五 |  |  |
| (B) 英領印度以外諸國(ノ通信、)  | 一、〇五〇 |  |  |
| (C) ハネキン又ハバツカレ線ニ依リ波斯ト往復スル通信、  | 〇、七〇〇 |  |  |
| (D) 他ノ諸通信、  | 一、〇〇〇 |  |  |
| 第四 エラリツチ境界ト左ノ境界トノ間ヲ經ル通信   |       |  |  |
| (A) ポスニー境界  | 〇、八二五 |  |  |
| 埃及亞歷山得ト大貌列顛トノ間ニ往復スル通信、  | 〇、九七五 |  |  |
| 埃及亞歷山得ト日耳曼トノ間ニ往復スル通信  | 〇、九七五 |  |  |
| ザアローナ境界   | 〇、九七五 |  |  |
| (B) 一方ニ於テハ埃及亞歷山得ト他方ニ於テ日耳曼又ハ大貌列顛トノ間ニ往復スル通信、  | 〇、九七五 |  |  |
| カンチー島ノ稅   | 〇、七五  |  |  |
| 附言 東方電信會社ノサロニック、テネドス、ダルドネルス君士坦丁堡間ノ海底線ヲ臨時使用スルトキハ定則稅ノ外ニ二十參ヲ增收ス。東方電信會社ノ海底線陸揚地ヲ經過スルモノ即チ |       |  |  |

テネリス、サロニク、ブルガネリス、ベツカ君士坦  
丁堡(テネリス海底線)へ送スル通信ノ土耳其税ハ  
チニスメノ亞細亞境界ヲ經過スルモノニ課スル税  
額ニ均シ

東方電信會社ノ税

附言左ノ税ニハ此會社ノ所得ニ歸スヘキ日巴拉太、タンゼー、馬留太、スアツキン、亞丁、ペリム、キオ島ノ首尾税並ニ希臘土  
耳其(クレイト)埃及ノ中繼税ヲ含入ス  
此會社ノ地中海々底線(シール線ヲ除ク)ヲ經テ送スル通信ニ課スヘキ埃及海岸(亞歷山得)ノ税ニハ此會社ノ所得  
ニ歸スヘキ埃及ノ首尾税ヲ含入ス埃及ノ他市府並ニホルサイドニ送スル通信ニ關シテハ之ニ特定ノ首尾税ヲ加フニシ  
又改羅及ヒ蘇士ノ首尾税ハ此會社ノ所得ニ屬スルモノトス

| 通信種類                         | 法ヲ以テ定メタル首尾税 | 法ヲ以テ定メタル中繼税 | 記事                            |
|------------------------------|-------------|-------------|-------------------------------|
| 大貌列顛海岸ト左ノ地方トノ間               |             |             |                               |
| 西班牙海岸(ヴィゴ)又ハカザツクス)           | 〇・九〇〇       | 〇・四四〇       | * 大貌列顛ノ首尾税ヲ含入ス 然トモ該國ノ中繼税ヲ含入セス |
| 第一 伯西爾會社ノ海底線ト往復スル通信          |             | 〇・五五〇       |                               |
| 第二 他ノ諸通信                     |             | 〇・四七五       |                               |
| 第一 西班牙ト往復スル通信                |             | 〇・四七五       |                               |
| 第二 セントヴィンセント線路ヲ經テ亞弗利加ト往復スル通信 |             | 〇・五五〇       |                               |
| 第三 他ノ諸通信                     |             | 〇・九〇〇       |                               |

| 通信種類                            | 法ヲ以テ定メタル首尾税 | 法ヲ以テ定メタル中繼税 | 記事                            |
|---------------------------------|-------------|-------------|-------------------------------|
| マロツク海岸(タンゼー)                    | 〇・九〇〇       | 〇・九〇〇       | * 大貌列顛ノ首尾税ヲ含入ス 然トモ該國ノ中繼税ヲ含入セス |
| 佛蘭西海岸(馬耳塞)                      | 〇・九〇〇       | 〇・九〇〇       |                               |
| 亞爾日里海岸(ボーマ)                     | 〇・九〇〇       | 〇・九〇〇       |                               |
| 馬留多島                            | 〇・九〇〇       | 〇・九〇〇       |                               |
| 伊太利海岸(モザカ又ハサトランド)               | 〇・九〇〇       | 〇・九〇〇       |                               |
| 第一 伊太利ト往復スル通信                   |             | 〇・九〇〇       |                               |
| 第二 他ノ諸通信                        |             | 〇・九〇〇       |                               |
| 土里波里海岸                          |             | 〇・九〇〇       |                               |
| 澳地利海岸(トリエスト)                    |             | 〇・九〇〇       |                               |
| 希臘海岸                            |             | 〇・八七五       |                               |
| 土耳其海岸                           |             | 〇・八七五       | * 大貌列顛ノ首尾税ヲ含入ス 然トモ該國ノ中繼税ヲ含入セス |
| 埃及海岸(亞歷山得又ハホルサイト)又ハシール島(亞歷山得線路) |             | 〇・六七五       |                               |
| 埃及海岸(スアツキン)                     |             | 〇・六七五       |                               |
| 亞刺比(亞丁)海岸(ペリム島又ハカザツクス海岸)        |             | 〇・六七五       |                               |
| 西班牙海岸(ヴィゴ)ト左ノ地方トノ間              |             | 〇・六七五       |                               |
| 西班牙海岸(カザツクス)                    |             | 〇・六七五       |                               |
| 西班牙海岸(ヴィゴ)又ハカザツクス)ト左ノ地方トノ間      |             | 〇・六七五       |                               |
| 葡萄牙海岸(カミナ)カルクアエロー又ハヴィラレアル)      |             | 〇・六七五       |                               |
| 日巴拉太海岸                          |             | 〇・六七五       |                               |
| 第一 ヴィゴ線路ヲ經ル通信                   |             | 〇・六七五       |                               |

|                              |         |         |  |
|------------------------------|---------|---------|--|
| 第二 他ノ諸通信、                    |         |         |  |
| マロウク海岸(タンゼー)                 | 〇、一、一〇〇 | 〇、一、一〇〇 |  |
| 第一 一、グイゴ一線路ヲ經ル通信、            | 〇、六、五〇  | 〇、六、五〇  |  |
| 第二 一、カナツクス線路ヲ經ル通信、           | 〇、一、一五〇 | 〇、一、一五〇 |  |
| 佛蘭西海岸(馬耳塞)                   |         |         |  |
| 亞耳日里海岸(ボーム)                  |         |         |  |
| 馬留多島、                        | 〇、九、七五  | 〇、九、七五  |  |
| 土里波里海岸、                      | 〇、九、二五  | 〇、九、二五  |  |
| 伊太利海岸(モテカ又ハオトラント)            | 一、三〇〇   | 一、三〇〇   |  |
| 第一 伊太利トノ通信、                  |         |         |  |
| 第二 他ノ諸通信、                    | 〇、七、〇〇  | 〇、七、〇〇  |  |
| 澳地利海岸(トリエスト)                 | 〇、九、二五  | 〇、九、二五  |  |
| 希臘海岸、                        | 〇、八、七五  | 〇、八、七五  |  |
| 土耳其海岸、                       | 〇、六、七五  | 〇、六、七五  |  |
| 埃及海岸(亞歷山得又ハボルサイト又ハシール島)亞歷山得線 | 一、六、二五  | 一、六、二五  |  |
| 埃及海岸(スアキン)                   | 一、六、二五  | 一、六、二五  |  |
| 亞利比海岸(亞丁)バリン島又ハオガツク海岸、       | 四、三、二五  | 四、三、二五  |  |
| 葡萄牙海岸(カルカヴェロ、カミナ又ハヴィ         |         |         |  |
| ラレア)ト左ノ地方トノ間                 |         |         |  |
| 日巴拉太海岸                       | 〇、四、七五  | 〇、四、七五  |  |
| 第一 セント、ヴィンセント線路ヲ經テ亞那利加ト往復スル通 |         |         |  |
| 信、                           |         |         |  |

キオレンノス及テネドスノ首尾稅ヲ含入ス

|                             |         |         |  |
|-----------------------------|---------|---------|--|
| 第二 他ノ諸通信、                   |         |         |  |
| マロウク海岸(タンゼー)                | 〇、一、一〇〇 | 〇、一、一〇〇 |  |
| 第一 セント、ヴィンセント線路ヲ經テ亞那利加ト往復スル | 〇、一、一〇〇 | 〇、一、一〇〇 |  |
| 通信、                         |         |         |  |
| 第二 他ノ諸通信、                   | 〇、九、七五  | 〇、九、七五  |  |
| 佛蘭西海岸(馬耳塞)                  |         |         |  |
| 第一 西班牙發着又ハ中繼ノ通信、            | 〇、七、〇〇  | 〇、七、〇〇  |  |
| 第二 亞那利加四岸ト往復スル通信、           | 〇、七、七五  | 〇、七、七五  |  |
| 第三 他ノ諸通信、                   | 〇、八、二五  | 〇、八、二五  |  |
| 亞耳日里海岸(ボーム)                 |         |         |  |
| 第一 西班牙發着又ハ中繼ノ通信、            | 〇、八、五〇  | 〇、八、五〇  |  |
| 第二 他ノ諸通信、                   | 〇、九、二五  | 〇、九、二五  |  |
| 馬留多島                        |         |         |  |
| 第一 西班牙ト往復スル通信、              | 〇、六、三〇  | 〇、六、三〇  |  |
| 第二 他ノ諸通信、                   | 〇、七、〇〇  | 〇、七、〇〇  |  |
| 土里波里海岸                      |         |         |  |
| 第一 西班牙ト往復スル通信、              | 一、三、二五  | 一、三、二五  |  |
| 第二 他ノ諸通信、                   | 一、四、〇〇  | 一、四、〇〇  |  |
| 澳地利海岸(トリエスト)                |         |         |  |
| 第一 西班牙ト往復スル通信、              | 〇、九、〇〇  | 〇、九、〇〇  |  |
| 第二 他ノ諸通信、                   | 〇、九、七五  | 〇、九、七五  |  |
| 希臘海岸                        |         |         |  |
| 第一 西班牙ト往復スル通信、              | 〇、九、〇〇  | 〇、九、〇〇  |  |
| 第二 他ノ諸通信、                   | 〇、九、七五  | 〇、九、七五  |  |

|                                      |       |       |                         |
|--------------------------------------|-------|-------|-------------------------|
| 第二 他ノ諸通信、                            | 〇、八七五 | 〇、八七五 | キオレンノス及ヒテネドスノ首尾<br>ヲ含入ス |
| 伊太利海岸(モザカ又ハオトラント)                    | 〇、六〇〇 | 〇、六〇〇 |                         |
| 第一 伊太利ト西班牙トノ間ニ往復シ若クハ西班牙ニテ中繼<br>スル通信、 | 〇、六七五 | 〇、六七五 |                         |
| 第二 伊太利ト往復スル他ノ諸通信、                    | 〇、七〇〇 | 〇、七〇〇 |                         |
| 第三 西班牙ト往復スル他ノ諸通信、                    | 〇、八五〇 | 〇、八五〇 |                         |
| 第四 他ノ諸通信、                            | 〇、九二五 | 〇、九二五 |                         |
| 土耳其海岸                                |       |       |                         |
| 第一 西班牙發着又ハ中繼ノ通信、                     | 〇、六〇〇 | 〇、六〇〇 |                         |
| 第二 他ノ諸通信、                            | 〇、六七五 | 〇、六七五 |                         |
| 埃及海岸(亞歷山得又ハボルサイト)又ハシイブル島             | 〇、六〇〇 | 〇、六〇〇 |                         |
| 第一 西班牙發着又ハ中繼ノ通信、                     | 一、六二五 | 一、六二五 |                         |
| 第二 他ノ諸通信、                            | 一、五五〇 | 一、五五〇 |                         |
| 埃及海岸(スアツキン)                          |       |       |                         |
| 第一 西班牙發着又ハ中繼ノ通信、                     | 二、六五〇 | 二、六五〇 |                         |
| 第二 他ノ諸通信、                            | 二、七二五 | 二、七二五 |                         |
| 亞刺比海岸(亞丁)又ハオボツク海岸                    |       |       |                         |
| 第一 西班牙發着又ハ中繼ノ通信、                     | 四、一五〇 | 四、一五〇 |                         |
| 第二 他ノ諸通信、                            | 四、二二五 | 四、二二五 |                         |
| 日巴拉太海岸ト左ノ地方トノ間                       |       |       |                         |
| マロツク海岸(タンセー)                         | 〇、一五〇 | 〇、一五〇 |                         |
| 佛蘭西海岸(馬耳塞)                           | 一、〇七五 | 一、〇七五 |                         |
| 亞耳日里海岸(ボニス)                          | 〇、八五〇 | 〇、八五〇 |                         |

|                          |       |       |  |
|--------------------------|-------|-------|--|
| 馬留多島                     | 〇、六二五 | 〇、六二五 |  |
| 土里波里海岸                   | 一、一七五 | 一、一七五 |  |
| 伊太利海岸(モザカ又ハオトラント)        | 〇、六二五 | 〇、六二五 |  |
| 第一 伊太利ト往復スル通信、           | 〇、六二五 | 〇、六二五 |  |
| 第二 他ノ諸通信、                | 〇、八五〇 | 〇、八五〇 |  |
| 澳地利海岸(トリエント)             | 〇、九〇〇 | 〇、九〇〇 |  |
| 希臘海岸                     | 〇、八二五 | 〇、八二五 |  |
| 土耳其海岸                    | 〇、六〇〇 | 〇、六〇〇 |  |
| 埃及海岸(亞歷山得又ハボルサイト)又ハシイブル島 | 一、六二五 | 一、六二五 |  |
| 埃及海岸(スアツキン)              | 一、五五〇 | 一、五五〇 |  |
| 亞刺比海岸(亞丁)又ハオボツク          | 二、七二五 | 二、七二五 |  |
| マロツク海岸(タンセー)ト左ノ地方トノ間     | 四、一五〇 | 四、一五〇 |  |
| 佛蘭西海岸(馬耳塞)               | 一、一七五 | 一、一七五 |  |
| 亞耳日里海岸(ボニス)              | 〇、一〇〇 | 〇、一〇〇 |  |
| 土里波里海岸                   | 〇、七五  | 〇、七五  |  |
| 伊太利海岸(モザカ又ハオトラント)        | 〇、九七五 | 〇、九七五 |  |
| 澳地利海岸(トリエント)             | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |  |
| 希臘海岸                     | 一、〇五〇 | 一、〇五〇 |  |
| 土耳其海岸                    | 〇、七五〇 | 〇、七五〇 |  |
| 埃及海岸(亞歷山得又ハボルサイト)又ハシイブル島 | 一、七五〇 | 一、七五〇 |  |
| 埃及海岸(スアツキン)              | 一、七五〇 | 一、七五〇 |  |





| 第一 馬留多ト往復スル通信                 | 第二 他ノ諸通信                  | 第三 佛蘭西ト往復スル通信             | 第四 大親列頓、勃爾牙利及攝兒比亞トノ通信     | 第五 瑞四ト往復スル通信              |
|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 一、五五〇                         | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                     |
| 一、五五〇                         | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                     |
| グレート、キオ、マネドス及レンノ<br>スノ首尾税ヲ含入ス | キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス | キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス | キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス | キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス |

| 第一 佛蘭西、澳地利、匈牙利、白耳義、露西亞、北亞米利加及盧森堡ト往復スル通信 | 第二 他ノ諸通信                  | 第三 佛蘭西、澳地利、匈牙利、白耳義、露西亞、北亞米利加及盧森堡ト往復スル通信 | 第四 他ノ諸通信                  | 第五 瑞四ト往復スル通信              |
|---|---------------------------|---|---------------------------|---------------------------|
| 一、三〇〇                                   | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                                   | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                     |
| 一、三〇〇                                   | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                                   | 一、三〇〇                     | 一、三〇〇                     |
| キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス               | キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス | キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス               | キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス | キオ、レンノス及ヒテネドスノ首尾<br>税ヲ含入ス |

|                                |        |        |
|--------------------------------|--------|--------|
| 第五 勃斯尼比耳日合維及蒙的尼古羅ト往復スル通信       | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第六 盧森堡及白耳礁ト往復スル通信              | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第七 羅馬尼亞ト往復スル通信                 | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第八 他ノ諸通信                       | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 埃及海岸(スエズ)                      |        |        |
| 第一 亞耳日里、突尼斯、西班牙、タンゼー、日巴拉太、葡萄牙加 | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第二 佛蘭西トノ通信                     | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第三 大列頓、勃爾牙利及攝兒比亞トノ通信           | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第四 瑞西トノ通信                      | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第五 勃斯尼比耳日合維及蒙的尼古羅トノ通信          | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第六 盧森堡及白耳礁トノ通信                 | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第七 羅馬尼亞トノ通信                    | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第八 他ノ諸通信                       | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 亞利比海岸(亞丁)ペリム島又ハオボック海岸          |        |        |
| 第一 亞耳日里、突尼斯、西班牙、タンゼー、日巴拉太、葡萄牙加 | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第二 佛蘭西トノ通信                     | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第三 大列頓、勃爾牙利及攝兒比亞トノ通信           | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第四 瑞西トノ通信                      | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第五 勃斯尼比耳日合維及蒙的尼古羅トノ通信          | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第六 白耳礁及盧森堡トノ通信                 | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第七 羅馬尼亞トノ通信                    | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
| 第八 他ノ諸通信                       | 一、三、七五 | 一、三、七五 |

希臘海岸ト左ノ地方トノ間

|       |   |        |        |
|-------|---|--------|--------|
| 土耳其海岸 | 第一 ブルサスカテリナ線路ヲ往復スル通信                                | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 第二 他ノ諸通信  | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 希臘諸島(ボロス及ウーベヲ除ク)ブルサスカテリナ線路ヲ經テ往復スル通信                 | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 埃及海岸(亞歷山得又ハホルサイト又ハシーブル島)亞歷山得線路、スエズ、                 | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 第一 土耳其又ハバルバリーノ土里波里ト亞利比トノ間ニ往復スル通信                    | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 第二 他ノ諸通信  | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 亞利比海岸(亞丁)ペリム島又ハオボック海岸                               | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 土耳其海岸(君士坦丁堡)ト左ノ地方トノ間                                | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 土耳其海岸即チサロニツク、タルダネル若クハチエスメー、                         | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 土耳其海岸(タルダネル又ハチエスメ)                                  | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 土耳其海岸(タルダネル)ト左ノ地方トノ間                                | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 土耳其海岸チエスメ、  | 一、三、七五 | 一、三、七五 |
|       | 土耳其海岸(君士坦丁堡)タルダネル、サロニツク、レンノス、テネドス、キオ若クハチエスメト左ノ地方トノ間 | 一、三、七五 | 一、三、七五 |

|                                 |       |       |                       |
|---------------------------------|-------|-------|-----------------------|
| 埃及海岸(亞歷山得又ハゴルサイト又ハシーブル島(亞歷山得線)) | 一、一五〇 | 一、一五〇 | 土耳其政府ノ官報ニハ此稅ヲ減シテ一法ト爲ス |
| 埃及海岸(スアツキン)                     |       |       |                       |
| 第一 土耳其亞利比間ニ往復スル通信               | 二、二五〇 | 二、二〇〇 |                       |
| 第二 他ノ諸通信                        | 三、七五〇 | 三、七五〇 |                       |
| 亞利比海岸(亞丁)ペリム島又ハオボック海岸           |       |       |                       |
| 亞利比海岸(イエメン)                     |       |       |                       |
| 第一 歐羅巴土耳其ノ通信                    | 三、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 土耳其政府ノ官報ニハ此稅ヲ減シテ一法ト爲ス |
| 第二 キオア及テホドントノ通信                 | 三、二五〇 | 三、二五〇 |                       |
| 土耳其海岸(ロード)ト左ノ地方トノ間              |       |       |                       |
| 埃及海岸(亞歷山得又ハゴルサイト又ハシーブル島(亞歷山得線)) | 一、〇五〇 | 一、〇五〇 |                       |
| 埃及海岸(スアツキン)                     | 二、二五〇 | 二、二五〇 |                       |
| 亞利比海岸(亞丁)ペリム島又ハオボック海岸           | 三、七五〇 | 三、七五〇 |                       |
| 亞利比海岸(イエメン)                     |       |       |                       |
| 第一 ロード島トノ通信                     | 三、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 土耳其政府ノ官報ニハ此稅ヲ減シテ一法ト爲ス |
| 第二 亞細亞土耳其トノ通信                   | 三、二五〇 | 三、二五〇 |                       |
| 第三 サモス及ミチレーメトノ通信                | 三、七五〇 | 三、七五〇 |                       |
| クレート島ト左ノ地方トノ間                   |       |       |                       |
| 埃及海岸(亞歷山得又ハゴルサイト)又ハシーブル島(亞歷山得線) | 〇、八〇〇 | 〇、八〇〇 |                       |
| 埃及海岸(スアツキン)                     | 一、九〇〇 | 一、九〇〇 |                       |
| 亞利比海岸(亞丁)ペリム島又ハオボック海岸           | 三、五〇〇 | 三、五〇〇 |                       |

|                                   |       |       |                       |
|-----------------------------------|-------|-------|-----------------------|
| 亞利比海岸(イエメン)                       | 三、一〇〇 | 三、一〇〇 |                       |
| シーブル島ト左ノ地方トノ間                     |       |       |                       |
| 埃及海岸(亞歷山得又ハゴルサイト)                 | 〇、九〇〇 | 〇、九〇〇 | 埃及各地ノ首尾稅ヲ含入ス          |
| 埃及海岸(スアツキン)                       | 一、三〇〇 | 一、三〇〇 |                       |
| 亞利比海岸(亞丁)ペリム島又ハオボック海岸             | 三、二五〇 | 三、二五〇 |                       |
| 亞利比海岸(イエメン)                       | 三、七五〇 | 三、七五〇 | 土耳其政府ノ官報ニハ此稅ヲ減シテ一法ト爲ス |
| 英領印度海岸                            |       |       |                       |
| 埃及海岸(亞歷山得)ト左ノ地方トノ間                |       |       |                       |
| 埃及海岸(ゴルサイト)                       | 〇、二五〇 | 〇、二五〇 |                       |
| 蘇士線路ヲ經テ埃及海岸ト左ノ地方トノ間               |       |       |                       |
| 埃及海岸(スアツキン)                       |       |       |                       |
| 第一 エラリツチ線路ヲ經テ土耳其ト亞利比トノ間ニ往復スル通信    | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 土耳其政府ノ官報ニハ此稅ヲ減シテ半額ト爲ス |
| 第二 エラリツチ線路ヲ經テ往復スル他ノ諸通信            | 一、六〇〇 | 一、六〇〇 |                       |
| 第三 他ノ諸通信                          | 一、三〇〇 | 一、三〇〇 | 埃及各地ノ首尾稅ヲ含入ス          |
| 亞利比海岸(亞丁)ペリム島又ハオボック海岸             |       |       |                       |
| 第一 エラリツチ線路ヲ經テ歐羅巴土耳其ロード島トノ間ニ往復スル通信 | 二、七五〇 | 二、七五〇 |                       |
| 第二 エラリツチ線路ヲ經テ往復スル他ノ諸通信            | 三、五〇〇 | 三、五〇〇 |                       |
| 第三 他ノ諸通信                          | 三、二五〇 | 三、二五〇 |                       |
| 亞利比海岸(イエメン)                       |       |       |                       |

|                                  |                             |       |       |                           |
|----------------------------------|-----------------------------|-------|-------|---------------------------|
| 第一                               | エラリツチ線路ヲ經テ土耳其又ハ土里波里ト往復スル通信、 | 二、三〇〇 | 二、三〇〇 | (一) 土耳其政府ノ官報ニハ此稅ヲ減シテ半額ト爲ス |
| 第二                               | エラリツチ線路ヲ經テ往復スル他ノ通信          | 二、三〇〇 | 二、三〇〇 | (二) 土耳其政府ノ官報ニハ此稅ヲ減シテ一法ト爲ス |
| 第三                               | 他ノ諸通信                       | 二、三〇〇 | 二、三〇〇 |                           |
| 英領印度                             | 第一 エラリツチ線路ヲ經テ往復スル通信         | 三、七五〇 | 三、七五〇 |                           |
|                                  | 第二 他ノ諸通信                    | 三、七五〇 | 三、七五〇 |                           |
| <b>埃及海岸(スアツキン)ト左ノ地方トノ間</b>       |                             |       |       |                           |
|                                  | 亞刺比海岸(亞丁)ペリム島又ハオボツク海岸       | 一、九〇〇 | 一、九〇〇 | (*) 土耳其政府ノ官報ニハ此稅ヲ減シテ半額ト爲ス |
|                                  | 亞刺比海岸(イエメン)                 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |                           |
|                                  | 英領印度海岸(孟買)                  | 三、〇〇〇 | 三、〇〇〇 |                           |
| <b>ペリム島ト左ノ地方トノ間</b>              |                             |       |       |                           |
|                                  | 亞刺比海岸(亞丁)                   | 〇、六〇〇 | 〇、六〇〇 |                           |
|                                  | オボツク海岸                      | 〇、一〇〇 | 〇、一〇〇 |                           |
| <b>亞刺比海岸(亞丁)ト左ノ地方トノ間</b>         |                             |       |       |                           |
|                                  | オボツク海岸                      | 〇、六〇〇 | 〇、六〇〇 |                           |
| <b>亞刺比海岸ペリム島又ハオボツク海岸ト左ノ地方トノ間</b> |                             |       |       |                           |
|                                  | 英領印度海岸(孟買)                  | 二、八五〇 | 二、八五〇 |                           |
| 黑海電信會社ノ稅                         |                             |       |       |                           |

| 通 信 種 類                                       | 法ヲ以テ定メタル首尾稅                       | 法ヲ以テ定メタル中繼稅 | 記 事                               |
|---|-----------------------------------|-------------|-----------------------------------|
| <b>露西亞海岸(ヲテッサ)ト左ノ地方トノ間</b>                    |                                   |             |                                   |
| 土耳其海岸(君士坦丁堡)                                  |                                   |             |                                   |
| 第一 一方ニ於テハ埃及、亞丁、ペリム、南部亞弗利加ト他方ニ於テハ露西亞トノ間ニ往復スル通信 | 〇、二七五                             | 〇、二七五       |                                   |
| 第二 他ノ諸通信                                      | 〇、四七五                             | 〇、四七五       |                                   |
| <b>大貌列顛海岸ト左ノ地方トノ間</b>                         |                                   |             |                                   |
| 西班牙海岸(ビルバオ)                                   |                                   |             |                                   |
| 第一 伯西爾海底線ニ依リ往復スル通信                            | 〇、四四〇                             | 〇、四四〇       | (*) 大貌列顛ノ首尾稅ヲ含入ス。然レトモ諸國ノ中繼稅ヲ含入セス。 |
| 第二 他ノ諸通信                                      | 〇、五五〇                             | 〇、五五〇       |                                   |
| <b>佛蘭西海岸ト左ノ地方トノ間</b>                          |                                   |             |                                   |
| 西班牙海岸(バルスロヌ)                                  | 〇、三〇〇                             | 〇、三〇〇       |                                   |
| 歐羅巴英領印度間通信ノ一定稅                                |                                   |             |                                   |
|   | 歐羅巴(土耳其露西亞ヲ除ク)英領印度間通信ノ課稅ハ左表ノ如ク一定ス |             |                                   |
| A 土耳其線ヲ經ルモノ                                   | 四、五〇〇                             | 四、七五〇       | 四、六一五                             |
| B 露西亞線ヲ經ルモノ                                   | 五、〇〇〇                             | 五、二五〇       | 五、一一五                             |
| C (東方電信會社)露西亞及ヒ歐羅巴(線ヲ經ルモノ) (土耳其ヲ含入ス)          | 五、〇〇〇                             | 五、二五〇       | 五、一一五                             |

右税額ノ内譯左ノ如シ

土耳其線

|        |       |                   |       |                  |       |
|--------|-------|-------------------|-------|------------------|-------|
| 印度へノ通信 | 〇、八二五 | 緬甸線ヲ經テ印度以外ノ諸國へノ通信 | 〇、八二五 | 海線ヲ經テ印度以外ノ諸國へノ通信 | 〇、八二五 |
| 計      | 一、一九五 | 計                 | 一、三九五 | 計                | 一、三九五 |
| 印度     | 一、一九五 | 印度                | 一、三九五 | 印度               | 一、三九五 |
| 波其     | 〇、五七五 | 波其                | 一、五〇〇 | 波其               | 〇、三三〇 |
| 土      | 〇、五七五 | 土                 | 四、七五〇 | 土                | 〇、三三〇 |
| 計      | 四、五〇〇 | 計                 | 四、七五〇 | 計                | 三、六〇〇 |

露西亞線

|        |       |                   |       |                  |       |
|--------|-------|-------------------|-------|------------------|-------|
| 印度へノ通信 | 〇、五二五 | 緬甸線ヲ經テ印度以外ノ諸國へノ通信 | 〇、五二五 | 海線ヲ經テ印度以外ノ諸國へノ通信 | 〇、五二五 |
| 計      | 一、五〇五 | 計                 | 一、一八〇 | 計                | 一、一八〇 |
| 印度     | 一、五〇五 | 印度                | 〇、七〇五 | 印度               | 〇、七〇五 |
| 波其     | 〇、九四〇 | 波其                | 一、〇九〇 | 波其               | 一、〇九〇 |
| 波      | 一、四七五 | 波                 | 一、五〇〇 | 波                | 〇、三三〇 |
| 計      | 五、〇〇〇 | 計                 | 五、〇〇〇 | 計                | 三、八五〇 |

東方電信會社ノ線路

|        |       |                  |       |                         |       |
|--------|-------|------------------|-------|-------------------------|-------|
| 印度へノ通信 | 四、四二五 | 陸線ヲ經テ印度以外ノ諸國へノ通信 | 三、五〇〇 | 東方電信會社ノ海線ヲ經テ印度以外ノ諸國へノ通信 | 三、五〇〇 |
| 計      | 〇、五七五 | 計                | 一、五〇〇 | 計                       | 〇、三三〇 |
| 印度     | 〇、五七五 | 印度               | 一、五〇〇 | 印度                      | 〇、三三〇 |
| 波其     | 五、〇〇〇 | 波其               | 五、〇〇〇 | 波其                      | 三、八五〇 |
| 計      | 五、〇〇〇 | 計                | 五、〇〇〇 | 計                       | 三、八五〇 |

隣接局々間トノ差引計算ニ於テ歐羅巴外方法ノB號稅表ニ據リ歐羅巴各國ニ受領ス可キ税金ハ稅表面正當ノ金額ヲ發行人ヨリ徵收シ又ハ隣局ヨリ收入スヘシ右分配計算上ノ金額ト上載ノ歐羅巴國々ニ係ル税金額トノ間ニ生スル差(過剩又ハ不足)ハ歐洲外諸局ノ負擔トス

下名ノ同盟各國委員ハ聖比得堡制定條約書第十五條及十六條ニ基ツキ一千八百九十年六月二十一  
日巴里ニ於テ此稅表ヲ決定シ一千八百九十一年七月一日ヨリ實施スルコトヲ約定ス

- 日本 栗野慎一郎
- 日耳曼 ハーグ
- 同 シェフレル
- 同 ル、サージュ
- 亞爾然丁 サンチアゴ、アルコルタ
- 同 ア、ゴンザレ
- 南濠斯太利亞 フランシス、ザロン、ベル
- 濠太利 牙利 フベントロー
- 同 ニーパウ
- 同 ベネシ

|          |               |
|----------|---------------|
| 匈牙利      | コレル           |
| 勃斯尼比耳日合維 | ペーエル          |
| 白耳義      | エフ、ドラルシ       |
| 伯西爾      | イタジユバ         |
| 勃爾牙利     | マチーフ          |
| 同        | シ、ベ、イワノフ      |
| 喜望峯      | シ、シ、ラム        |
| 同        | エツチ、シ、フィシエル   |
| 同        | ビー、ベントン       |
| 交趾       | ゼ、ガブリエー       |
| 西班牙殖民地   | プリミチーボ、ウイシル   |
| 丁抹       | ホック           |
| 埃及       | ヤクープ、アルチン、パセヤ |
| 西班牙      | アンゼル、マンシー     |
| 同        | ウイ、コロミナ       |
| 同        | テ、コルデロ        |
| 同        | シ、ド、セルウエ      |
| 同        | アーシ、パロン       |
| 同        | エルアンシレ        |
| 同        | ベルトー          |
| 佛蘭西      | ゼ、セリグアン、ルイ    |

|       |                  |
|-------|------------------|
| 大貌列顛  | シ、シ、ラム           |
| 同     | エツチ、シ、フィシエル      |
| 同     | ビー、ベントン          |
| 希臘    | ドリヤニー            |
| 同     | エス、アントノプロス       |
| 英領印度  | エツチ、エ、マロツク       |
| 同     | エ、ブラシヤル          |
| 蘭領印度  | ヨハネス、シ、ベルク       |
| 以太利   | エルネスト、ボンシヨ、ウアグリア |
| 盧森堡   | モンゼナス            |
| 蒙的尼古羅 | ラベントロト           |
| 同     | ニーパウル            |
| 同     | ベネシ              |
| 那多兒   | シ、シ、ラム           |
| 同     | エツチ、シ、フィシエル      |
| 同     | ビー、ベントン          |
| 那威    | シ、ニイルゼン          |
| 同     | エフ、ブッヂユ          |
| 新南威爾斯 | フランシス、チロン、ベル     |
| 新西蘭   | フランシス、チロン、ベル     |
| 荷蘭    | ホフステット           |

波斯  
 葡萄牙  
 同  
 羅馬尼  
 同  
 露西亞  
 同  
 塞內牙爾  
 攝兒比亞  
 暹羅  
 瑞典  
 同  
 瑞西  
 多斯馬尼亞  
 突尼斯  
 土耳其  
 維多里亞

ナザレ、アガー  
 ギルヘルミノ、アウグスト、ド、パロス  
 ボール、ベンジャマン、カブラル  
 ミセル、シ、スーゾ  
 エス、デミットレスコ  
 ゼネラル、ド、ベサック  
 エ、ウツワーフ  
 レーブヘエル  
 エス、ジ、グラデッチ  
 ルアン、アラム  
 サーゲル  
 ヘルマン、ウデンベルグ  
 ローテン  
 フランシス、ザロン、ベル  
 エ、ロラン  
 メルコン、ユスパシアン  
 フランシス、ザロン、ベル

○逓信省告示第四百十三號

一貨幣封入郵便物受授見合印鑑 逓通第四二號 同四三號  
 同四四號  
 内國通運會社へ下渡ノ分  
 右印鑑返納ニ際シ紛失ノ旨届出候條所在發見ノ者ハ當省へ届出ヘシ  
 明治二十四年六月二十三日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○司法省告示第七十六號

金澤地方裁判所管内區裁判所出張所盛岡地方裁判所管内宮古區裁判所釜石出張所裁判ノ儀本年七月ノ一期ニ限リ開廷セス

明治二十四年六月二十四日

司法大臣子爵田中不二麿

○大藏省告示第十九號

一七分利付金祿公債元金參百五拾萬圓  
 右償還ノ爲メ來七月中抽籤執行ス  
 但抽籤ノ都合ニ據リ償還額ニ多少増減アルヘシ

明治二十四年六月二十五日

大藏大臣伯爵松方正義

○司法省告示第七十七號

横濱地方裁判所管内八王子區裁判所五日市出張所福岡地方裁判所管内小倉區裁判所黒崎出張所明治二十四年七月一日ヨリ開廳ス

明治二十四年六月二十五日

司法大臣子爵田中不二麿

○司法省告示第七十八號

宮崎地方裁判所管内宮崎區裁判所妻町出張所明治二十四年七月六日ヨリ開廳ス

明治二十四年六月二十五日

司法大臣子爵田中不二麿

○大藏省告示第二十號

廣島本金庫所屬竹原支金庫ヲ二十四年七月七日ヨリ賀茂郡西條町へ移シ西條支金庫ト岐阜本金庫所屬多治見支金庫ヲ二十四年六月二十七日ヨリ土岐郡土岐津町ニ移シ土岐津支金庫ト改稱ス  
 鹿兒島本金庫知覽支金庫ノ出納區域川邊郡ノ内硫黃島、黒島、竹島、口之島、臥蛇島、平島、中之島、惡石

明治二十四年六月 告示

司法省第七十六號

第七十七號

第七十八號

大藏省第十九號

第二十號



島諏訪ノ瀬島寶島ヲ除キ該十島ヲ金久支金庫ノ出納區域ニ編入ス

大藏大臣伯耆松方正義

明治二十四年六月二十七日

○海軍省告示第七號

明治二十三年六月海軍省告示第十八號第三項左ノ通改正ス

海軍大臣子爵樺山資紀

明治二十四年六月二十七日

三 志願人ハ父兄親族若クハ一家ヲ成ス身元確實ナル者二人以上ノ身元保證人ヲ定メ其連署ノ願書ニ本籍市町村長又ハ區長ノ證印ヲ受ケ當該鎮守府造船部ニ出スヘシ又生徒ヲ命セラレタルトキ身元保證人ハ更ニ本籍市町村長又ハ區長ノ證印アル身元引受證書ヲ造船工學校ニ出スヘシ

〔參照〕

海軍省告示第十八號(明治二十三年六月六日抄録)

三 志願人ハ父兄親族若クハ一家ヲ成ス身元確實ナル者二人以上連署ノ願書ニ本籍市町村長又ハ區長ノ證印ヲ受ケ所屬ノ造船部ニ出スヘシ

○逓信省告示第四百四十四號

日高國靜内郡下々方始メ左ノ郵便電信局郵便局へ郵便爲替及貯金事務ヲ開施シ本年七月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

明治二十四年六月三十日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

日高國靜内郡下々方郵便電信局

石狩國空知郡岩見澤郵便局

千島國紗那郡紗那郵便局

○逓信省告示第四百四十五號

來七月十六日ヨリ大和國添上郡峯寺郵便局ヲ同郡東山村大字北野ニ移シ北野郵便局ト改稱ス

明治二十四年六月三十日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第四百四十六號

東京市麴町區飯田町郵便電信支局内ニ電話所ヲ置キ飯田町電話所ト稱シ來ル七月一日ヨリ電話通信ヲ開始ス

明治二十四年六月三十日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○内務省告示第二十七號  
 一扇面ニ富貴門ト金書シニ股大根ノ上部ニ衣ヲ纏ヘル圖  
 右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス  
 日本發行 發行者未詳

明治二十四年七月一日  
 内務大臣子爵品川彌二郎

○内務省告示第二十八號  
 一扇面ニ久留島奇談ト書シ洋服ヲ著シタル男爆裂彈ヲ投シ居ル圖 日本發行 發行者未詳  
 右出版物ハ治安ニ妨害アリト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス  
 明治二十四年七月一日 内務大臣子爵品川彌二郎

○大藏省告示第二十一號  
 明治二十三年一月當省告示第一號金庫位置及出納區域中左ノ通改正ス

大藏大臣伯爵松方正義  
 函館本金庫所屬久遠支金庫名ヲ刪除シ其出納區域久遠與尻太極瀬棚四郡ヲ江刺支金庫ノ區域トス  
 根室本金庫所屬灣月支金庫名ヲ刪除シ其出納區域厚岸郡ヲ釧路支金庫ノ區域トス

○司法省告示第七十九號  
 區裁判所出張所裁判開廷場所管轄區域及期日左表ノ通改定ス  
 明治二十四年七月一日 司法大臣子爵田中不二麻呂

| 地方 | 區裁判所 | 出張場所 | 管轄區域   | 開廷期日                      |
|----|------|------|--|---------------------------|
| 橫  | 小田原  | 會屋   | 相模國大住郡ノ内<br>小中村岡崎村金田村伊勢原村<br>比々多村土澤村金目村大槻村<br>大山町東森野村北森野村西森野<br>相模國足柄上郡ノ内<br>中村上森野村上中村山田村井<br>口村寄村 | 自一月自七月<br>至六月至十二月<br>各七日間 |



